

【暫定評価との対比表】

平成26年度業務実績報告

(小項目 第2・第3)

暫定評価

本評価

「加古川市民病院機構の概要」

「加古川市民病院機構の概要」

1. 現況（平成26年10月31日現在）

1. 現況（平成27年3月31日現在）

① 法人名

地方独立行政法人加古川市民病院機構

① 法人名

地方独立行政法人加古川市民病院機構

② 主たる事務所の所在地

兵庫県加古川市米田町平津 384 番地の 1

② 主たる事務所の所在地

兵庫県加古川市米田町平津 384 番地の 1

③ 法人の設立年月日

平成23年4月1日

③ 法人の設立年月日

平成23年4月1日

④ 役員の状況

役員	氏名	備考
理事長	宇高 功	
副理事長	石川 雄一	医療監、教育支援センター長
理事	大西 祥男	加古川西市民病院院長、加古川東市民病院院長
理事	久野 克也	加古川西市民病院顧問
理事	三舛 信一郎	加古川東市民病院顧問
理事	中森 えり	加古川西市民病院副院長、加古川東市民病院副院長、加古川西市民病院看護部長、加古川東市民病院看護部長
理事	大保 英文	加古川東市民病院副院長
監事	平松 省五	税理士
監事	二本木 功	税理士

④ 役員の状況

役員	氏名	備考
理事長	宇高 功	
副理事長	石川 雄一	医療監、教育支援センター長
理事	大西 祥男	加古川西市民病院院長、加古川東市民病院院長
理事	久野 克也	加古川西市民病院顧問
理事	三舛 信一郎	加古川東市民病院顧問
理事	中森 えり	加古川西市民病院副院長、加古川東市民病院副院長、加古川西市民病院看護部長、加古川東市民病院看護部長
理事	大保 英文	加古川東市民病院副院長
監事	平松 省五	税理士
監事	二本木 功	税理士

⑤ 設置・運営する病院の概要

病院名	所在地	病床数
加古川西市民病院	兵庫県加古川市米田町平津 384 番地の 1	一般病床 397 床
加古川東市民病院	兵庫県加古川市平岡町一色 797 番地の 295	一般病床 206 床

⑤ 設置・運営する病院の概要

病院名	所在地	病床数
加古川西市民病院	兵庫県加古川市米田町平津 384 番地の 1	一般病床 397 床
加古川東市民病院	兵庫県加古川市平岡町一色 797 番地の 295	一般病床 206 床

⑥ 職員数

(平成26年11月1日現在)

	医師	看護師	医療技術職	事務職	合計
加古川西市民病院	92 人	358 人	82 人	31 人	563 人
加古川東市民病院	49 人	209 人	79 人	13 人	350 人
合計	141 人	567 人	161 人	44 人	913 人

※ 医師は、専攻医、研修医及び常勤的嘱託医を含む。

⑥ 職員数

(平成27年4月1日現在)

	医師	看護師	医療技術職	事務職	合計
加古川西市民病院	106 人	391 人	85 人	35 人	617 人
加古川東市民病院	41 人	222 人	79 人	13 人	355 人
合計	147 人	613 人	164 人	48 人	972 人

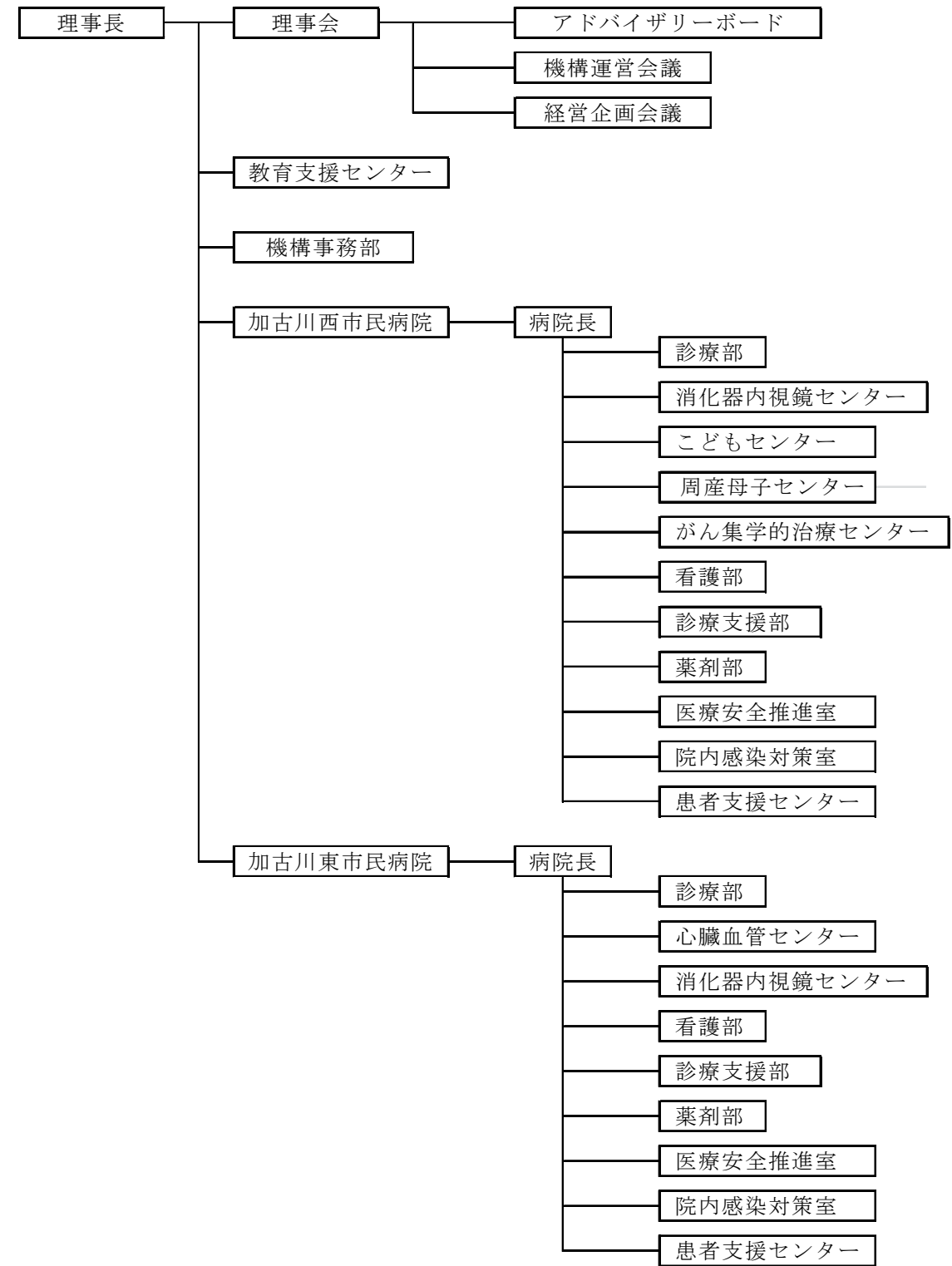
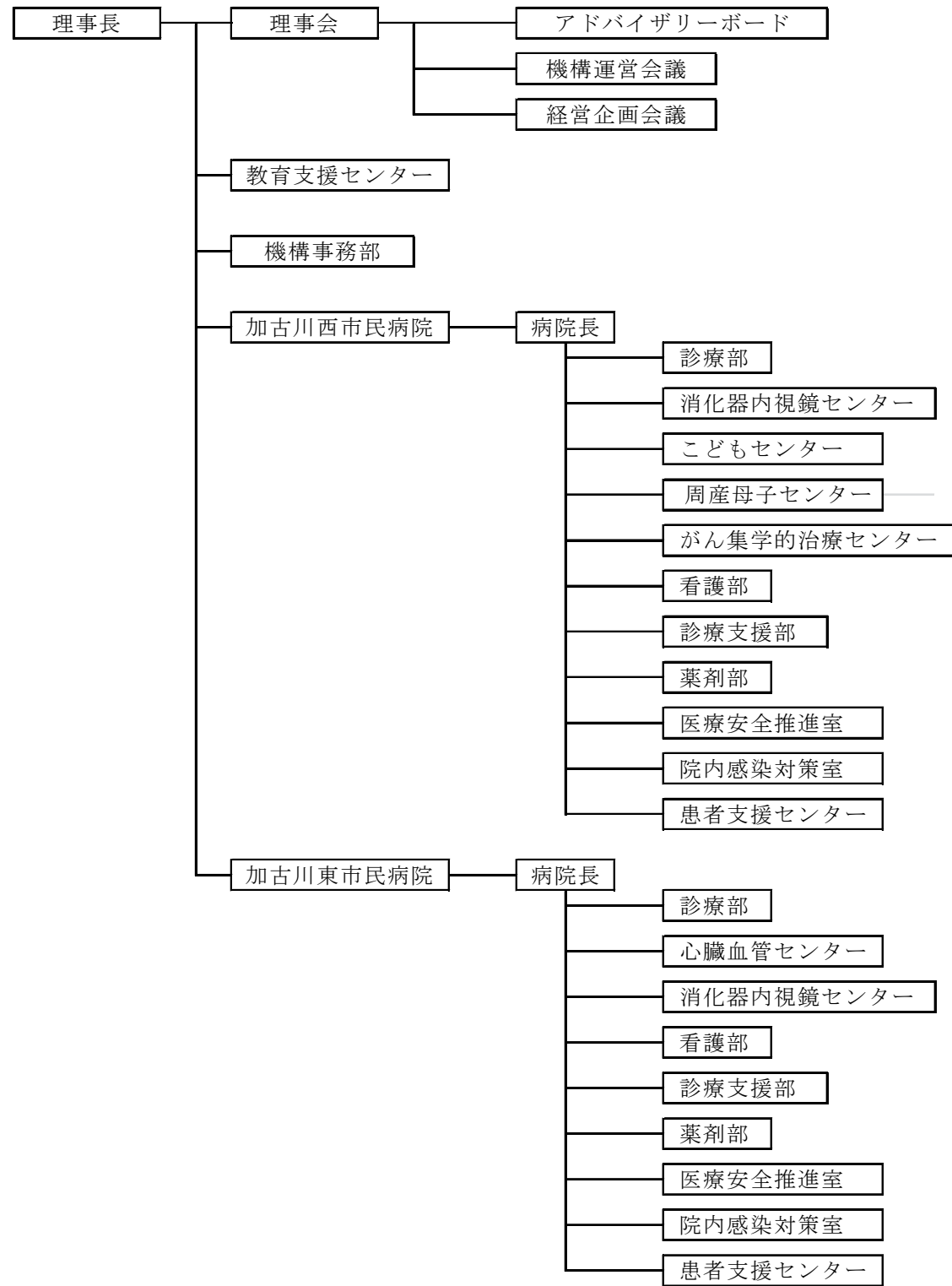
※ 医師は、専攻医、研修医及び常勤的嘱託医を含む。

暫定評価

本評価

⑦組織

⑦組織



暫定評価

本評価

2. 加古川市民病院機構の基本的な目標等

地方独立行政法人加古川市民病院機構（以下「機構」と表記）は、地域医療の崩壊が進む中、地域住民の生命と健康を守り、安心した生活が送れるよう「常に安全かつ良質で高度な医療」を提供するため、従前の加古川市民病院の周産期・小児医療及び神鋼加古川病院の循環器分野など、両病院の持つ特徴ある医療を十分生かし、発展させ、加古川市をはじめ東播磨地域の中核病院として、加古川市及び地域の医療機関との連携の下、地域医療の発展に貢献します。

また機構は、地域の公的基幹病院として、住民の生命と健康を守るため、患者中心の安全で質の高い医療や高度専門医療の提供を常に使命として共有し、設立団体である加古川市が目指す「いつまでも住み続けたい ウェルネス都市 加古川」の実現の一翼を担うため全力を尽くします。

このため機構は、以下に示す「基本理念」、「基本方針」に則り、加古川市長から指示された中期目標を達成し、市民の期待に応える病院運営に努めます。

【基本理念・基本方針】

○ 基本理念

加古川市をはじめ東播磨医療圏域の基幹病院として、地域住民の生命と健康を守るため、優れた医療人の育成に注力し、患者中心の安全で質の高い医療を提供します

○ 基本方針

- ・ 質の高い急性期医療に努めます
- ・ 基幹病院としての機能を果たすため、高度専門医療に取り組みます
- ・ 情報開示を徹底し、十分な説明に基づき信頼される医療を提供します
- ・ 患者中心の医療連携に努めます
- ・ 医療水準の向上を目指し、職員の研修・教育・研究の充実を図ります
- ・ 病院を維持、継続できる安定した経営基盤を確立します

○ 平成 26 年度重点行動方針

- ・ 積極的患者受入れ
- ・ 人材育成

2. 加古川市民病院機構の基本的な目標等

【中期計画 前文】

地方独立行政法人加古川市民病院機構（以下「法人」）は、医師、看護師不足などによって地域医療の崩壊が進む中、地域住民の生命と健康を守り、安心した生活がおくれるよう「常に安全かつ良質で高度な医療」を提供することを目的として設立されました。法人はこのことを理解し、また、従前の加古川市民病院の周産期・小児医療及び神鋼加古川病院の循環器分野など、両病院の持つ特徴ある医療を十分生かし、発展させ、加古川市をはじめ東播磨地域の中核病院として、加古川市及び地域の医療機関との連携の下、地域医療の発展に貢献してまいります。

法人の全ての職員は、設立の精神を忘れることなく、中期目標が掲げる、「加古川市をはじめ東播磨地域の中核病院として、地域住民の生命と健康を守るため、患者中心の安全で質の高い医療や高度専門医療の提供（以下「目指すべき新病院の姿」）」を常に使命として共有し、設立団体である加古川市が目指す「いつまでも住み続けたい ウェルネス都市 加古川」の実現の一翼を担ってまいります。

このため、法人は、このような使命や精神を「基本理念」、「基本方針」、そして「患者の権利と義務」に定め、法人の全ての職員が忘れることなく、また2病院体制による距離的なハンデを乗り越え、市民の期待に応える病院運営に努めてまいります。

【基本理念・基本方針】

○ 基本理念

加古川市をはじめ東播磨医療圏域の基幹病院として、地域住民の生命と健康を守るため、優れた医療人の育成に注力し、患者中心の安全で質の高い医療を提供します

○ 基本方針

- ・ 質の高い急性期医療に努めます
- ・ 基幹病院としての機能を果たすため、高度専門医療に取り組みます
- ・ 情報開示を徹底し、十分な説明に基づき信頼される医療を提供します
- ・ 患者中心の医療連携に努めます
- ・ 医療水準の向上を目指し、職員の研修・教育・研究の充実を図ります
- ・ 病院を維持、継続できる安定した経営基盤を確立します

○ 平成 26 年度重点行動方針

- ・ 積極的患者受入れ
- ・ 人材育成

暫定評価

「全体的な状況」

1 機構の現状と課題

【総括及び現状】

平成 26 年度は、法人設立から 4 年目を迎え、加古川西市民病院（以下「西市民病院」と表記）と加古川東市民病院（以下「東市民病院」と表記）の統合再編のプロセスもいよいよ終盤に入り、新病院への移行を見据えた診療体制の充実や医療機能の整備に注力してきました。

また、診療報酬基準の改正や病床機能の再編に向けた検討が進められるなど、病院運営を取り巻く環境変化を十分にふまえて、両病院の持つ得意領域の増強を図りながら、救急医療をはじめ、地域の医療機関との連携による積極的な患者受入れを確実にできる体制づくりについて機構一丸となって取り組んでいます。

西市民病院では、内科医師の充実により新たに「呼吸器内科」「糖尿病内科」「腫瘍・血液内科」「リウマチ科」を標榜診療科として設置し、地域のニーズにしっかりと応えられるように診療体制を強化し、患者確保に努めています。また、6 月には休床が続いていた 1－5 病棟を全面オープンさせ、届出病床の増床を図りながら入院患者を受入れるための対策を積極的に進めてきました。周産期医療では、東市民病院の産科部門を統合・集約するとともに、ベビーセンターの新生児室に GCU 機能を附加し、総合周産期母子センターの指定に向けて着実な取り組みを行っています。

一方、東市民病院では、循環器内科と心臓血管外科との緊密なチームワークを基本とする心臓血管センターをはじめ形成外科や歯科口腔外科の診療体制を充実させ、高い病床稼働率を維持しています。また、医療安全管理や院内感染対策の面でも着実な体制整備と医療の質向上に向けた院内活動が認められ、11 月に病院機能評価（機能種別版評価項目 3rdG：Ver. 1.0）の認定を受けました。

医療従事者の人員確保の面では、医師の人材育成の原点である初期臨床研修医の獲得に全力をあげ、次年度の予定定員 7 人について採用を内定させました。また、リウマチ科の新設により専門医 3 人を確保するとともに、救急科で医師 1 人を増員しました。看護師については、新病院における看護体制を想定した採用計画を策定し、積極的な採用活動による大幅な人員確保を図っています。コメディカルスタッフでは、新病院における各部門の技師長や室長候補となる経験者採用を行い人員体制の強化に努めています。

経営面では、上半期を終えた時点で法人全体の医業収支は 7,100 万円の赤字となっていますが、両病院ともに入院収益の好調な推移と医業費用の抑制が相まって、前年度同期と比較して、5 億 2,300 万円の大幅な改善により、加古川市から交付される運営負担金額を想定すると前年度を上回る純利益の計上が見込まれます。経営指標においても経常収支比率は前年度同期の 90.1%から 96.2%へ着実に回復しており、医業収支比率も 92.8%から 99.1%へ改善していることから、引き続き、年度目標の達成に向けて、患者確保による医業収益向上の取り組みに努めていきます。

本評価

「全体的な状況」

1 法人の現状と課題

【総括及び現状】

平成 26 年度は、法人設立から 4 年目を迎え、加古川西市民病院（以下「西市民病院」と表記）と加古川東市民病院（以下「東市民病院」と表記）の統合再編のプロセスもいよいよ終盤に入り、新病院への移行を見据えた診療体制の充実や医療機能の整備に注力してきました。

また、**診療報酬**の改正や**病床機能報告制度の導入**など、病院運営を取り巻く環境変化を十分にふまえて、両病院の持つ得意領域の増強を図りながら、救急医療をはじめ、地域の医療機関との連携による積極的な**患者受入れに法人職員が一丸となって取り組みました。**

西市民病院では、内科医師の充実により新たに「呼吸器内科」「糖尿病内科」「腫瘍・血液内科」「リウマチ科」を標榜診療科として設置し、地域のニーズにしっかりと応えられるように診療体制を強化し、患者確保に**努めました。**また、6 月には休床が続いていた 1－5 病棟を全面オープンさせ、届出病床の増床を図りながら**積極的に入院患者を受入れました。**周産期医療では、東市民病院の産科部門を統合・集約するとともに、ベビーセンターの新生児室に GCU 機能を附加し、総合周産期母子**医療センター**の指定に向けて**順次機能強化に努めました。**

一方、東市民病院では、循環器内科と心臓血管外科との緊密なチームワークを基本とする心臓血管センターをはじめ形成外科や歯科口腔外科の診療体制を充実させ、高い病床稼働率を**維持しました。**また、医療安全管理や院内感染対策の面でも着実な体制整備と医療の質向上に向けた院内活動が認められ、11 月に病院機能評価（機能種別版評価項目 3rdG：Ver. 1.0）の認定を受けました。

医療従事者の人員確保の面では、医師の人材育成の原点である初期臨床研修医の獲得に全力をあげ、**定員枠 7 人を採用しました。**また、リウマチ科の新設により専門医 3 人を確保するとともに、**救急部門で医師の増員を図りました。**看護師については、新病院における看護体制を想定した採用計画を策定し、積極的な採用活動による大幅な人員確保を図っています。コメディカルスタッフでは、**即戦力となる経験者を採用し、新病院の運用に向けた各部門の技師長や室長の人材登用を行いました。**

**経営面では、両病院ともに入院収益の好調な推移と医業費用の抑制が相まって、最終的な医業収支は 2 億円の黒字となり、前年度と比較して 6 億 7 千万円の大幅な改善を図りました。また、加古川市から交付される運営費負担金を加味した経常収支では前年度を 1 億 9,400 万円上回る 2 億 4,600 万円の黒字を計上しており、医業収支比率及び経常収支比率はいずれも年度目標値を達成し、財務基盤の健全化を着実に進めました。**

暫定評価

本評価

【課題と今後の取り組み】

『病床稼働率の向上』

医業収益については、速やかに対策を講じる必要があります。

西市民病院では、慢性的に低調な病床稼働率（70%台）が課題です。極端に内科医が減少した過去の診療体制からの立ち直りが依然として不十分で、消化器内科を中心に患者獲得に向けた重点的な取り組みが必要となっています。

医療機関からの紹介患者の受け入れ向上のための地域連携を強化するとともに、診療科ごとの稼働状況をふまえた病棟編成の見直しを適宜行い、病院全体で有効な病床利用を検討していきます。

東市民病院では下半期に入って高い稼働率を維持していることから、引き続き、入院患者確保に努めていきます。

また、新病院に向けた診療の機能集約として、産婦人科に続き両病院の消化器領域の内科及び外科の一元化を早急に進め、救急患者への対応も含めて西市民病院の消化器内視鏡センターの充実に取り組んでいきます。

『人材確保・育成』

医師に関しては、総数では既に採用内定が決定している初期臨床研修医の採用数を加えると目標値をクリアできる見通しですが、診療機能の維持充実に向けては、後期研修医（専攻医）の層を厚くし、若手医師が集まる環境整備を行うとともに、がん治療や脳卒中など重点医療として十分に組み立てていない分野の専門医師の確保に引き続き注力し、診療体制を強化していく必要があります。

『救急医療の受け入れ態勢の充実』

循環器内科、小児科、産婦人科、歯科口腔外科以外の救急患者については、必ずしも24時間365日の2次救急受け入れが出来ているとは言えないため、救急専門医をはじめとした救急スタッフ確保など受入態勢の充実が課題です。

『災害医療体制の強化』（追加）

両病院合同によるDMATを結成し、自治体等の災害訓練に参加して体制整備に努めている。将来的には、東播磨医療圏内で最大規模の基幹病院（600床）として社会的な役割が果たせるよう災害拠点病院の指定を目指して、災害医療体制を構築することが課題です。

【課題と今後の取り組み】

『病床稼働率の更なる向上』

中期目標期間の最終年次となる平成27年度は、新病院に向けて、病床稼働体制の一層の強化が必要であり、そのために、西市民病院の休床を速やかに解消します。

西市民病院では、新病院における消化器センターの整備を踏まえて、東市民病院の消化器領域の内科及び外科の入院機能の一元化を早急に進め、救急患者への対応も含めて両病院間の円滑な患者の受入体制を整備し、病床利用の拡大を図ります。

東市民病院では、循環器内科を中心に心臓血管外科や形成外科との緊密なチーム医療体制を更に充実させるとともに、股関節センターなど新たな専門治療体制によって、病床稼働率の維持に努めます。

『人材確保・育成』

医師に関しては、初期臨床研修医をはじめ全体として順調に人材確保が進んでいますが、診療機能の維持充実に向けては、後期研修医（専攻医）の層を厚くし、若手医師が集まる環境整備を行うとともに、がん治療や脳卒中などの重点医療への取り組みの充実に向けては脳神経外科、乳腺外科、病理診断、放射線治療、呼吸器外科などの分野で常勤専門医師の確保を重点的に進めていく必要があります。

また、看護師及び医療技術職員については、新病院の病床機能を踏まえた人員配置計画を早急に策定し、計画的な採用を進めます。

『救急医療の受入態勢の充実』

循環器内科、小児科、産婦人科、歯科口腔外科以外の救急患者については、2次救急の受入体制が十分に確立されていないため、救急部門と院内診療科との連携・協力体制を強化するなど受入態勢の一層の充実が課題です。

『災害医療体制の強化』

自治体等の災害訓練に積極的に参加し、両病院合同による災害派遣医療チームの機能強化を図るとともに、院内のBCP（事業継続計画）を策定し、大規模災害の発生時に地域の基幹病院として社会的な役割が果たせるよう災害拠点機能の整備を順次進めます。

『医療安全推進体制の整備』

両病院は、周産期分野や循環器領域をはじめ高度専門医療に取り組む病院として、医療安全意識の一層の向上を図るとともに、より高度な安全管理体制の整備によって、医療の透明性及び信頼性の確保を進めていく必要があります。

暫定評価

『ICTを活用した戦略的な病院経営』

電子カルテシステムをはじめDPCデータや医事統計データ等を経営分析のツールとして有効に活用するための基盤づくりを重点化し、診療情報管理士を中心とした情報収集力や的確なデータ分析力の向上に努め、経営戦略機能の強化を図ります。

2 大項目ごとの特記事項

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置

『医療体制の維持及び拡大』

両病院は統括院長体制をはじめ看護部や診療支援部の各部門で統括体制を導入しており、新病院に向けて一体的な運用を本格化させました。

西市民病院では、呼吸器内科、糖尿病内科、腫瘍・血液内科、リウマチ科を設置し、23診療科による総合診療体制を整備しました。

また、救急科の医師を1人確保し、救急車受入件数を増加させ救急医療の充実に努めています。

人材確保の取り組みでは、次年度採用予定の初期臨床研修医師について、募集定員を全て確保することができたほか、看護師の大幅な採用を進めています。

指標項目	西市民病院		東市民病院	
	目標値	実績	目標値	実績
医師数	75人	75人	41人	40人
初期臨床研修医数	9人	5人	3人	4人
後期臨床研修医数	13人	12人	4人	5人
看護師数	390人	358人	210人	209人

平成26年11月1日現在

『地域医療の中核病院として提供すべき総合医療』

厚生労働省から公表された最新の主要診断群別データでは東播磨2市2町における循環器領域における両病院のシェアは70%、小児医療では80%、母子・周産期医療は94%で、それぞれ心臓血管センター、こどもセンター、周産母子センターが地域の中核医療機関として、地域に欠かせない救急受入れから高度専門治療にいたる広範囲の医療を提供しています。

本評価

『ICTを活用した戦略的な病院経営』

電子カルテシステムをはじめDPCデータや医事統計データ等を経営分析のツールとして有効に活用するための基盤づくりを重点化し、診療情報管理士を中心とした情報収集力や的確なデータ分析力の向上に努め、経営戦略機能の強化を図ります。

2 大項目ごとの特記事項

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置

『医療体制の維持及び拡大』

両病院は統括院長体制をはじめ看護部や診療支援部の各部門で統括体制を導入しており、新病院に向けて一体的な運用を本格化させました。

西市民病院では、呼吸器内科、糖尿病内科、腫瘍・血液内科、リウマチ科を設置し、23診療科による総合診療体制を整備しました。

また、**救急部門の医師を増員し**、救急車受入件数を増加させ救急医療の充実に**努めました**。

人材確保の取り組みでは、初期臨床研修医について、**募集定員枠の人員を全て確保できたほか、病床稼働の向上に合わせて計画どおりに看護師の採用を行いました**。

指標項目	西市民病院		東市民病院	
	目標値	実績	目標値	実績
医師数	75人	<b>84人</b>	41人	<b>35人</b>
初期臨床研修医数	9人	<b>11人</b>	3人	<b>1人</b>
後期臨床研修医数	13人	<b>11人</b>	4人	<b>5人</b>
看護師数	390人	<b>391人</b>	210人	<b>222人</b>

平成27年4月1日現在

『地域医療の中核病院として提供すべき総合医療』

厚生労働省から公表された最新の主要診断群別データでは東播磨2市2町における循環器領域における両病院のシェアは70%、小児医療では80%、母子・周産期医療は94%で、それぞれ心臓血管センター、こどもセンター、周産母子センターが地域の中核医療機関として、地域に欠かせない救急受入れから高度専門治療にいたる広範囲の医療を提供しています。

暫定評価

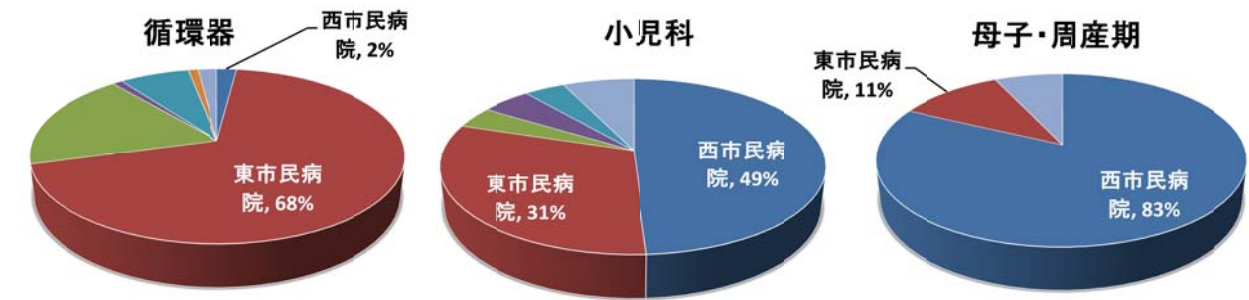


急性期総合病院として診療科の増設やスタッフの充実により、積極的な患者受入れを推進し、両病院の新規入院患者数及び手術件数は着実に増加しています。

新入院患者数（※各年度の件数は10月末時点の値）

診療科	西市民病院		東市民病院	
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度
内科	851人	1,114人	1,783人	2,079人
小児科	1,140人	1,192人	868人	748人
小児外科	141人	157人	—	—
新生児	428人	473人	—	—
外科	348人	392人	263人	208人
整形外科	156人	179人	152人	137人
脳神経外科	8人	4人	—	—
心臓血管外科	—	—	75人	81人
産婦人科	829人	838人	239人	0人
耳鼻いんこう科	192人	207人	—	—
眼科	428人	561人	—	—
放射線科	71人	70人	—	—
泌尿器科	330人	336人	—	—
皮膚科	53人	31人	—	—
形成外科	—	—	187人	260人
歯科口腔外科	—	—	381人	402人
救急科	66人	93人	—	—
合計	5,041人	5,647人	3,948人	3,915人

本評価



急性期総合病院として診療科の増設やスタッフの充実により、積極的な患者受入れを推進し、両病院の新規入院患者数及び手術件数を着実に**増加させました。**

新入院患者数

診療科	西市民病院		東市民病院	
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度
内科	1,561人	1,999人	3,307人	3,563人
小児科	1,966人	2,135人	1,340人	1,247人
小児外科	231人	249人	—	—
新生児	744人	811人	—	—
外科	647人	665人	406人	335人
整形外科	289人	295人	249人	231人
脳神経外科	13人	8人	—	—
心臓血管外科	—	—	139人	142人
産婦人科	1,449人	1,442人	266人	0人
耳鼻いんこう科	321人	340人	—	—
眼科	788人	1,054人	—	—
放射線科	105人	129人	—	—
泌尿器科	553人	550人	—	—
皮膚科	77人	56人	—	—
形成外科	—	—	388人	444人
歯科口腔外科	—	—	656人	709人
救急科	126人	140人	—	—
合計	8,870人	9,873人	6,751人	6,671人



暫定評価

手術件数（※各年度の件数は10月末時点の値）

診療科	西市民病院		東市民病院	
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度
外科	264	316	191	182
眼科	1,031	1,200	—	—
整形外科	177	171	165	155
小児外科	155	176	—	—
心臓血管外科	—	—	105	104
小児科	8	4	0	2
産婦人科	436	395	81	0
耳鼻いんこう科	126	113	—	—
内科	0	1	1	4
泌尿器科	120	131	—	—
形成外科	—	—	296	389
皮膚科	49	45	—	—
歯科口腔外科	—	—	209	215
救急科	6	0	—	—
合計	2,372	2,552	1,048	1,051

『救急医療への対応』

救急医療では、2次救急医療機関として、救急隊及び他の医療機関からの受入要請への対応を徹底するとともに、循環器疾患や小児・周産期領域では地域の最後の砦として24時間365日体制を継続させ、前年度を上回る高い受入件数で推移しています。

指標項目	西市民病院		東市民病院	
	目標値	実績	目標値	実績
救急患者受入数	2,701人	1,787人	2,400人	1,405人

平成26年10月末現在

『予防医療の提供』

西市民病院では、婦人科検診の追加により受診内容を拡充し、人間ドックの本格的再開により徐々に受診実績を向上させています。また、両病院では2次検診の専用外来を設置し、健康診断で異常所見があった場合に精密検査を受け入れています。

指標項目	西市民病院		東市民病院	
	目標値	実績	目標値	実績
人間ドック受診者数	300人	195人	1,400人	885人

平成26年10月末現在

本評価

手術件数

診療科	西市民病院		東市民病院	
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度
外科	476	509	328	275
眼科	1,874	2,247	—	—
整形外科	304	283	277	258
小児外科	250	279	—	—
心臓血管外科	—	—	201	195
小児科	11	7	0	2
産婦人科	742	700	88	0
耳鼻いんこう科	213	197	—	—
内科	0	0	2	4
泌尿器科	201	223	—	—
形成外科	—	—	572	659
皮膚科	88	80	—	—
歯科口腔外科	—	—	356	383
救急科	6	5	—	—
合計	4,165	4,530	1,824	1,776

『救急医療への対応』

救急医療では、2次救急医療機関として、救急隊及び他の医療機関からの受入要請への対応を徹底するとともに、循環器疾患や小児・周産期領域では地域の最後の砦として24時間365日体制を継続させ、前年度を上回る高い**受入実績を達成しました。**

指標項目	西市民病院		東市民病院	
	目標値	実績	目標値	実績
救急患者受入数	2,701人	3,106人	2,400人	2,520人

『予防医療の提供』

西市民病院では、婦人科検診の追加により受診内容を拡充し、人間ドックの本格的再開により徐々に受診実績を向上させ、**目標値を達成しました。**また、両病院では2次検診の専用外来を設置し、健康診断で異常所見があった**場合の精密検査受診体制を整備しました。**

指標項目	西市民病院		東市民病院	
	目標値	実績	目標値	実績
人間ドック受診者数	300人	305人	1,400人	1,453人

暫定評価

『地域医療機関との連携』

インターネットを活用した WEB 予約システムの供用を開始し、診療所からの患者紹介の利便性を向上させています。

指標項目	西市民病院		東市民病院	
	目標値	実績	目標値	実績
紹介率	65%	70%	63%	70%
逆紹介率	60%	66%	73%	81%

平成 26 年 10 月末現在

『医療安全対策の徹底』

両病院の医療安全推進室では、医薬品や医療機器に関する安全情報や医療安全管理マニュアル等の改訂について院内 WEB で随時、周知を行うほか、定期的に全職員を対象とした研修会を開催し、安全対策に対する意識啓発に努めています。

また、医療安全管理委員会を核とした院内のリスクマネジメント体制の普及・定着に注力し、ヒヤリハット事例の情報収集や検証をととした重大事故の未然防止に取り組んでいます。

『患者サービスの向上』

両病院では入院支援センターの設置により入院時の説明や相談機能を充実させ、患者が安心して入院できるようサポートを行っています。

また、両病院では随時、患者や来院者からの意見や要望を収集し、業務改善やサービス向上に活かしています。

なお、今年度も患者満足度アンケートの実施を計画しており、集計結果の分析を通して、改善すべき項目の把握に努めます。

指標項目	西市民病院		東市民病院	
	目標値	実績	目標値	実績
患者満足度アンケート	85%	-	80%	-
外来平均待ち時間	35 分	38 分	37 分	35 分

平成 26 年 10 月末現在

第 3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

『職員の業務遂行能力の向上』

両病院が全力を挙げて初期臨床研修医の指導体制の充実に取り組んでいます。また、人材育成の観点から、業務に必要な資格取得等の支援制度を運用し、認定看護師や指導医を養成しています。

事務職員については、法人採用職員の経営管理能力の習得に重点を置き、幹部職員を育成しています。

本評価

『地域医療機関との連携』

インターネットを活用した WEB 予約システムの供用を開始し、診療所からの患者紹介の利便性を**向上させるとともに、医療機関との前方連携・後方連携を強化させました。**

指標項目	西市民病院		東市民病院	
	目標値	実績	目標値	実績
紹介率	65%	<b>70%</b>	63%	<b>69%</b>
逆紹介率	60%	<b>68%</b>	73%	<b>83%</b>

『医療安全対策の徹底』

両病院の医療安全推進室では、医薬品や医療機器に関する安全情報や医療安全管理マニュアル等の改訂について院内 WEB で随時、周知を行うほか、定期的に全職員を対象とした研修会を開催し、安全対策に対する意識啓発**を行いました。**

また、医療安全管理委員会を核とした院内のリスクマネジメント体制の普及・定着に注力し、ヒヤリハット事例の**収集や分析活動**をと**して重大事故の未然防止に取り組むとともに、外部委員の参画による医療事故調査委員会等の検証体制や外部公表基準を整備し、医療安全に対する透明性と客観性の確保に努めました。**

『患者サービスの向上』

両病院では入院支援センターの設置により入院時の説明や相談機能を充実させ、患者が安心して入院できる**療養環境の整備に注力しました。**

また、両病院では随時、患者や来院者からの意見や要望を収集し、**改善項目の把握に努めるとともに、質の高い医療サービスを提供するための TQM 活動を全部署で推進しました。**

指標項目	西市民病院		東市民病院	
	目標値	実績	目標値	実績
患者満足度アンケート	85%	<b>84%</b>	80%	<b>76%</b>
外来平均待ち時間	35 分	<b>47 分</b>	37 分	<b>37 分</b>

第 3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

『職員の業務遂行能力の向上』

**基幹型臨床研修病院として、病院の全ての部門が総力を挙げて初期臨床研修医を指導する研修体制を整備しました。**また、人材育成の観点から、業務に必要な資格取得等の支援制度を運用し、認定看護師や**研修指導医を養成するとともに、チーム医療に欠かせない技能の向上を図りました。**事務職員については、法人採用職員の経営管理能力の習得に重点を置き、**外部セミナーへの派遣など積極的に幹部職員の育成を行いました。**

暫定評価

『業務運営基盤の整備』

理事長が主宰する機構運営会議や統括院長所管の経営戦略・人材確保企画会議では、採用計画、給与制度、病棟稼働対策、施設基準など経営に直結する重要案件を機動的に審議・決定するとともに、両病院の運営協議会等を通して各部門の参画を促し、経営状況や課題の共有を図っています。

また、各病院の事務部機能を機構本部に一元化し、業務運営の共通化を進めています。

給与業務など基幹的な業務のアウトソーシングを進めるとともに、電子カルテシステムや統合グループウェア等の利用により効率的な業務運営を図っており、委託費比率は向上しています。

指標項目	加古川市民病院機構	
	目標値	実績
委託費比率（委託費/営業費用）	9.8%	8.9%

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

『経営基盤の強化』

各部門の目標設定から目標達成に向けた取り組みについて、年間を通して効果的なマネジメントを行い、全体として経営改善を図っています。

GCU加算やNST加算など新たな施設基準を取得し、診療単価の向上を図っています。

病床稼働率の向上による入院収益が大幅に改善されており、上半期の実績からは最終的な純利益は昨年度を上回る黒字決算が見込まれ、経常収支比率の目標値はクリアできる見通しとなっています。

指標項目	加古川市民病院機構	
	目標値	実績
経常収支比率（経常収益/経常費用）	100.1%	96.2%
医業収支比率（医業収益/医業費用）	100.7%	99.1%
医業収益	16,409 百万円	7,857 百万円
入院収益	11,934 百万円	5,680 百万円
外来収益	4,041 百万円	1,950 百万円

『収益の確保及び費用の節減』

医業収益では、両病院で病床稼働率が上昇したことや高い入院診療単価を維持していることから、入院収益は前年度同期を589,114千円上回りました。また、休止病床の解消や新生児治療回復室入院医療管理加算（GCU）やがん患者リハビリテーション料など新たな施設基準を届出し、収益の確保対策を行っています。

一方、医業費用では院外処方の影響や後発医薬品の積極的採用により薬品費は外来収益の減

本評価

『業務運営基盤の整備』

理事長が主宰する機構運営会議や統括院長所管の経営戦略・人材確保企画会議では、採用計画、給与制度、病棟稼働対策、施設基準など経営に直結する重要案件を機動的に審議・決定するとともに、両病院の運営協議会等を通して各部門の経営参画を促し、**情報や課題の共有を図りました。**

また、各病院の事務部機能を機構本部に一元化し、業務運営の共通化を**図りました。**

給与業務など基幹的な業務のアウトソーシングを進めるとともに、電子カルテシステムや統合グループウェア等の利用により効率的な**業務運営基盤の整備に努めました。**

指標項目	加古川市民病院機構	
	目標値	実績
委託費比率（委託費/営業費用）	9.8%	<b>8.9%</b>

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

『経営基盤の強化』

**両病院では統括院長によるヒアリングを定期的に行い、各部門の目標設定から目標達成に向けた取り組みをフォローするしくみを強化し、年間を通して効果的なマネジメント機能を発揮させ、医業収支の改善において実効性を高めました。**

**決算状況は、法人全体で2億4,600万円の黒字を計上し、対前年度で2億90万円改善するとともに、収支計画を2億3,000万円上回りました。**

指標項目	加古川市民病院機構	
	目標値	実績
経常収支比率（経常収益/経常費用）	100.1%	<b>101.4%</b>
医業収支比率（医業収益/医業費用）	100.7%	<b>101.3%</b>
医業収益	16,409 百万円	<b>15,964 百万円</b>
入院収益	11,934 百万円	<b>11,394 百万円</b>
外来収益	4,041 百万円	<b>4,137 百万円</b>

『収益の確保及び費用の節減』

医業収益では、**入院に関する各指標において年度目標に若干及ばなかったものの、両病院で病床稼働率を向上させ、高い入院診療単価を維持するとともに、西市民病院1-5病棟の休床解消や新生児治療回復室入院医療管理加算（GCU）、がん患者リハビリテーション料などの新たな施設基準を届出し、収益確保に努めた結果、入院収益は前年度を7億5,800万円上回り、医業収益全体では対前年度で4億円の改善を図りました。**

暫定評価

収相当を削減するとともに、高額医療機器の投資、更新を抑制するなど全体では前年度に対して337,648千円の費用節減を図っています。

指標項目	西市民病院		東市民病院	
	目標値	実績	目標値	実績
入院延患者数	114,453人	53,812人	67,671人	32,687人
入院診療単価	58,829円	58,705円	76,900円	77,123円
平均在院日数	10.7日	11.2日	9.3日	8.9日
稼働病床利用率	87.0%	80.0%	90.0%	86.7%
外来延患者数	201,680人	103,138人	131,760人	62,158人
外来診療単価	13,710円	12,622円	9,700円	10,429円

第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

『新統合病院に向けた取組』

新病院の建設整備事業については、毎月定例の工程会議を開催し、進捗状況及び施工計画の連絡調整を行っており、現時点では計画通り順調に進捗しています。

両病院の跡地利用計画については、病院機能を残すことが困難であるとの判断から、加古川市が中心となって整備計画の取りまとめ作業が行われています。

本評価

一方、医業費用では、看護師をはじめ医療従事者の積極的な採用により給与費が増加しましたが、院外処方の影響や後発医薬品の積極的な採用により材料費の節減が図られるとともに、高額医療機器の計画的な更新や減価償却費の抑制効果などによって、医業費用全体では前年度に対して2億6,600万円の改善が進みました。

指標項目	西市民病院		東市民病院	
	目標値	実績	目標値	実績
入院延患者数	114,453人	<b>107,548人</b>	67,671人	<b>66,758人</b>
入院診療単価	58,829円	<b>58,453円</b>	76,900円	<b>76,515円</b>
平均在院日数	10.7日	<b>10.9日</b>	9.3日	<b>9.0日</b>
稼働病床利用率	87.0%	<b>79.2%</b>	90.0%	<b>88.8%</b>
外来延患者数	201,680人	<b>206,859人</b>	131,760人	<b>121,550人</b>
外来診療単価	13,710円	<b>13,747円</b>	9,700円	<b>10,639円</b>

第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

『新統合病院に向けた取組』

新病院の建設整備事業については、毎月定例の工程会議を開催し、進捗状況及び施工計画の連絡調整を行っており、**工事は計画をやや上回る順調な進捗となっており、年度末時点で約26%の進捗率となっています。**

両病院の**跡地利用については**、加古川市が中心となって整備計画の取りまとめ作業が行われています。

項目別の状況	(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 1 医療体制の維持及び拡大  (小項目) (1) 地域医療への貢献	(中期目標の内容) (1) 地域医療への貢献 加古川市をはじめ東播磨地域の中核病院として、地域住民の生命と健康を守るため、患者中心の安全で質の高い医療や高度専門医療の提供（以下「目指すべき新病院の姿」という。）を図ること。
--------	---	---

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
	ウェイト: ① 評価: 4	ウェイト: ① 評価: 4	ウェイト: ① 評価: 4	ウェイト: 評価:
(1) 地域医療への貢献 ・ 地域医療支援病院として、地域の診療所からの紹介患者を積極的に受入れ、急性期の治療を終えた患者の診療所への逆紹介を確実にを行います。 ・ 地域周産期母子医療センターをはじめ、がん診療連携拠点病院や認知症疾患医療センターとして地域の医療と連携し、それぞれの領域における拠点機能を発揮します。 ・ 小児周産期や循環器疾患における救急対応をはじめ、地域の2次救急医療機関として患者受入を強化します。	(1) 地域医療への貢献 ・ 両病院は地域医療支援病院として、新たな紹介率や逆紹介率の基準をクリアし、地域の医療機関の要請に対応するべく積極的な患者受入れを行い地域完結型医療の推進に貢献しています。 また、今年度からインターネットによるWEB予約システムを導入し、医療機関との診療連携の向上を図っています。 <b>【西市民病院】</b> 紹介率 70% 逆紹介率 66% <b>【東市民病院】</b> 紹介率 70% 逆紹介率 81% ・ 西市民病院では、院内のがん診療委員会を設置し、拠点病院としてがん登録や相談事業の重点化に取り組んでいます。 ・ 認知症疾患医療センターでは、加古川医師会、東播認知症協議会が各地域で開催する認知症教室を支援し、認知症疾患に対する啓発や相談を積極的に行っています。 15回開催 <b>(10月末現在)</b> ・ 両病院は二次救急医療をはじめ、小児周産期領域及び循環器疾患の分野では、より広域的な拠点病院として24時間365日の受入れを行い、地域の救命救急医療に貢献しています。 心臓血管センター救急受入 889件 母体搬送 35件 新生児搬送 114件 ・ 東市民病院では、病院機能評価(機能種別版評価項目3rdG:Ver.1.0)を受審し、新たに認定を取得し、新病院に向けて両病院で組織的かつ継続的な改善活動による医療の質向上に取り組んでいます。	・ web予約システムを導入し、医療機関との診療連携の向上を図った取組は評価できる。 ・ 東市民病院が、病院機能評価(機能種別版評価項目3rdG:Ver.1.0)の認定を取得したことは、安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスを提供していると高く評価できる。	(1) 地域医療への貢献 ・ 両病院は地域医療支援病院として、新たな紹介率や逆紹介率の基準を <b>満たしながら</b> 、地域の医療機関の要請に <b>応えるべく</b> 積極的な患者受入を行い、地域完結型医療の推進に <b>貢献しました</b> 。 また、今年度からインターネットによるWEB予約システムを <b>本格稼働させ</b> 、医療機関との診療連携の <b>利便性を向上させました</b> 。 <b>【西市民病院】</b> 紹介率 70% 逆紹介率 69% <b>【東市民病院】</b> 紹介率 68% 逆紹介率 83% ・ 西市民病院では、院内のがん診療委員会を設置し、拠点病院としてがん登録や相談事業の重点化に <b>取り組みました</b> 。 ・ 認知症疾患医療センターでは、加古川医師会、東播認知症協議会が各地域で開催する認知症教室を支援し、認知症疾患に対する啓発や相談を積極的に <b>行いました</b> 。 計 31回開催 ・ 両病院は2次救急医療をはじめ、小児周産期領域及び循環器疾患の分野では、より広域的な拠点病院として24時間365日の受入れを行い、地域の救命救急医療に貢献しています。 心臓血管センター救急受入 1,365件 母体搬送 82件 新生児搬送 167件 ・ 東市民病院では、病院機能評価(機能種別版評価項目3rdG:Ver.1.0)を受審し、新たに認定を取得し、新病院に向けて両病院で組織的かつ継続的な改善活動による医療の質向上に <b>取り組みました</b> 。	

項目別の状況	<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 1 医療体制の維持及び拡大</p> <p>(小項目) (2) 安定的かつ継続的な医療の確保</p>	<p>(中期目標の内容) (2) 安定的かつ継続的な医療の確保 統合・再編に伴って地域住民への医療の質の低下を招くこと無く、両病院の特長を生かし、既存の診療科の機能をより充実させること。また、両病院は、新たな診療科の設置も考慮しながら、病院間での診療支援など相互の連携・補完関係を強化することで、統合・再編の相乗効果を追求し、安定的かつ継続的な医療を確保すること。</p>
--------	---	--

年度計画	暫定評価		本評価																																																																		
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																																	
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																																	
	ウェイト:① 評価:4	ウェイト:① 評価:4	ウェイト:① 評価:4	ウェイト: 評価:																																																																	
<p>(2) 安定的かつ継続的な医療の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両病院を一体的に運営することにより、統合・再編による効果を最大限に引き出し、医療の質の向上に努めます。</li> <li>既存の診療科のより一層の充実を図るとともに、診療領域を拡大し、より専門的な医療が提供できる体制づくりに努めます。</li> <li>診療科の拡充に合わせて加古川西市民病院の休床を解消し、入院患者受入体制を整備します。</li> <li>両病院に設置した診療センターの機能を充実を図ります。</li> </ul> <p>診療科</p>	<p>(2) 安定的かつ継続的な医療の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>統括院長体制による病院運営の一体化を定着させ更に推進させるため、看護部や診療支援部門における本格的な統括体制を推進しています。</li> <li>西市民病院では、内科医師の増員、確保状況を踏まえて、呼吸器、糖尿病、血液・腫瘍、リウマチ膠原病の領域におけるより専門的な診療体制を整備し、標榜診療科を19科から23科へ拡充させました。</li> <li>西市民病院の休床病棟の25床を6月から稼働させ、医療提供体制を拡充させています。</li> </ul> <p>稼働病床数 351床 ⇒ 376床</p>	<p>平成25年度に続き、西市民病院が休床病床のうち25床を再開したこと、また4つの診療科を新設したことは、全国的に医師・看護師不足の中で高く評価できる。</p>	<p>(2) 安定的かつ継続的な医療の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>統括院長体制による病院運営の一体化を定着させ更に推進させるため、看護部や診療支援部門における本格的な統括体制を<b>構築しました。</b></li> <li>西市民病院では、内科医師の増員に伴う<b>診療体制の充実により</b>、呼吸器、糖尿病、血液・腫瘍、リウマチ膠原病の領域における、より専門的な診療体制を整備し、標榜診療科を19科から23科へ<b>拡充しました。</b></li> <li>西市民病院の1-5病棟の休床25床を6月から稼働させ、<b>入院患者の受入れ体制を拡充しました。</b></li> </ul> <p>稼働病床数 351床 ⇒ 376床</p>																																																																		
<table border="1"> <tr> <td>加古川西市民病院 (23科)</td> <td>内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 糖尿病内科 腫瘍・血液内科 リウマチ科 小児科 精神・神経科 外科 整形外科 脳神経外科 小児外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 放射線科 麻酔科 救急科 病理診断科 リハビリテーション科</td> </tr> <tr> <td>加古川東市民病院 (13科)</td> <td>内科 消化器内科 循環器内科 小児科 外科 心臓血管外科 整形外科 形成外科 産婦人科 歯科口腔外科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科</td> </tr> </table>	加古川西市民病院 (23科)	内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 糖尿病内科 腫瘍・血液内科 リウマチ科 小児科 精神・神経科 外科 整形外科 脳神経外科 小児外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 放射線科 麻酔科 救急科 病理診断科 リハビリテーション科	加古川東市民病院 (13科)	内科 消化器内科 循環器内科 小児科 外科 心臓血管外科 整形外科 形成外科 産婦人科 歯科口腔外科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科	<table border="1"> <tr> <td>加古川西市民病院 (23科)</td> <td>内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 糖尿病内科 腫瘍・血液内科 リウマチ科 小児科 精神・神経科 外科 整形外科 脳神経外科 小児外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 放射線科 麻酔科 救急科 病理診断科 リハビリテーション科</td> </tr> <tr> <td>加古川東市民病院 (13科)</td> <td>内科 消化器内科 循環器内科 小児科 外科 心臓血管外科 整形外科 形成外科 産婦人科 歯科口腔外科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科</td> </tr> </table>	加古川西市民病院 (23科)	内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 糖尿病内科 腫瘍・血液内科 リウマチ科 小児科 精神・神経科 外科 整形外科 脳神経外科 小児外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 放射線科 麻酔科 救急科 病理診断科 リハビリテーション科	加古川東市民病院 (13科)	内科 消化器内科 循環器内科 小児科 外科 心臓血管外科 整形外科 形成外科 産婦人科 歯科口腔外科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科	<table border="1"> <tr> <td>加古川西市民病院 (23科)</td> <td>内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 糖尿病内科 腫瘍・血液内科 リウマチ科 小児科 精神・神経科 外科 整形外科 脳神経外科 小児外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 放射線科 麻酔科 救急科 病理診断科 リハビリテーション科</td> </tr> <tr> <td>加古川東市民病院 (13科)</td> <td>内科 消化器内科 循環器内科 小児科 外科 心臓血管外科 整形外科 形成外科 産婦人科 歯科口腔外科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科</td> </tr> </table>	加古川西市民病院 (23科)	内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 糖尿病内科 腫瘍・血液内科 リウマチ科 小児科 精神・神経科 外科 整形外科 脳神経外科 小児外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 放射線科 麻酔科 救急科 病理診断科 リハビリテーション科	加古川東市民病院 (13科)	内科 消化器内科 循環器内科 小児科 外科 心臓血管外科 整形外科 形成外科 産婦人科 歯科口腔外科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科																																																							
加古川西市民病院 (23科)	内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 糖尿病内科 腫瘍・血液内科 リウマチ科 小児科 精神・神経科 外科 整形外科 脳神経外科 小児外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 放射線科 麻酔科 救急科 病理診断科 リハビリテーション科																																																																				
加古川東市民病院 (13科)	内科 消化器内科 循環器内科 小児科 外科 心臓血管外科 整形外科 形成外科 産婦人科 歯科口腔外科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科																																																																				
加古川西市民病院 (23科)	内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 糖尿病内科 腫瘍・血液内科 リウマチ科 小児科 精神・神経科 外科 整形外科 脳神経外科 小児外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 放射線科 麻酔科 救急科 病理診断科 リハビリテーション科																																																																				
加古川東市民病院 (13科)	内科 消化器内科 循環器内科 小児科 外科 心臓血管外科 整形外科 形成外科 産婦人科 歯科口腔外科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科																																																																				
加古川西市民病院 (23科)	内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 糖尿病内科 腫瘍・血液内科 リウマチ科 小児科 精神・神経科 外科 整形外科 脳神経外科 小児外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 放射線科 麻酔科 救急科 病理診断科 リハビリテーション科																																																																				
加古川東市民病院 (13科)	内科 消化器内科 循環器内科 小児科 外科 心臓血管外科 整形外科 形成外科 産婦人科 歯科口腔外科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成24年度 実績値</th> <th>平成26年度 目標値</th> <th>平成24年度 実績値</th> <th>平成26年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療科数(科)</td> <td>19</td> <td>23</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>認定研修施設数(件)</td> <td>31</td> <td>32</td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	診療科数(科)	19	23	13	13	認定研修施設数(件)	31	32	25	26	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療科数(科)</td> <td>19</td> <td>23</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>認定研修施設数(件)</td> <td>32</td> <td>36</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	診療科数(科)	19	23	13	13	認定研修施設数(件)	32	36	25	25	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療科数(科)</td> <td>19</td> <td>23</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>認定研修施設数(件)</td> <td>32</td> <td>36</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	診療科数(科)	19	23	13	13	認定研修施設数(件)	32	36	25	25		
項目		加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																																	
	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値																																																																	
診療科数(科)	19	23	13	13																																																																	
認定研修施設数(件)	31	32	25	26																																																																	
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																																		
	実績値		実績値																																																																		
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																																	
診療科数(科)	19	23	13	13																																																																	
認定研修施設数(件)	32	36	25	25																																																																	
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																																		
	実績値		実績値																																																																		
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																																	
診療科数(科)	19	23	13	13																																																																	
認定研修施設数(件)	32	36	25	25																																																																	

項目別の状況	(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 1 医療体制の維持及び拡大  (小項目) (3) 職員の融和及び連携の強化	(中期目標の内容) (3) 職員の融和及び連携の強化 両病院の職員は、公的病院としての使命を果たすため、法人が掲げる理念を理解し、「目指すべき新病院の姿」の実現に向けて、病院間の距離を超えて一致協力し、質の高い医療の提供に努めること。
--------	---	---

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
	ウェイト:② 評価:3	ウェイト:② 評価:4	ウェイト:② 評価:3	ウェイト: 評価:
(3) 職員の融和及び連携の強化 ・業務の標準化や電子カルテシステム等を活用した情報共有によって、多職種連携と役割分担を促進し、チーム医療体制を充実します。 ・両病院の統括体制をより多くの部門に取り入れ、組織及び職員の一体化を進めます。 ・全職種について、両病院間の人事交流をより積極的に行います。	(3) 職員の融和及び連携の強化 ・チーム医療では、両病院の小児科と形成外科が連携し、唇裂・口蓋裂の治療を積極的に進め、歯科口腔外科医や言語聴覚士、臨床心理士など多職種による高度なチーム医療体制に取り組んでいます。 ・新病院の整備事業の進捗に合わせて、病床稼働状況の向上や診療体制の統一など、各部門間で新病院の運用の検討を行いました。 ・両病院の統括体制として、病院長をはじめ消化器内科、看護部長、事務部、放射線室、リハビリテーション室において統括所属長によるマネジメントを導入しました。 <b>【両病院間の人事異動の状況】</b> 看護師 7人 作業療法士 1人 臨床工学技士 2人 事務職員 2人 計 13人 ・看護部では、両病院の看護業務の標準化や共通の看護理念に基づく教育研修体制を構築する観点から、業務委員会及び教育委員会を合同で開催しました。また、両病院の組織風土の相互理解を深めるために、病院間の短期留学制度をスタートさせこれまで延77人の職場交流を進めています。	・統括体制をより多くの部門にも設け、両病院の一体的運営を進める取組は、両病院間の連携をさらに強化したものと評価できる。	(3) 職員の融和及び連携の強化 ・チーム医療として、両病院の小児科と形成外科が連携し、唇裂・口蓋裂の治療を積極的に進め、歯科口腔外科医や言語聴覚士、臨床心理士など多職種による高度な <b>連携体制を確立させました。</b> ・新病院の整備事業の進捗に合わせて、病床稼働状況の向上や診療体制の統一など、各部門間で新病院の運用の検討を行いました。 ・両病院の統括体制として、病院長をはじめ消化器内科、看護部長、事務部、放射線室、リハビリテーション室において統括所属長によるマネジメントを導入しました。 <b>【両病院間の人事異動の状況】</b> 医師 1人 看護師 12人 放射線技師 2人 作業療法士 1人 理学療法士 2人 臨床工学技士 3人 事務職員 4人 計 25人 ・看護部では、両病院の看護業務の標準化や共通の看護理念に基づく教育研修体制を構築する観点から、業務委員会及び教育委員会を合同で開催しました。 また、両病院の組織風土の相互理解を深めるために、病院間の短期留学制度をスタートさせ、これまで延77人の職場交流を <b>進めました。</b>	

項目別の状況	(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 1 医療体制の維持及び拡大  (小項目) (4) 医療従事者の確保	(中期目標の内容) (4) 医療従事者の確保 大学医学部などの医育機関との連携強化により、臨床研修体制などを充実させ、医師及び初期・後期臨床研修医の確保に努めること。さらに、看護系大学などの教育施設との連携により、看護師及び医療技術者の確保に努めること。
--------	---	---

年度計画	暫定評価		本評価																														
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																													
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																													
	ウェイト: ② 評価: 3	ウェイト: ② 評価: 3	ウェイト: ② 評価: 4	ウェイト: 評価:																													
<p>(4) 医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床研修病院として病院全体で初期研修医師の確保と育成に努めます。</li> <li>大学医学部など医育機関との連携を強化し、臨床研修体制の充実を図ります。</li> <li>教育支援センターの機能の強化を図ります。</li> <li>新病院における臨床研修体制を踏まえ、両病院を基幹型施設と協力型施設に再編し、研修プログラム及び研修指導体制を刷新します。</li> <li>救急専門科医及び脳神経外科医の確保に努めるとともに、小児循環器内科など専門領域の医師確保についても積極的に行います。</li> <li>病院の活力向上や人材育成の観点から、若手の初期・後期臨床研修医を重点的に確保します。</li> <li>看護系大学などとの就学、教育支援、実習受け入れを強化するとともに、説明会等の機会を活用し、看護師及び医療従事者の確保に努めます。</li> <li>休床の解消及び重症例の受け入れに対応するため看護師を早期に確保します。</li> </ul>	<p>(4) 医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度の初期研修医の採用では、ホームページの特集や病院見学を充実させ、臨床研修体制の充実を積極的に広報し、定員7人を確保することができました。また、将来の研修医獲得のために医学部生の病院見学を随時受入れています。</li> <li>神戸大学医学部生の実習施設として、定期的に学生の受け入れを行い、医療人の育成を支援するとともに、医学部生の病院見学を広く受入れています。</li> <li>実習受入人数 21人 医学部生見学受入 53人</li> <li>医師は西市民病院で内科、小児科等での4人の退職がありましたが、救急科、麻酔科で採用することができ11月1日時点で両病院合わせて141人体制を確保しています。</li> <li>後期研修医については、現在5人が内定しており、引き続き、採用の確保に努めます。</li> <li>看護体制の強化に向け、採用試験を毎月実施し、経験者40人、新卒50人の採用内定を行いました。</li> <li>(学校訪問/説明会) 16校 (看護実習生受入数) 541人 (奨学生の状況) 44人</li> <li>認定看護師が新たに2人誕生するとともに専門看護師1人の採用を内定させ、看護師の指導体制を強化させました。</li> <li>臨床検査技師、放射線診療技師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士等のコメディカルスタッフについても増員採用を行い、チーム医療体制の充実を図っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期研修医の確保のため、様々な方策を実施し、そしてそれが定員確保という結果に結びついたことは評価できる。</li> <li>救急科医師や麻酔科医師の採用は中核病院として高く評価できるものであるが、引き続き、脳神経外科医師等の確保に努めていただきたい。</li> <li>看護師数は年度目標数値に達していないものの、2人が認定看護師の資格を取得し、さらに専門看護師を1人採用内定できたことは、今後の機構のさらなる医療の高度化や、また診療報酬の獲得面においても有効であり、期待できる。</li> </ul>	<p>(4) 医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度の初期研修医の採用 <b>に関して</b> は、ホームページの特集や病院見学の内容を充実させ、臨床研修体制の充実を積極的に広報 <b>することにより、募集定員枠7人を採用しました。</b></li> <li>将来の研修医獲得のために医学部生の病院見学の <b>受入実績を向上させました。また、神戸大学医学部生(6年次)の個別実習施設として学生を受け入れ、医療人の育成を支援しました。</b></li> <li>実習受入人数 29人 医学部生見学受入 80人</li> <li><b>医師は、平成26年度中に西市民病院で22人、東市民病院で11人の退職がありましたが、退職を上回る医師を採用することができ、平成27年4月1日時点で両病院合わせて147人体制を確保しています。</b></li> <li><b>後期研修医は7人を採用し、今後も引き続き医師の確保に努めます。</b></li> <li>看護体制の強化に向け、看護師の採用試験を <b>随時</b> 実施し、 <b>経験者44人、新卒32人を採用しました。</b></li> <li>(学校訪問/説明会) 16校 (看護実習生受入数) 633人 (奨学生の状況) 45人</li> <li>認定看護師が新たに2人誕生するとともに、 <b>専門看護師1人を採用し、</b> 看護師の指導体制を強化させました。</li> <li>臨床検査技師、放射線診療技師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士等のコメディカルスタッフについても、 <b>即戦力となる経験者の採用を行い、</b> チーム医療体制の充実を <b>図りました。</b></li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成24年度 実績値</th> <th>平成26年度 目標値</th> <th>平成24年度 実績値</th> <th>平成26年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師数(人)</td> <td>72</td> <td>75</td> <td>46</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>初期臨床研修医数(人)</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>後期臨床研修医数(人)</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>看護師数(人)</td> <td>347</td> <td>390</td> <td>223</td> <td>210</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	医師数(人)	72	75	46	41	初期臨床研修医数(人)	8	9	4	3	後期臨床研修医数(人)	13	13	3	4	看護師数(人)	347	390	223	210
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																														
	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値																													
医師数(人)	72	75	46	41																													
初期臨床研修医数(人)	8	9	4	3																													
後期臨床研修医数(人)	13	13	3	4																													
看護師数(人)	347	390	223	210																													



項目別の状況	(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 1 医療体制の維持及び拡大  (小項目) (5) 情報発信の推進	(中期目標の内容) (5) 情報発信の推進 病院運営に関して、地域住民の理解が得られるよう積極的な情報発信を行い、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めること。
--------	--	---

年度計画	暫定評価		本評価																																																																		
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																																	
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																																	
(5) 情報発信の推進 ・両病院の地域連携室から発信する情報誌を「おひさま」に統合・リニューアルし、地域の医療機関に対して最新の情報を提供できるよう広報を行います。 ・よりわかりやすくタイムリーで魅力あるホームページへ刷新するとともに、機構広報誌「つつじ」を活用して、的確な情報発信を行います。 ・市民健康講座や市民シンポジウムを定期的で開催し、地域住民とのコミュニケーションを通して、病院への理解を深めてもらう機会を増やします。	<b>ウェイト： 評価：3</b> (5) 情報発信の推進 ・地域連携広報誌「おひさま」を両病院協同で発行(隔月)しています。 ・両病院で加古川医師会の協力のもと市民健康講座を開催するなど、病気の予防や健康管理について地域住民へ積極的に情報提供を行っています。 <b>【西市民病院】</b> 市民健康講座 糖尿病教室 母乳育児サークル 両親学級 <b>【東市民病院】</b> 市民健康セミナー 糖尿病教室 健康教室 耳よりばなし 心臓友の会 ・機構広報誌「つつじ」を市内全戸配布とし、地域住民がより身近に感じられるよう広報機能を向上させました。 ・新病院の建設状況についてはホームページで定期的にお知らせしています。	<b>ウェイト： 評価：3</b> ・両病院の地域連携広報誌を統合し、地域の医療機関にわかりやすく情報を提供できるようリニューアルしたことは、効率化が図られ評価できる。 ・ホームページで新病院の建設状況について、毎月写真を掲載して情報発信していることは住民理解への努力として評価できる。	<b>ウェイト： 評価：3</b> (5) 情報発信の推進 ・地域連携広報誌「おひさま」を発行(隔月)し、 <b>地域の医療機関へ両病院の最新情報を提供しました。</b> ・両病院では、加古川医師会の協力のもと市民健康講座を開催し、病気の予防や健康管理について地域住民へ積極的に情報提供を <b>行いました。</b> <b>【西市民病院】</b> 市民健康講座 糖尿病教室 母乳育児サークル 両親学級 <b>【東市民病院】</b> 市民健康セミナー 糖尿病教室 健康教室 耳よりばなし 心臓友の会 ・機構広報誌「つつじ」を市内全戸配布とし、地域住民がより身近に感じられるよう広報機能を向上させました。 ・新病院の建設状況についてはホームページで定期的な <b>情報発信を行いました。</b>	<b>ウェイト： 評価：</b>																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成24年度実績値</th> <th>平成26年度目標値</th> <th>平成24年度実績値</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報紙等発刊数(発行回数)</td> <td>14</td> <td>20</td> <td>31</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>公開講座等開催数(回)</td> <td>71</td> <td>75</td> <td>95</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成24年度実績値	平成26年度目標値	平成24年度実績値	平成26年度目標値	広報紙等発刊数(発行回数)	14	20	31	33	公開講座等開催数(回)	71	75	95	48	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報紙等発刊数(発行回数)</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>32</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>公開講座等開催数(回)</td> <td>102</td> <td>42</td> <td>88</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値			平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	広報紙等発刊数(発行回数)	10	5	32	20	公開講座等開催数(回)	102	42	88	25	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報紙等発刊数(発行回数)</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>32</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>公開講座等開催数(回)</td> <td>102</td> <td>126</td> <td>88</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値			平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	広報紙等発刊数(発行回数)	10	9	32	32	公開講座等開催数(回)	102	126	88
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																																		
	平成24年度実績値	平成26年度目標値	平成24年度実績値	平成26年度目標値																																																																	
広報紙等発刊数(発行回数)	14	20	31	33																																																																	
公開講座等開催数(回)	71	75	95	48																																																																	
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																																		
	実績値		実績値																																																																		
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																																	
広報紙等発刊数(発行回数)	10	5	32	20																																																																	
公開講座等開催数(回)	102	42	88	25																																																																	
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																																		
	実績値		実績値																																																																		
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																																	
広報紙等発刊数(発行回数)	10	9	32	32																																																																	
公開講座等開催数(回)	102	126	88	42																																																																	

項目別の状況	<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療</p> <p>(小項目) (1) 重点的医療への取組</p>	<p>(中期目標の内容) (1) 重点的医療への取組 医療ニーズとして重点課題となっている「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療及び周産期・小児医療」を特に強化、充実すること。</p>
--------	--	--

年度計画	暫定評価		本評価																															
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																														
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																														
	ウェイト:① 評価:3	ウェイト:① 評価:3	ウェイト:① 評価:3	ウェイト: 評価:																														
<p>(1) 重点的医療への取組 地域の基幹病院として、両病院の診療機能をフルに発揮させることで急性期総合医療を迅速かつ安定的に提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小児周産期医療や循環器治療など両病院の強みや特色となる領域については、更なる高度専門化を図り、地域医療への貢献度を高めます。</li> <li>ICU病棟のより効果的な運営による重症例の受け入れや夜間を含めた救急受入を積極的に行います。</li> <li>新たにリウマチ、膠原病などの自己免疫系疾患に係る診療体制を充実させます。</li> <li>新病院における診療体制を踏まえて、神経内科、腎臓内科の常勤医師体制を整備します。</li> <li>地域医療への更なる貢献のため、両病院の病床を有効に活用し、診療機能の充実を図ります。</li> <li>両病院の特長である5センター(消化器内視鏡センター、心臓血管センター、こどもセンター、周産母子センター、がん集学的治療センター)における更なるレベルアップを図り、地域完結型医療の中心的役割を果たします。</li> </ul>	<p>(1) 重点的医療への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>厚生労働省から公表された今年度の主要診断群別データでは東播磨2市2町における循環器領域における両病院のシェアは70%、母子・周産期医療のシェアは94%で、いずれも地域の中核医療機関として、救急受入れから高度集中治療にいたる広範囲の医療を提供しています。</li> <li>西市民病院にリウマチ科を新設し、地域の医療機関との連携の中で、入院を要する患者の受入れを担っています。また、院内のスタッフに対して、リウマチ疾患に関する勉強会を定期的に開催しています。</li> <li>新病院で新設を予定する診療科については、神戸大学病院等の関連機関へ積極的に働きかけを行い、引き続き医師確保に努めています。</li> <li>病棟の稼働状況を踏まえて定期的に病床配分の見直しを行い、求められる入院ニーズへの臨機な受入体制を強化しています。</li> <li>がん治療では、放射線治療領域で看護体制を強化するとともに、血液・腫瘍内科医による化学療法の充実、がんリハビリや相談指導体制など、拠点病院としての機能を整備しています。</li> </ul> <p>(主要診断群別シェア)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>循環器</th> <th>新生児</th> <th>小児科</th> <th>母子・周産期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加古川西市民病院</td> <td>2%</td> <td>85%</td> <td>49%</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>加古川東市民病院</td> <td>68%</td> <td>12%</td> <td>31%</td> <td>11%</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	循環器	新生児	小児科	母子・周産期	加古川西市民病院	2%	85%	49%	83%	加古川東市民病院	68%	12%	31%	11%	<ul style="list-style-type: none"> <li>東播磨2市2町における両病院のシェアが、循環器領域、新生児、小児科、母子・周産期医療のいずれもが非常に高く、地域医療への貢献度が高いと評価できる。</li> <li>現在1人となってしまった脳神経外科医師の確保について、引き続き努力したい。</li> </ul>	<p>(1) 重点的医療への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>厚生労働省から公表された<b>平成25年度</b>の主要診断群別データでは東播磨2市2町における循環器領域における両病院のシェアは70%、母子・周産期医療のシェアは94%で、いずれも地域の中核医療機関として、救急受入れから高度集中治療に至る広範囲の医療を<b>提供しました</b>。</li> <li>西市民病院にリウマチ科を新設し、地域の医療機関との連携の中で、入院を<b>必要とする膠原病患者</b>の受入れを<b>行いました</b>。また、院内のスタッフに対して、リウマチ疾患に関する勉強会を定期的に<b>開催しました</b>。</li> <li>新病院で新設を予定する診療科については、神戸大学病院等の関連機関へ積極的な働きかけを行い、引き続き医師の確保に<b>努めました</b>。</li> <li>病棟の稼働状況を踏まえて定期的に病床配分の見直しを行い、<b>入院ニーズへの臨機な対応を強化しました</b>。</li> <li>がん治療では、放射線治療領域で<b>認定看護師の配置など</b>看護体制を強化するとともに、血液・腫瘍内科医による化学療法の充実、がんリハビリや相談指導体制など、連携拠点病院としての機能を整備しています。</li> </ul> <p>(主要診断群別シェア)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>循環器</th> <th>新生児</th> <th>小児科</th> <th>母子・周産期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加古川西市民病院</td> <td>2%</td> <td>85%</td> <td>49%</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>加古川東市民病院</td> <td>68%</td> <td>12%</td> <td>31%</td> <td>11%</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	循環器	新生児	小児科	母子・周産期	加古川西市民病院	2%	85%	49%	83%	加古川東市民病院	68%	12%	31%	11%	
施設名	循環器	新生児	小児科	母子・周産期																														
加古川西市民病院	2%	85%	49%	83%																														
加古川東市民病院	68%	12%	31%	11%																														
施設名	循環器	新生児	小児科	母子・周産期																														
加古川西市民病院	2%	85%	49%	83%																														
加古川東市民病院	68%	12%	31%	11%																														

項目別の状況	<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療</p> <p>(小項目) (1) 重点的医療への取組 (続)</p>	<p>(中期目標の内容) (1) 重点的医療への取組 (再掲) 医療ニーズとして重点課題となっている「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療及び周産期・小児医療」を特に強化、充実すること。</p>
--------	--	---

年度計画	暫定評価		本評価																																																																									
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																																								
	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																																								
<p>① がん 【加古川西市民病院】 ・地域がん診療連携拠点病院として、がん診療キャンサーボードやがん診療プロトコール検討委員会の活動を充実させ、がんの集学的診療体制を更に強化します。 【加古川東市民病院】 ・がん診療体制を強化します。</p> <p>② 脳卒中 【加古川西市民病院】 ・精神・神経科、脳神経外科、リハビリテーション部門を中心とした、脳卒中診療体制及び脳卒中リハビリ体制を強化します。 ・急性期医療に専念するために、地域の医療機関との連携を強化し、急性期を脱した患者の受入先を確保します。 ・近隣医療機関や介護施設などと定期的に、共同のリハビリテーション医療に関する研究や改善活動を実施します。</p> <p>③ 心筋梗塞 【加古川東市民病院】 ・心臓血管疾患の治療センターとして地域での中心的役割を担います。 ・救命救急センターとの連携の下、心臓疾患の治療体制を強化し、心筋梗塞、狭心症などの疾患に対して、24時間365日体制で対応します。</p> <p>④ 糖尿病 ・高度で専門的な糖尿病診療を提供します。 【加古川西市民病院】 ・小児科・産婦人科との連携の下、成人後の1型糖尿病の医療提供体制や、周産期の血糖管理が行える体制を強化します。</p>	<p>①がん ・西市民病院では、がん診療委員会を中心に集学的治療体制の整備を進めており、がん相談の充実など拠点病院としての施設基準を強化しています。また、腫瘍・血液内科の新設によりがん診療体制を充実させています。</p> <p>②脳卒中 ・脳血管疾患に係る早期リハビリを積極的に行い、廃用性症候群の予防に努めていますが、医師確保が困難なことから現体制では急性期疾患の治療に十分対応できていません。</p> <p>③心筋梗塞 ・心臓血管センターでは、冠動脈疾患に対して、カテーテルを使った低侵襲で安全な検査・治療を24時間365日体制で行っています。 ・救急隊との協力の下で、発症後の迅速な受入に全力で取り組み、再灌流までの時間 (Door to BalloonTime) 短縮により救命率の向上に努めています。 ・治療後は逆紹介により、地域のかかりつけ医と連携して継続治療・再発防止に努めています。</p> <p>④糖尿病 ・糖尿病内科の設置やNST活動を本格化させるとともに、1型糖尿病患者会や研究会を発足させ、治験や臨床研究、情報発信活動を積極的に進めています。</p>	<table border="1"> <tr><td>がん登録件数</td><td>992</td></tr> <tr><td>放射線治療件数</td><td>2,048</td></tr> <tr><td>手術件数</td><td>190</td></tr> <tr><td>外来化学療法件数</td><td>588</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>脳血管リハ I 実施件数</td><td>15,066</td></tr> <tr><td>脳神経外科外来延患者数</td><td>2,061</td></tr> <tr><td>脳神経外科病床稼働率 (%)</td><td>39.3</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>冠動脈造影検査件数</td><td>604</td></tr> <tr><td>冠動脈インターベンション (PCI) 件数</td><td>222</td></tr> <tr><td>冠動脈CT件数</td><td>260</td></tr> <tr><td>心エコー件数</td><td>3,549</td></tr> <tr><td>Door to Balloon Time(分)</td><td>43</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>入院患者数</td><td>105</td></tr> <tr><td>外来患者数</td><td>798</td></tr> <tr><td>糖尿病関連妊娠</td><td>310</td></tr> <tr><td>栄養指導件数</td><td>895</td></tr> <tr><td>1型患者数</td><td>698</td></tr> <tr><td>臨床研究(治験)</td><td>31</td></tr> </table>	がん登録件数	992	放射線治療件数	2,048	手術件数	190	外来化学療法件数	588	脳血管リハ I 実施件数	15,066	脳神経外科外来延患者数	2,061	脳神経外科病床稼働率 (%)	39.3	冠動脈造影検査件数	604	冠動脈インターベンション (PCI) 件数	222	冠動脈CT件数	260	心エコー件数	3,549	Door to Balloon Time(分)	43	入院患者数	105	外来患者数	798	糖尿病関連妊娠	310	栄養指導件数	895	1型患者数	698	臨床研究(治験)	31	<p>①がん ・西市民病院では、がん診療委員会を中心に集学的治療体制の整備を進めるとともに、<b>がん相談など患者支援体制の充実を図り、拠点病院としての機能を強化しました。</b>また、腫瘍・血液内科の新設により、がん診療体制を<b>充実させました。</b></p> <p>②脳卒中 ・脳血管疾患に係る早期リハビリを積極的に行い、廃用性症候群の予防に努めていますが、<b>専門医の不足により現体制では急性期疾患の治療に対応した診療機能が不十分で、入院患者の受入れが低迷しています。</b></p> <p>③心筋梗塞 ・心臓血管センターでは、冠動脈疾患に対して、カテーテルを用いた低侵襲で安全な検査・治療を24時間365日<b>実施できる診療体制を維持しています。</b> ・救急隊との協力の下で、発症後の迅速な受入に全力で取り組み、<b>病院到着から再灌流までの時間 (Door to BalloonTime) 短縮により救命率の向上に寄与しました。</b> ・治療後は逆紹介により、地域のかかりつけ医と連携して継続治療・再発防止に<b>努めました。</b></p> <p>④糖尿病 ・<b>専門診療科として糖尿病内科を設置するとともに、NST活動の本格化や、1型糖尿病患者会、研究会の発足など、治験や臨床研究、情報発信活動を積極的に進めました。</b></p>	<table border="1"> <tr><td>がん登録件数</td><td>1,694</td></tr> <tr><td>放射線治療件数</td><td>4,164</td></tr> <tr><td>手術件数</td><td>330</td></tr> <tr><td>外来化学療法件数</td><td>1,183</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>脳血管リハ I 実施件数</td><td>23,334</td></tr> <tr><td>脳神経外科外来延患者数</td><td>3,351</td></tr> <tr><td>脳神経外科病床稼働率 (%)</td><td>36.2</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>冠動脈造影検査件数</td><td>1,076</td></tr> <tr><td>冠動脈インターベンション (PCI) 件数</td><td>394</td></tr> <tr><td>冠動脈CT件数</td><td>456</td></tr> <tr><td>心エコー件数</td><td>6,046</td></tr> <tr><td>Door to Balloon Time(分)</td><td>71</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>入院患者数</td><td>240</td></tr> <tr><td>外来患者数</td><td>21,819</td></tr> <tr><td>糖尿病関連妊娠</td><td>1,035</td></tr> <tr><td>栄養指導件数</td><td>1,644</td></tr> <tr><td>1型患者数</td><td>1,874</td></tr> <tr><td>臨床研究(治験)</td><td>42</td></tr> </table>	がん登録件数	1,694	放射線治療件数	4,164	手術件数	330	外来化学療法件数	1,183	脳血管リハ I 実施件数	23,334	脳神経外科外来延患者数	3,351	脳神経外科病床稼働率 (%)	36.2	冠動脈造影検査件数	1,076	冠動脈インターベンション (PCI) 件数	394	冠動脈CT件数	456	心エコー件数	6,046	Door to Balloon Time(分)	71	入院患者数	240	外来患者数	21,819	糖尿病関連妊娠	1,035	栄養指導件数	1,644	1型患者数	1,874	臨床研究(治験)	42
がん登録件数	992																																																																											
放射線治療件数	2,048																																																																											
手術件数	190																																																																											
外来化学療法件数	588																																																																											
脳血管リハ I 実施件数	15,066																																																																											
脳神経外科外来延患者数	2,061																																																																											
脳神経外科病床稼働率 (%)	39.3																																																																											
冠動脈造影検査件数	604																																																																											
冠動脈インターベンション (PCI) 件数	222																																																																											
冠動脈CT件数	260																																																																											
心エコー件数	3,549																																																																											
Door to Balloon Time(分)	43																																																																											
入院患者数	105																																																																											
外来患者数	798																																																																											
糖尿病関連妊娠	310																																																																											
栄養指導件数	895																																																																											
1型患者数	698																																																																											
臨床研究(治験)	31																																																																											
がん登録件数	1,694																																																																											
放射線治療件数	4,164																																																																											
手術件数	330																																																																											
外来化学療法件数	1,183																																																																											
脳血管リハ I 実施件数	23,334																																																																											
脳神経外科外来延患者数	3,351																																																																											
脳神経外科病床稼働率 (%)	36.2																																																																											
冠動脈造影検査件数	1,076																																																																											
冠動脈インターベンション (PCI) 件数	394																																																																											
冠動脈CT件数	456																																																																											
心エコー件数	6,046																																																																											
Door to Balloon Time(分)	71																																																																											
入院患者数	240																																																																											
外来患者数	21,819																																																																											
糖尿病関連妊娠	1,035																																																																											
栄養指導件数	1,644																																																																											
1型患者数	1,874																																																																											
臨床研究(治験)	42																																																																											

項目別の状況	<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療</p> <p>(小項目) (1) 重点的医療への取組 (続)</p>	<p>(中期目標の内容) (1) 重点的医療への取組 (再掲) 医療ニーズとして重点課題となっている「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療及び周産期・小児医療」を特に強化、充実すること。</p>
--------	--	---

年度計画	暫定評価		本評価																																																			
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																		
	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																		
<p>⑤ 救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両病院の2次救急患者の受入体制を充実させます。また、両病院が連携し、それぞれの病院の強みである疾患に関しては特に積極的な受け入れに努めます。</li> <li>【加古川西市民病院】 <ul style="list-style-type: none"> <li>医師の確保をはじめ、平成24年度に設置した救急科の体制整備を図り、2次救急患者の受入体制の強化を図ります。</li> <li>小児救急体制の更なる整備を進め、安定した救急医療の提供に努めます。</li> </ul> </li> <li>【加古川東市民病院】 <ul style="list-style-type: none"> <li>心臓疾患をはじめとする当院の強みである各疾患において特に積極的な受け入れを実施します。</li> </ul> </li> </ul> <p>⑥ 周産期・小児医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両病院併せての診療機能を維持・充実させつつ、地域での周産期・小児医療体制の充実を図ります。</li> <li>【加古川西市民病院】 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域周産期母子医療センターとして周産期及び新生児医療の更なる充実を図ります。</li> </ul> </li> </ul>	<p>⑤救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な患者受け入れを行っており、救急搬送受け入れは前年度実績を上回る見込みです。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">西市民病院</td> <td style="text-align: center;">東市民病院</td> </tr> <tr> <td>救急車搬送件数</td> <td style="text-align: center;">1,787</td> <td style="text-align: center;">1,405</td> </tr> <tr> <td>不応率(平日時間内)%</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>ICU入院件数</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">293</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>西市民病院の救急科は、医師1人を増員し、受け入れの充実を図りました。</li> <li>小児救急では救急搬送件数の半数近い825件を受入れています。</li> <li>東市民病院の心臓血管センター及び口腔外科では24時間365日体制の受け入れを続け、緊急時の対応に注力しています。</li> </ul> <p>⑥周産期・小児医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産科機能を西市民病院へ集約し、周産母子センターの拡充を図りました。</li> <li>周産母子センターでは、産科部門と新生児部門が連携し、母体搬送の受入やハイリスク妊娠、新生児集中治療など高度で総合的な周産期医療の提供に取り組んでいます。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>母体搬送件数</td> <td style="text-align: center;">35</td> </tr> <tr> <td>新生児搬送件数</td> <td style="text-align: center;">114</td> </tr> <tr> <td>分娩件数</td> <td style="text-align: center;">511</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク分娩件数</td> <td style="text-align: center;">74</td> </tr> <tr> <td>帝王切開件数</td> <td style="text-align: center;">74</td> </tr> <tr> <td>ベビーセンター入院患者数</td> <td style="text-align: center;">345</td> </tr> <tr> <td>助産外来</td> <td style="text-align: center;">230</td> </tr> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小児医療の拠点病院として、地域の医療機関や療育施設等との連携強化を図り、移行期医療や在宅医療の支援を進めていきます。</li> </ul>		西市民病院	東市民病院	救急車搬送件数	1,787	1,405	不応率(平日時間内)%	3	-	ICU入院件数	100	293	母体搬送件数	35	新生児搬送件数	114	分娩件数	511	ハイリスク分娩件数	74	帝王切開件数	74	ベビーセンター入院患者数	345	助産外来	230	<p>⑤救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な患者受け入れを行ったことにより、救急搬送の受け入れは前年度実績を大幅に上回りました。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">西市民病院</td> <td style="text-align: center;">東市民病院</td> </tr> <tr> <td>救急車搬送件数</td> <td style="text-align: center;">3,106</td> <td style="text-align: center;">2,520</td> </tr> <tr> <td>不応率(平日時間内)%</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>ICU入院件数</td> <td style="text-align: center;">176</td> <td style="text-align: center;">537</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>西市民病院の救急部門の医師を1人増員し、受け入れ体制の充実を図りました。</li> <li>小児救急では、救急搬送件数の半数近い1,457件を受入れました。</li> <li>東市民病院の心臓血管センター及び口腔外科では、24時間365日体制の受け入れを続け、緊急時の対応に注力しました。</li> </ul> <p>⑥周産期・小児医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両病院の産科機能を西市民病院へ集約し、周産母子センターの機能を充実させました。</li> <li>周産母子センターでは、産科部門と新生児部門が連携し、母体搬送の受入やハイリスク妊娠、新生児集中治療など高度で総合的な周産期医療を提供しました。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>母体搬送件数</td> <td style="text-align: center;">82</td> </tr> <tr> <td>新生児搬送件数</td> <td style="text-align: center;">167</td> </tr> <tr> <td>分娩件数</td> <td style="text-align: center;">877</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク分娩件数</td> <td style="text-align: center;">145</td> </tr> <tr> <td>帝王切開件数</td> <td style="text-align: center;">374</td> </tr> <tr> <td>ベビーセンター入院患者数</td> <td style="text-align: center;">586</td> </tr> <tr> <td>助産外来</td> <td style="text-align: center;">336</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>小児医療の拠点病院として、移行期を迎えた患者に対する医療体制を推進するために、西市民病院に移行期医療調整室を設置し、医師をはじめ多職種によるサポートをスタートさせました。</li> </ul>		西市民病院	東市民病院	救急車搬送件数	3,106	2,520	不応率(平日時間内)%	3	-	ICU入院件数	176	537	母体搬送件数	82	新生児搬送件数	167	分娩件数	877	ハイリスク分娩件数	145	帝王切開件数	374	ベビーセンター入院患者数	586	助産外来	336
	西市民病院	東市民病院																																																				
救急車搬送件数	1,787	1,405																																																				
不応率(平日時間内)%	3	-																																																				
ICU入院件数	100	293																																																				
母体搬送件数	35																																																					
新生児搬送件数	114																																																					
分娩件数	511																																																					
ハイリスク分娩件数	74																																																					
帝王切開件数	74																																																					
ベビーセンター入院患者数	345																																																					
助産外来	230																																																					
	西市民病院	東市民病院																																																				
救急車搬送件数	3,106	2,520																																																				
不応率(平日時間内)%	3	-																																																				
ICU入院件数	176	537																																																				
母体搬送件数	82																																																					
新生児搬送件数	167																																																					
分娩件数	877																																																					
ハイリスク分娩件数	145																																																					
帝王切開件数	374																																																					
ベビーセンター入院患者数	586																																																					
助産外来	336																																																					

項目別の状況	(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療  (小項目) (2) 高度専門医療の提供	(中期目標の内容) (2) 高度専門医療の提供 両病院で特に中心的役割を担う診療科については、さらに診療内容のレベルアップを図り、高度専門医療を提供できる体制を構築すること。 加えて、高度専門医療を担う医師、看護師及び医療技術者による調査、研究、治験や従事者の研修体制を整備し、新しい医療を積極的に取り入れること。また、医師、看護師及び医療技術者がそれぞれの専門性を高めつつ連携することで、新しいチーム医療を確立していくこと。
--------	--	--

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価:
(2) 高度専門医療の提供 ・両病院で特に中心的役割を担う診療科については、更に診療内容のレベルアップを行い、各診療科の連携及び集約によるセンターの充実を図ります。 ・新しい医療を積極的に取り入れるとともに、病棟薬剤師の配置などチーム医療による診療機能の強化に努めます。 ・両病院合同のチームカンファレンスなどをはじめとした連携体制の充実のもとより、臨床研究の成果や治療実績等についての各種発表会等の開催など、医師をはじめとした医療スタッフの交流を積極的に進めます。	(2) 高度専門医療の提供 ・急性期病院として、手術件数は前年度同月に対して183件(5.4%)増で、眼科を中心に件数を伸ばしています。 ・新規入院患者では、662人(7.4%)増加し、西市民病院の内科、眼科、救急科で顕著な伸びとなっています。また、東市民病院では、内科、形成外科で高い伸びが見られたものの、産婦人科の休止をはじめ小児科、外科は減少しています。 <b>【西市民病院】</b> ・小児、周産期領域については、救急医療から専門外来、入院加療や手術に対応できる中核医療施設として地域の医療機関と連携しながら切れ目の無い医療を提供しています。 ・新設した腫瘍・血液内科では難治性の白血病患者に対して、化学療法、造血幹細胞移植を組み合わせた集学的治療に取り組んでいます。 ・リウマチ科の設置により内科の総合診療レベルの向上が図られています。 <b>【東市民病院】</b> ・歯科口腔外科と形成外科の連携により舌がんを中心とした口腔がんの治療体制を強化しています。 ・作業療法士の配置や休日リハビリ体制を拡充し、心臓リハビリテーションを中心とした急性期医療に直結した早期の機能回復訓練を実施し、ADLの向上を図っています。	・西市民病院がGCU(新生児回復治療室)の施設基準を取得できたことは、診療内容のレベルがアップしたと評価できる。 ・集学的がん治療センターにおいては、腫瘍・血液内科の新設や新たながん放射線療法看護認定看護師の配置、また、8月から認定看護師と専門医による外来がん看護相談を開始するなど、高度医療を提供する体制の強化を図ったと評価できる。	(2) 高度専門医療の提供 ・急性期病院として、 <b>手術件数は前年度と比較して317件(5.3%)増で、眼科を中心に件数が増加しました。</b> ・ <b>新規入院患者は、923人(5.9%)増加し、西市民病院の内科、小児科、眼科で顕著な伸びとなりました。また、東市民病院では、内科、形成外科、歯科口腔外科で高い伸びが見られたものの、産婦人科の休止をはじめ小児科、外科は減少しました。</b> <b>【西市民病院】</b> ・小児、周産期領域については、救急医療から専門外来、入院加療や手術に対応できる中核医療施設として地域の医療機関と連携しながら切れ目の無い医療を <b>提供しました。</b> ・新設した腫瘍・血液内科では難治性の白血病患者に対して、化学療法、造血幹細胞移植を組み合わせた集学的治療を <b>提供しました。</b> ・リウマチ科の設置により、内科の総合診療レベルの向上を <b>図りました。</b> <b>【東市民病院】</b> ・歯科口腔外科と形成外科の連携により、舌がんを中心とした口腔がんの治療体制を <b>強化しました。</b> ・作業療法士の配置や休日リハビリ体制を拡充し、心臓リハビリテーションを中心とした急性期医療に直結した早期の機能回復訓練を実施し、ADLの向上を <b>図りました。</b>	

項目別の状況	(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療  (小項目) (2) 高度専門医療の提供 (続)	(中期目標の内容) (2) 高度専門医療の提供 (再掲) 両病院で特に中心的役割を担う診療科については、さらに診療内容のレベルアップを図り、高度専門医療を提供できる体制を構築すること。 加えて、高度専門医療を担う医師、看護師及び医療技術者による調査、研究、治験や従事者の研修体制を整備し、新しい医療を積極的に取り入れること。また、医師、看護師及び医療技術者がそれぞれの専門性を高めつつ連携することで、新しいチーム医療を確立していくこと。
--------	--	---

年度計画	暫定評価				本評価																																																																																																																																																																																																									
	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価																																																																																																																																																																																																							
	評価の判断理由 (実施状況等)		評価の判断理由・委員会の意見など		評価の判断理由 (実施状況等)		評価の判断理由・委員会の意見など																																																																																																																																																																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手術件数</th> <th>西市民病院</th> <th>東市民病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計</td> <td>2,552</td> <td>1,051</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>316</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>眼科</td> <td>1,200</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>395</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科</td> <td>113</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小児外科</td> <td>176</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>171</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>内科</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>泌尿器科</td> <td>131</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>皮膚科</td> <td>45</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>形成外科</td> <td>0</td> <td>389</td> </tr> <tr> <td>心臓血管外科</td> <td>0</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>口腔外科</td> <td>-</td> <td>215</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">10月末現在</p>		手術件数	西市民病院	東市民病院	計	2,552	1,051	外科	316	182	眼科	1,200	-	産婦人科	395	0	耳鼻科	113	-	小児科	4	2	小児外科	176	-	整形外科	171	155	内科	1	4	泌尿器科	131	-	皮膚科	45	-	形成外科	0	389	心臓血管外科	0	104	口腔外科	-	215			<table border="1"> <thead> <tr> <th>手術件数</th> <th>西市民病院</th> <th>東市民病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計</td> <td>4,530</td> <td>1,776</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>509</td> <td>275</td> </tr> <tr> <td>眼科</td> <td>2,247</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>700</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科</td> <td>197</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小児外科</td> <td>279</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>283</td> <td>258</td> </tr> <tr> <td>内科</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>泌尿器科</td> <td>223</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>皮膚科</td> <td>80</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>形成外科</td> <td>0</td> <td>659</td> </tr> <tr> <td>心臓血管外科</td> <td>0</td> <td>195</td> </tr> <tr> <td>口腔外科</td> <td>-</td> <td>383</td> </tr> <tr> <td>救急科</td> <td>5</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		手術件数	西市民病院	東市民病院	計	4,530	1,776	外科	509	275	眼科	2,247	-	産婦人科	700	0	耳鼻科	197	-	小児科	7	2	小児外科	279	-	整形外科	283	258	内科	0	4	泌尿器科	223	-	皮膚科	80	-	形成外科	0	659	心臓血管外科	0	195	口腔外科	-	383	救急科	5	-																																																																																																											
手術件数	西市民病院	東市民病院																																																																																																																																																																																																												
計	2,552	1,051																																																																																																																																																																																																												
外科	316	182																																																																																																																																																																																																												
眼科	1,200	-																																																																																																																																																																																																												
産婦人科	395	0																																																																																																																																																																																																												
耳鼻科	113	-																																																																																																																																																																																																												
小児科	4	2																																																																																																																																																																																																												
小児外科	176	-																																																																																																																																																																																																												
整形外科	171	155																																																																																																																																																																																																												
内科	1	4																																																																																																																																																																																																												
泌尿器科	131	-																																																																																																																																																																																																												
皮膚科	45	-																																																																																																																																																																																																												
形成外科	0	389																																																																																																																																																																																																												
心臓血管外科	0	104																																																																																																																																																																																																												
口腔外科	-	215																																																																																																																																																																																																												
手術件数	西市民病院	東市民病院																																																																																																																																																																																																												
計	4,530	1,776																																																																																																																																																																																																												
外科	509	275																																																																																																																																																																																																												
眼科	2,247	-																																																																																																																																																																																																												
産婦人科	700	0																																																																																																																																																																																																												
耳鼻科	197	-																																																																																																																																																																																																												
小児科	7	2																																																																																																																																																																																																												
小児外科	279	-																																																																																																																																																																																																												
整形外科	283	258																																																																																																																																																																																																												
内科	0	4																																																																																																																																																																																																												
泌尿器科	223	-																																																																																																																																																																																																												
皮膚科	80	-																																																																																																																																																																																																												
形成外科	0	659																																																																																																																																																																																																												
心臓血管外科	0	195																																																																																																																																																																																																												
口腔外科	-	383																																																																																																																																																																																																												
救急科	5	-																																																																																																																																																																																																												
	<p style="text-align: center;">診療科別新入院患者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">診療科</th> <th colspan="2">西市民病院</th> <th colspan="2">東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科</td> <td>851</td> <td>1,114</td> <td>1,783</td> <td>2,079</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>1,140</td> <td>1,192</td> <td>868</td> <td>748</td> </tr> <tr> <td>小児外科</td> <td>141</td> <td>157</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ベビーセンター</td> <td>428</td> <td>473</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>348</td> <td>392</td> <td>263</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>156</td> <td>179</td> <td>152</td> <td>137</td> </tr> <tr> <td>脳神経外科</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>心臓血管外科</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>75</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>829</td> <td>838</td> <td>239</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>耳鼻咽喉科</td> <td>192</td> <td>207</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>眼科</td> <td>428</td> <td>561</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>放射線科</td> <td>71</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>泌尿器科</td> <td>330</td> <td>336</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>皮膚科</td> <td>53</td> <td>31</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>形成外科</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>187</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>歯科口腔外科</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>381</td> <td>402</td> </tr> <tr> <td>救急科</td> <td>66</td> <td>93</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,041</td> <td>5,647</td> <td>3,948</td> <td>3,915</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">10月末現在</p>				診療科	西市民病院		東市民病院		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	内科	851	1,114	1,783	2,079	小児科	1,140	1,192	868	748	小児外科	141	157	-	-	ベビーセンター	428	473	-	-	外科	348	392	263	208	整形外科	156	179	152	137	脳神経外科	8	4	-	-	心臓血管外科	-	-	75	81	産婦人科	829	838	239	-	耳鼻咽喉科	192	207	-	-	眼科	428	561	-	-	放射線科	71	70	-	-	泌尿器科	330	336	-	-	皮膚科	53	31	-	-	形成外科	-	-	187	260	歯科口腔外科	-	-	381	402	救急科	66	93	-	-	合計	5,041	5,647	3,948	3,915	<p style="text-align: center;">診療科別新入院患者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">診療科</th> <th colspan="2">西市民病院</th> <th colspan="2">東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科</td> <td>1,561</td> <td>1,999</td> <td>3,307</td> <td>3,563</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>1,966</td> <td>2,135</td> <td>1,340</td> <td>1,247</td> </tr> <tr> <td>小児外科</td> <td>231</td> <td>249</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ベビーセンター</td> <td>744</td> <td>811</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>647</td> <td>665</td> <td>406</td> <td>335</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>289</td> <td>295</td> <td>249</td> <td>231</td> </tr> <tr> <td>脳神経外科</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>心臓血管外科</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>139</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>1,449</td> <td>1,442</td> <td>266</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>耳鼻咽喉科</td> <td>321</td> <td>340</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>眼科</td> <td>788</td> <td>1,054</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>放射線科</td> <td>105</td> <td>129</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>泌尿器科</td> <td>553</td> <td>550</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>皮膚科</td> <td>77</td> <td>56</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>形成外科</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>388</td> <td>444</td> </tr> <tr> <td>歯科口腔外科</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>656</td> <td>709</td> </tr> <tr> <td>救急科</td> <td>126</td> <td>140</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,870</td> <td>9,873</td> <td>6,751</td> <td>6,671</td> </tr> </tbody> </table>				診療科	西市民病院		東市民病院		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	内科	1,561	1,999	3,307	3,563	小児科	1,966	2,135	1,340	1,247	小児外科	231	249	-	-	ベビーセンター	744	811	-	-	外科	647	665	406	335	整形外科	289	295	249	231	脳神経外科	13	8	-	-	心臓血管外科	-	-	139	142	産婦人科	1,449	1,442	266	0	耳鼻咽喉科	321	340	-	-	眼科	788	1,054	-	-	放射線科	105	129	-	-	泌尿器科	553	550	-	-	皮膚科	77	56	-	-	形成外科	-	-	388	444	歯科口腔外科	-	-	656	709	救急科	126	140	-	-	合計	8,870	9,873	6,751	6,671
診療科	西市民病院		東市民病院																																																																																																																																																																																																											
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																																																																																																																																																																										
内科	851	1,114	1,783	2,079																																																																																																																																																																																																										
小児科	1,140	1,192	868	748																																																																																																																																																																																																										
小児外科	141	157	-	-																																																																																																																																																																																																										
ベビーセンター	428	473	-	-																																																																																																																																																																																																										
外科	348	392	263	208																																																																																																																																																																																																										
整形外科	156	179	152	137																																																																																																																																																																																																										
脳神経外科	8	4	-	-																																																																																																																																																																																																										
心臓血管外科	-	-	75	81																																																																																																																																																																																																										
産婦人科	829	838	239	-																																																																																																																																																																																																										
耳鼻咽喉科	192	207	-	-																																																																																																																																																																																																										
眼科	428	561	-	-																																																																																																																																																																																																										
放射線科	71	70	-	-																																																																																																																																																																																																										
泌尿器科	330	336	-	-																																																																																																																																																																																																										
皮膚科	53	31	-	-																																																																																																																																																																																																										
形成外科	-	-	187	260																																																																																																																																																																																																										
歯科口腔外科	-	-	381	402																																																																																																																																																																																																										
救急科	66	93	-	-																																																																																																																																																																																																										
合計	5,041	5,647	3,948	3,915																																																																																																																																																																																																										
診療科	西市民病院		東市民病院																																																																																																																																																																																																											
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																																																																																																																																																																										
内科	1,561	1,999	3,307	3,563																																																																																																																																																																																																										
小児科	1,966	2,135	1,340	1,247																																																																																																																																																																																																										
小児外科	231	249	-	-																																																																																																																																																																																																										
ベビーセンター	744	811	-	-																																																																																																																																																																																																										
外科	647	665	406	335																																																																																																																																																																																																										
整形外科	289	295	249	231																																																																																																																																																																																																										
脳神経外科	13	8	-	-																																																																																																																																																																																																										
心臓血管外科	-	-	139	142																																																																																																																																																																																																										
産婦人科	1,449	1,442	266	0																																																																																																																																																																																																										
耳鼻咽喉科	321	340	-	-																																																																																																																																																																																																										
眼科	788	1,054	-	-																																																																																																																																																																																																										
放射線科	105	129	-	-																																																																																																																																																																																																										
泌尿器科	553	550	-	-																																																																																																																																																																																																										
皮膚科	77	56	-	-																																																																																																																																																																																																										
形成外科	-	-	388	444																																																																																																																																																																																																										
歯科口腔外科	-	-	656	709																																																																																																																																																																																																										
救急科	126	140	-	-																																																																																																																																																																																																										
合計	8,870	9,873	6,751	6,671																																																																																																																																																																																																										

項目別の状況	<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療</p> <p>(小項目) (2) 高度専門医療の提供 (続)</p>	<p>(中期目標の内容) (2) 高度専門医療の提供 (再掲) 両病院で特に中心的役割を担う診療科については、さらに診療内容のレベルアップを図り、高度専門医療を提供できる体制を構築すること。 加えて、高度専門医療を担う医師、看護師及び医療技術者による調査、研究、治験や従事者の研修体制を整備し、新しい医療を積極的に取り入れること。また、医師、看護師及び医療技術者がそれぞれの専門性を高めつつ連携することで、新しいチーム医療を確立していくこと。</p>
--------	--	---

年度計画	暫定評価		本評価																																																																		
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																																	
	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																																	
<p>① 消化器領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2次救急医療の遂行の観点から、両病院ともに、消化器診療機能の維持、充実を図ります。</li> <li>消化器内科の一体運用の考え方により、医師の異動、診療支援を行いつつ、消化器診療のレベルアップを図ります。</li> <li>機構全体としての「消化器内視鏡センター」の一体運用を図り、消化器診療機能の充実・強化に努めます。</li> </ul>	<p>①消化器領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両病院の消化器内科、外科が連携し消化器がんの早期発見・治療に重点的に取り組んでいます。</li> <li>消化器内視鏡センターとして、内視鏡による先進的な治療を積極的に行うとともに、外科的手術、放射線治療、化学療法による集学的ながん治療を進めています。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>西市民病院</th> <th>東市民病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上下内視鏡検査件数</td> <td>3,190</td> <td>3,459</td> </tr> <tr> <td>  下部</td> <td>1,197</td> <td>1,258</td> </tr> <tr> <td>  上部</td> <td>1,993</td> <td>2,201</td> </tr> <tr> <td>消化器外科手術件数</td> <td>271</td> <td>576</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>内視鏡手術等の件数内訳</th> <th>西市民病院</th> <th>東市民病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EMR (内視鏡的粘膜切除術)</td> <td>278</td> <td>266</td> </tr> <tr> <td>ESD (内視鏡的粘膜下層剥離術)</td> <td>20</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>ERCP (内視鏡的逆行性胆管膵管造影)</td> <td>94</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>EUS (超音波内視鏡)</td> <td>91</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>EVL (内視鏡的静脈瘤結紮療法)</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>両病院の機能を集約し、救急医療に対応できる体制づくりを進めています。</li> <li>消化器内科では人事交流により両病院の消化器内科の連携強化に取り組みましたが、診療体制を充実させるためには消化器内科の機能集約を更に進める必要があります。</li> </ul>		西市民病院	東市民病院	上下内視鏡検査件数	3,190	3,459	下部	1,197	1,258	上部	1,993	2,201	消化器外科手術件数	271	576	内視鏡手術等の件数内訳	西市民病院	東市民病院	EMR (内視鏡的粘膜切除術)	278	266	ESD (内視鏡的粘膜下層剥離術)	20	19	ERCP (内視鏡的逆行性胆管膵管造影)	94	134	EUS (超音波内視鏡)	91	66	EVL (内視鏡的静脈瘤結紮療法)	8	0		<p>①消化器領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両病院の消化器内科、外科が連携し、消化器がんの早期発見・治療に重点的に<b>取り組みました。</b></li> <li>消化器内視鏡センターとして、内視鏡による先進的な治療を積極的に行うとともに、外科的手術、放射線治療、化学療法による集学的ながん治療を<b>進めました。</b></li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>西市民病院</th> <th>東市民病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上下内視鏡検査件数</td> <td><b>5,388</b></td> <td><b>5,630</b></td> </tr> <tr> <td>  下部</td> <td><b>1,997</b></td> <td><b>2,032</b></td> </tr> <tr> <td>  上部</td> <td><b>3,391</b></td> <td><b>3,598</b></td> </tr> <tr> <td>消化器外科手術件数</td> <td><b>484</b></td> <td><b>268</b></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>内視鏡手術等の件数内訳</th> <th>西市民病院</th> <th>東市民病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EMR (内視鏡的粘膜切除術)</td> <td><b>492</b></td> <td><b>507</b></td> </tr> <tr> <td>ESD (内視鏡的粘膜下層剥離術)</td> <td><b>48</b></td> <td><b>31</b></td> </tr> <tr> <td>ERCP (内視鏡的逆行性胆管膵管造影)</td> <td><b>172</b></td> <td><b>177</b></td> </tr> <tr> <td>EUS (超音波内視鏡)</td> <td><b>140</b></td> <td><b>103</b></td> </tr> <tr> <td>EVL (内視鏡的静脈瘤結紮療法)</td> <td><b>17</b></td> <td><b>9</b></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>・両病院の消化器内科及び外科では、新病院における消化器センターに向けて西市民病院への機能集約を進め、救急及び重症疾患の受け入れ体制の整備に着手しました。</b></p>		西市民病院	東市民病院	上下内視鏡検査件数	<b>5,388</b>	<b>5,630</b>	下部	<b>1,997</b>	<b>2,032</b>	上部	<b>3,391</b>	<b>3,598</b>	消化器外科手術件数	<b>484</b>	<b>268</b>	内視鏡手術等の件数内訳	西市民病院	東市民病院	EMR (内視鏡的粘膜切除術)	<b>492</b>	<b>507</b>	ESD (内視鏡的粘膜下層剥離術)	<b>48</b>	<b>31</b>	ERCP (内視鏡的逆行性胆管膵管造影)	<b>172</b>	<b>177</b>	EUS (超音波内視鏡)	<b>140</b>	<b>103</b>	EVL (内視鏡的静脈瘤結紮療法)	<b>17</b>	<b>9</b>
	西市民病院	東市民病院																																																																			
上下内視鏡検査件数	3,190	3,459																																																																			
下部	1,197	1,258																																																																			
上部	1,993	2,201																																																																			
消化器外科手術件数	271	576																																																																			
内視鏡手術等の件数内訳	西市民病院	東市民病院																																																																			
EMR (内視鏡的粘膜切除術)	278	266																																																																			
ESD (内視鏡的粘膜下層剥離術)	20	19																																																																			
ERCP (内視鏡的逆行性胆管膵管造影)	94	134																																																																			
EUS (超音波内視鏡)	91	66																																																																			
EVL (内視鏡的静脈瘤結紮療法)	8	0																																																																			
	西市民病院	東市民病院																																																																			
上下内視鏡検査件数	<b>5,388</b>	<b>5,630</b>																																																																			
下部	<b>1,997</b>	<b>2,032</b>																																																																			
上部	<b>3,391</b>	<b>3,598</b>																																																																			
消化器外科手術件数	<b>484</b>	<b>268</b>																																																																			
内視鏡手術等の件数内訳	西市民病院	東市民病院																																																																			
EMR (内視鏡的粘膜切除術)	<b>492</b>	<b>507</b>																																																																			
ESD (内視鏡的粘膜下層剥離術)	<b>48</b>	<b>31</b>																																																																			
ERCP (内視鏡的逆行性胆管膵管造影)	<b>172</b>	<b>177</b>																																																																			
EUS (超音波内視鏡)	<b>140</b>	<b>103</b>																																																																			
EVL (内視鏡的静脈瘤結紮療法)	<b>17</b>	<b>9</b>																																																																			

項目別の状況	(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療  (小項目) (2) 高度専門医療の提供 (続)	(中期目標の内容) (2) 高度専門医療の提供 (再掲) 両病院で特に中心的役割を担う診療科については、さらに診療内容のレベルアップを図り、高度専門医療を提供できる体制を構築すること。 加えて、高度専門医療を担う医師、看護師及び医療技術者による調査、研究、治験や従事者の研修体制を整備し、新しい医療を積極的に取り入れること。また、医師、看護師及び医療技術者がそれぞれの専門性を高めつつ連携することで、新しいチーム医療を確立していくこと。
--------	--	---

年度計画	暫定評価		本評価																																																																																																								
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																																																																							
	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																																																																							
② 循環器領域 <b>【加古川東市民病院】</b> ・「心臓血管センター」の更なる充実を図るとともに、従来、外科的治療が行われていた構造的な心疾患に対するカテーテル治療に積極的に取り組みます。	② 循環器領域 ・弁膜症など器質的な心疾患に対するカテーテル治療や大動脈弁狭窄症に対する経皮的な大動脈弁形成術 (TAVI) などの先進的な治療に積極的に取り組み、高齢化等により従来の外科手術が困難な重症例にも対応しています。 ・重症下肢虚血症例に対する下肢動脈形成術 (EVT) や下肢静脈瘤に対する形成外科とのチーム連携によるレーザー治療など循環器領域として血管内治療にも積極的に取り組んでいます。 ・心臓血管外科は、循環器内科との緊密なチームワークと診断技術を駆使し、冠動脈バイパス術、弁膜症手術や低侵襲な胸部大動脈瘤治療としてステントグラフト治療などを行い、疾患の性質上、24時間体制で随時緊急対応をしています。 ・治療後の患者QOLを向上させるため、早期からのリハビリテーションにも取り組んでいます。 <b>【先端治療実績】</b>		② 循環器領域 ・弁膜症など器質的な心疾患に対するカテーテル治療や <b>右小開胸による低侵襲心臓手術 (MICS)</b> などの先進的な治療に積極的に取り組み、高齢化等により従来の外科手術が困難な重症例への <b>対応を強化しました。</b> ・重症下肢虚血症例に対する下肢動脈形成術 (EVT) や、下肢静脈瘤に対する形成外科とのチーム連携によるレーザー治療など、循環器領域として血管内治療にも積極的に <b>取り組みました。</b> ・ <b>心臓血管外科は、循環器内科との緊密なチームワークのもと、冠動脈バイパス術、弁膜症手術や低侵襲な胸部大動脈瘤治療としてステントグラフト治療などの手術方法を駆使し緊急症例を含めて、24時間体制で対応しました。</b> ・治療後の患者QOLを向上させるため、早期からのリハビリテーションを <b>開始しました。</b> <b>【先端治療実績】</b>																																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>循環器内科先端治療実績</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>冠動脈造影検査</td><td>604</td></tr> <tr><td>冠動脈インターベンション (PCI)</td><td>222</td></tr> <tr><td>カテーテルアブレーション (ABL)</td><td>104</td></tr> <tr><td>デバイス治療 (PM等)</td><td>100</td></tr> <tr><td>下肢動脈インターベンション (PTA)</td><td>99</td></tr> <tr><td>下肢静脈瘤レーザー治療</td><td>79</td></tr> <tr><td>冠動脈CT</td><td>260</td></tr> <tr><td>心エコー</td><td>3,549</td></tr> <tr><td>経食道心エコー</td><td>133</td></tr> <tr><td>血管エコー</td><td>364</td></tr> <tr><td>ホルター心電図</td><td>668</td></tr> <tr><td>心臓核医学検査</td><td>725</td></tr> </tbody> </table>	循環器内科先端治療実績	件数	冠動脈造影検査	604	冠動脈インターベンション (PCI)	222	カテーテルアブレーション (ABL)	104	デバイス治療 (PM等)	100	下肢動脈インターベンション (PTA)	99	下肢静脈瘤レーザー治療	79	冠動脈CT	260	心エコー	3,549	経食道心エコー	133	血管エコー	364	ホルター心電図	668	心臓核医学検査	725	<table border="1"> <thead> <tr> <th>心臓血管外科手術等実績</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="6">開心術</td><td>冠疾患</td><td>18</td></tr> <tr><td>大血管</td><td>19</td></tr> <tr><td>弁膜症</td><td>20</td></tr> <tr><td>先天性</td><td>1</td></tr> <tr><td>TEVAR</td><td>5</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td></tr> <tr><td rowspan="4">末梢血管</td><td>AAA (EVAR)</td><td>21(13)</td></tr> <tr><td>ASO</td><td>5</td></tr> <tr><td>急性動脈閉塞</td><td>10</td></tr> <tr><td>その他</td><td>5</td></tr> <tr><td>大動脈瘤ステントグラフト治療</td><td>17</td></tr> </tbody> </table>	心臓血管外科手術等実績	件数	開心術	冠疾患	18	大血管	19	弁膜症	20	先天性	1	TEVAR	5	その他	0	末梢血管	AAA (EVAR)	21(13)	ASO	5	急性動脈閉塞	10	その他	5	大動脈瘤ステントグラフト治療	17	<table border="1"> <thead> <tr> <th>循環器内科先端治療実績</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>冠動脈造影検査</td><td><b>1,076</b></td></tr> <tr><td>冠動脈インターベンション (PCI)</td><td><b>394</b></td></tr> <tr><td>カテーテルアブレーション (ABL)</td><td><b>165</b></td></tr> <tr><td>デバイス治療 (PM等)</td><td><b>159</b></td></tr> <tr><td>下肢動脈インターベンション (PTA)</td><td><b>175</b></td></tr> <tr><td>下肢静脈瘤レーザー治療</td><td><b>140</b></td></tr> <tr><td>冠動脈CT</td><td><b>456</b></td></tr> <tr><td>心エコー</td><td><b>6,046</b></td></tr> <tr><td>経食道心エコー</td><td><b>211</b></td></tr> <tr><td>血管エコー</td><td><b>1,321</b></td></tr> <tr><td>ホルター心電図</td><td><b>1,068</b></td></tr> <tr><td>心臓核医学検査</td><td><b>1,437</b></td></tr> </tbody> </table>	循環器内科先端治療実績	件数	冠動脈造影検査	<b>1,076</b>	冠動脈インターベンション (PCI)	<b>394</b>	カテーテルアブレーション (ABL)	<b>165</b>	デバイス治療 (PM等)	<b>159</b>	下肢動脈インターベンション (PTA)	<b>175</b>	下肢静脈瘤レーザー治療	<b>140</b>	冠動脈CT	<b>456</b>	心エコー	<b>6,046</b>	経食道心エコー	<b>211</b>	血管エコー	<b>1,321</b>	ホルター心電図	<b>1,068</b>	心臓核医学検査	<b>1,437</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>心臓血管外科手術等実績</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="6">開心術</td><td>冠疾患</td><td><b>29</b></td></tr> <tr><td>大血管</td><td><b>25</b></td></tr> <tr><td>弁膜症</td><td><b>36</b></td></tr> <tr><td>先天性</td><td><b>1</b></td></tr> <tr><td>TEVAR</td><td><b>6</b></td></tr> <tr><td>その他</td><td><b>1</b></td></tr> <tr><td rowspan="4">末梢血管</td><td>AAA (EVAR)</td><td><b>30(19)</b></td></tr> <tr><td>ASO</td><td><b>13</b></td></tr> <tr><td>急性動脈閉塞</td><td><b>14</b></td></tr> <tr><td>その他</td><td><b>18</b></td></tr> <tr><td>大動脈瘤ステントグラフト治療</td><td><b>31</b></td></tr> </tbody> </table>	心臓血管外科手術等実績	件数	開心術	冠疾患	<b>29</b>	大血管	<b>25</b>	弁膜症	<b>36</b>	先天性	<b>1</b>	TEVAR	<b>6</b>	その他	<b>1</b>	末梢血管	AAA (EVAR)	<b>30(19)</b>	ASO	<b>13</b>	急性動脈閉塞	<b>14</b>	その他	<b>18</b>	大動脈瘤ステントグラフト治療	<b>31</b>
循環器内科先端治療実績	件数																																																																																																										
冠動脈造影検査	604																																																																																																										
冠動脈インターベンション (PCI)	222																																																																																																										
カテーテルアブレーション (ABL)	104																																																																																																										
デバイス治療 (PM等)	100																																																																																																										
下肢動脈インターベンション (PTA)	99																																																																																																										
下肢静脈瘤レーザー治療	79																																																																																																										
冠動脈CT	260																																																																																																										
心エコー	3,549																																																																																																										
経食道心エコー	133																																																																																																										
血管エコー	364																																																																																																										
ホルター心電図	668																																																																																																										
心臓核医学検査	725																																																																																																										
心臓血管外科手術等実績	件数																																																																																																										
開心術	冠疾患	18																																																																																																									
	大血管	19																																																																																																									
	弁膜症	20																																																																																																									
	先天性	1																																																																																																									
	TEVAR	5																																																																																																									
	その他	0																																																																																																									
末梢血管	AAA (EVAR)	21(13)																																																																																																									
	ASO	5																																																																																																									
	急性動脈閉塞	10																																																																																																									
	その他	5																																																																																																									
大動脈瘤ステントグラフト治療	17																																																																																																										
循環器内科先端治療実績	件数																																																																																																										
冠動脈造影検査	<b>1,076</b>																																																																																																										
冠動脈インターベンション (PCI)	<b>394</b>																																																																																																										
カテーテルアブレーション (ABL)	<b>165</b>																																																																																																										
デバイス治療 (PM等)	<b>159</b>																																																																																																										
下肢動脈インターベンション (PTA)	<b>175</b>																																																																																																										
下肢静脈瘤レーザー治療	<b>140</b>																																																																																																										
冠動脈CT	<b>456</b>																																																																																																										
心エコー	<b>6,046</b>																																																																																																										
経食道心エコー	<b>211</b>																																																																																																										
血管エコー	<b>1,321</b>																																																																																																										
ホルター心電図	<b>1,068</b>																																																																																																										
心臓核医学検査	<b>1,437</b>																																																																																																										
心臓血管外科手術等実績	件数																																																																																																										
開心術	冠疾患	<b>29</b>																																																																																																									
	大血管	<b>25</b>																																																																																																									
	弁膜症	<b>36</b>																																																																																																									
	先天性	<b>1</b>																																																																																																									
	TEVAR	<b>6</b>																																																																																																									
	その他	<b>1</b>																																																																																																									
末梢血管	AAA (EVAR)	<b>30(19)</b>																																																																																																									
	ASO	<b>13</b>																																																																																																									
	急性動脈閉塞	<b>14</b>																																																																																																									
	その他	<b>18</b>																																																																																																									
大動脈瘤ステントグラフト治療	<b>31</b>																																																																																																										



項目別の状況	<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療</p> <p>(小項目) (2) 高度専門医療の提供 (続)</p>	<p>(中期目標の内容) (2) 高度専門医療の提供 (再掲) 両病院で特に中心的役割を担う診療科については、さらに診療内容のレベルアップを図り、高度専門医療を提供できる体制を構築すること。 加えて、高度専門医療を担う医師、看護師及び医療技術者による調査、研究、治験や従事者の研修体制を整備し、新しい医療を積極的に取り入れること。また、医師、看護師及び医療技術者がそれぞれの専門性を高めつつ連携することで、新しいチーム医療を確立していくこと。</p>
--------	--	---

年度計画	暫定評価		本評価																																																																																	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																																																
	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																																																
<p>③ 小児科領域 【加古川西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東播磨地域及びその周辺地域をカバーする小児医療の基幹施設としての役割を担うとともに、引き続き各種学会の施設認定を維持し、高度な知識と技術を併せ持った小児医療のスペシャリストの養成を図ります。</li> <li>先天性小児疾患に対する形成外科的治療の導入や小児循環器内科や小児脳神経外科など小児専門領域の医師確保に努め、「こどもセンター」の診療機能の強みを充実・強化させます。</li> </ul> <p>【加古川東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の小児診療の中核的施設として機能しながらも、気管支喘息、循環器、食物アレルギー、神経疾患、夜尿症など特色を持った診療に努めます。</li> </ul>	<p>③ 小児科領域 【西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の小児救急医療を担うとともに、専門外来を充実させ、さまざまな疾患の検査、入院加療に対応できる小児専門医療を推進しています。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>専門外来</th> <th>患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>小児神経</td><td>1,377</td></tr> <tr><td>腎臓疾患</td><td>605</td></tr> <tr><td>アレルギー疾患</td><td>1,032</td></tr> <tr><td>代謝・内分泌疾患</td><td>1,050</td></tr> <tr><td>循環器疾患</td><td>451</td></tr> <tr><td>発達・心理療法</td><td>839</td></tr> <tr><td>乳児フォローアップ</td><td>1,800</td></tr> <tr><td>在宅医療</td><td>489</td></tr> <tr><td>シナジス</td><td>170</td></tr> </tbody> </table> <p>・小児科は小児科学会の専門医研修施設として認定を受けており、神戸大学医学部との人材交流を通して、地域に貢献できる若手の専攻医や専門医を積極的に養成しています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">学会認定施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>日本小児科学会専門医制度研修支援施設</td></tr> <tr><td>日本小児科学会専門医制度研修施設</td></tr> <tr><td>日本小児神経学会専門医制度研修施設</td></tr> <tr><td>日本小児外科学会専門医制度認定施設</td></tr> </tbody> </table> <p>・先天性の唇裂、口蓋裂治療について東市民病院の形成外科が歯科口腔外科、耳鼻いんこう科、小児科、言語聴覚士、臨床心理士など両病院の関連多職種と連携し、高度なチーム医療によって小児医療の充実を図っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小児慢性疾患を有する移行期患者に対する診療や相談機能のあり方を、院内各診療部門と連携して多職種による検討をスタートさせました。</li> <li>小児科領域の循環器内科医や脳神経外科医の確保について、大学や関係機関と調整を行っています。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>西市民病院</th> <th>東市民病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>入院患者数</td><td>7,941</td><td>3,176</td></tr> <tr><td>外来患者数</td><td>20,207</td><td>9,378</td></tr> <tr><td>救急搬送件数</td><td>824</td><td>251</td></tr> <tr><td>小児外科手術件数</td><td>176</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	専門外来	患者数	小児神経	1,377	腎臓疾患	605	アレルギー疾患	1,032	代謝・内分泌疾患	1,050	循環器疾患	451	発達・心理療法	839	乳児フォローアップ	1,800	在宅医療	489	シナジス	170	学会認定施設		日本小児科学会専門医制度研修支援施設	日本小児科学会専門医制度研修施設	日本小児神経学会専門医制度研修施設	日本小児外科学会専門医制度認定施設		西市民病院	東市民病院	入院患者数	7,941	3,176	外来患者数	20,207	9,378	救急搬送件数	824	251	小児外科手術件数	176	-	<p>③ 小児科領域 【西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の小児救急医療を担うとともに、専門外来を充実させ、さまざまな疾患の検査、入院加療に対応できる小児専門医療を<b>提供しました。</b></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>専門外来</th> <th>患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>小児神経</td><td>2,438</td></tr> <tr><td>腎臓疾患</td><td>1,034</td></tr> <tr><td>アレルギー疾患</td><td>1,731</td></tr> <tr><td>代謝・内分泌疾患</td><td>1,751</td></tr> <tr><td>循環器疾患</td><td>1,395</td></tr> <tr><td>発達・心理療法</td><td>1,466</td></tr> <tr><td>乳児フォローアップ</td><td>3,144</td></tr> <tr><td>在宅医療</td><td>855</td></tr> <tr><td>シナジス</td><td>777</td></tr> </tbody> </table> <p>・小児科は小児科学会の専門医研修施設として認定を受けており、神戸大学医学部との人材交流を通して、地域に貢献できる若手の専攻医や専門医の<b>育成を積極的に行いました。</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">学会認定施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>日本小児科学会専門医制度研修支援施設</td></tr> <tr><td>日本小児科学会専門医制度研修施設</td></tr> <tr><td>日本小児神経学会専門医制度研修施設</td></tr> <tr><td>日本小児外科学会専門医制度認定施設</td></tr> </tbody> </table> <p>・先天性の唇裂、口蓋裂治療については、東市民病院の形成外科が歯科口腔外科、耳鼻いんこう科、小児科、言語聴覚士、臨床心理士など両病院の関連多職種と連携し、高度なチーム医療体制を<b>推進しました。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小児慢性疾患を有する移行期患者に対する診療や相談機能のあり方を、院内各診療部門と連携して多職種による検討をスタートさせました。</li> <li>小児科領域の循環器内科医や脳神経外科医の確保について、大学や関係機関と調整を<b>行いました。</b></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>西市民病院</th> <th>東市民病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>入院患者数</td><td>13,614</td><td>5,399</td></tr> <tr><td>外来患者数</td><td>34,581</td><td>15,906</td></tr> <tr><td>救急搬送件数</td><td>1,457</td><td>424</td></tr> <tr><td>小児外科手術件数</td><td>279</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	専門外来	患者数	小児神経	2,438	腎臓疾患	1,034	アレルギー疾患	1,731	代謝・内分泌疾患	1,751	循環器疾患	1,395	発達・心理療法	1,466	乳児フォローアップ	3,144	在宅医療	855	シナジス	777	学会認定施設		日本小児科学会専門医制度研修支援施設	日本小児科学会専門医制度研修施設	日本小児神経学会専門医制度研修施設	日本小児外科学会専門医制度認定施設		西市民病院	東市民病院	入院患者数	13,614	5,399	外来患者数	34,581	15,906	救急搬送件数	1,457	424	小児外科手術件数	279	-
専門外来	患者数																																																																																			
小児神経	1,377																																																																																			
腎臓疾患	605																																																																																			
アレルギー疾患	1,032																																																																																			
代謝・内分泌疾患	1,050																																																																																			
循環器疾患	451																																																																																			
発達・心理療法	839																																																																																			
乳児フォローアップ	1,800																																																																																			
在宅医療	489																																																																																			
シナジス	170																																																																																			
学会認定施設																																																																																				
日本小児科学会専門医制度研修支援施設																																																																																				
日本小児科学会専門医制度研修施設																																																																																				
日本小児神経学会専門医制度研修施設																																																																																				
日本小児外科学会専門医制度認定施設																																																																																				
	西市民病院	東市民病院																																																																																		
入院患者数	7,941	3,176																																																																																		
外来患者数	20,207	9,378																																																																																		
救急搬送件数	824	251																																																																																		
小児外科手術件数	176	-																																																																																		
専門外来	患者数																																																																																			
小児神経	2,438																																																																																			
腎臓疾患	1,034																																																																																			
アレルギー疾患	1,731																																																																																			
代謝・内分泌疾患	1,751																																																																																			
循環器疾患	1,395																																																																																			
発達・心理療法	1,466																																																																																			
乳児フォローアップ	3,144																																																																																			
在宅医療	855																																																																																			
シナジス	777																																																																																			
学会認定施設																																																																																				
日本小児科学会専門医制度研修支援施設																																																																																				
日本小児科学会専門医制度研修施設																																																																																				
日本小児神経学会専門医制度研修施設																																																																																				
日本小児外科学会専門医制度認定施設																																																																																				
	西市民病院	東市民病院																																																																																		
入院患者数	13,614	5,399																																																																																		
外来患者数	34,581	15,906																																																																																		
救急搬送件数	1,457	424																																																																																		
小児外科手術件数	279	-																																																																																		

項目別の状況	<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療</p> <p>(小項目) (2) 高度専門医療の提供 (続)</p>	<p>(中期目標の内容) (2) 高度専門医療の提供 (再掲) 両病院で特に中心的役割を担う診療科については、さらに診療内容のレベルアップを図り、高度専門医療を提供できる体制を構築すること。 加えて、高度専門医療を担う医師、看護師及び医療技術者による調査、研究、治験や従事者の研修体制を整備し、新しい医療を積極的に取り入れること。また、医師、看護師及び医療技術者がそれぞれの専門性を高めつつ連携することで、新しいチーム医療を確立していくこと。</p>
--------	--	---

年度計画	暫定評価		本評価																																														
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																													
	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																													
<p>④ 周産母子領域 【加古川西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合周産期母子医療センターの指定に向けた、新しい高度医療を積極的に取り入れ、新たなチーム医療の確立による高度専門医療の提供を図ります。</li> <li>「周産母子センター」の診療機能の充実・強化に努めます。</li> </ul>	<p>④ 周産母子領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域周産期母子医療センターとして、常時の母体及び新生児搬送を受入れ、合併症妊娠、重症妊娠中毒症、切迫早産等のハイリスク妊娠に対する管理、分娩や高度な新生児集中治療の実績を着実にあげています。</li> <li>東市民病院の産科部門の統合により分娩機能を集約・向上させ、GCU (新生児回復治療室) 施設基準を取得するとともに、助産師の異動により外来と病棟の連携を強化し、継続的な看護体制を整備しています。</li> <li>新生児搬送救急車両の運用強化を図るため、新たにドクターカーを配備しました。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>延患者数</th> <th>稼働率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NICU(新生児集中治療室)</td> <td>3,051</td> <td>95.1</td> </tr> <tr> <td>GCU(新生児治療回復室)</td> <td>4,265</td> <td>73.8</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr><td>母体搬送件数</td><td>35</td></tr> <tr><td>新生児搬送件数</td><td>114</td></tr> <tr><td>分娩件数</td><td>511</td></tr> <tr><td>ハイリスク分娩件数</td><td>74</td></tr> <tr><td>帝王切開件数</td><td>74</td></tr> <tr><td>ペビセンター入院患者数</td><td>7,639</td></tr> <tr><td>助産外来</td><td>230</td></tr> </tbody> </table>		延患者数	稼働率(%)	NICU(新生児集中治療室)	3,051	95.1	GCU(新生児治療回復室)	4,265	73.8	母体搬送件数	35	新生児搬送件数	114	分娩件数	511	ハイリスク分娩件数	74	帝王切開件数	74	ペビセンター入院患者数	7,639	助産外来	230		<p>④ 周産母子領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域周産期母子医療センターとして、<b>母体搬送及び新生児搬送を常時受入れる体制を堅持し、合併症妊娠、重症妊娠中毒症、切迫早産等のハイリスク妊娠に対する管理・分娩や高度な新生児集中治療を行いました。</b></li> <li>東市民病院の産科部門の統合により分娩機能を集約・向上させ、GCU (新生児回復治療室) 施設基準を取得するとともに、助産師の異動により外来と病棟の連携を強化し、<b>治療と連動した</b>継続的な看護体制を<b>整備しました。</b></li> <li>新生児搬送救急車両の運用強化を図るため、新たにドクターカーを配備しました。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>延患者数</th> <th>稼働率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NICU(新生児集中治療室)</td> <td><b>5,159</b></td> <td><b>94.2</b></td> </tr> <tr> <td>GCU(新生児治療回復室)</td> <td><b>7,123</b></td> <td><b>72.3</b></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr><td>母体搬送件数</td><td><b>82</b></td></tr> <tr><td>新生児搬送件数</td><td><b>167</b></td></tr> <tr><td>分娩件数</td><td><b>877</b></td></tr> <tr><td>ハイリスク分娩件数</td><td><b>145</b></td></tr> <tr><td>帝王切開件数</td><td><b>374</b></td></tr> <tr><td>ペビセンター入院患者数</td><td><b>12,282</b></td></tr> <tr><td>助産外来</td><td><b>336</b></td></tr> </tbody> </table>		延患者数	稼働率(%)	NICU(新生児集中治療室)	<b>5,159</b>	<b>94.2</b>	GCU(新生児治療回復室)	<b>7,123</b>	<b>72.3</b>	母体搬送件数	<b>82</b>	新生児搬送件数	<b>167</b>	分娩件数	<b>877</b>	ハイリスク分娩件数	<b>145</b>	帝王切開件数	<b>374</b>	ペビセンター入院患者数	<b>12,282</b>	助産外来	<b>336</b>
	延患者数	稼働率(%)																																															
NICU(新生児集中治療室)	3,051	95.1																																															
GCU(新生児治療回復室)	4,265	73.8																																															
母体搬送件数	35																																																
新生児搬送件数	114																																																
分娩件数	511																																																
ハイリスク分娩件数	74																																																
帝王切開件数	74																																																
ペビセンター入院患者数	7,639																																																
助産外来	230																																																
	延患者数	稼働率(%)																																															
NICU(新生児集中治療室)	<b>5,159</b>	<b>94.2</b>																																															
GCU(新生児治療回復室)	<b>7,123</b>	<b>72.3</b>																																															
母体搬送件数	<b>82</b>																																																
新生児搬送件数	<b>167</b>																																																
分娩件数	<b>877</b>																																																
ハイリスク分娩件数	<b>145</b>																																																
帝王切開件数	<b>374</b>																																																
ペビセンター入院患者数	<b>12,282</b>																																																
助産外来	<b>336</b>																																																

項目別の状況	<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療</p> <p>(小項目) (2) 高度専門医療の提供 (続)</p>	<p>(中期目標の内容) (2) 高度専門医療の提供 (再掲) 両病院で特に中心的役割を担う診療科については、さらに診療内容のレベルアップを図り、高度専門医療を提供できる体制を構築すること。 加えて、高度専門医療を担う医師、看護師及び医療技術者による調査、研究、治験や従事者の研修体制を整備し、新しい医療を積極的に取り入れること。また、医師、看護師及び医療技術者がそれぞれの専門性を高めつつ連携することで、新しいチーム医療を確立していくこと。</p>
--------	--	---

年度計画	暫定評価		本評価																																																																													
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																																												
	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																																												
<p>⑤ がん集学的治療領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両病院の協力の下、診断から治療、緩和ケアまで一貫した医療が提供できるよう、機能の充実を図ります。</li> <li>内科、外科、放射線科の各診療科はもとより、外来化学療法室や緩和ケアチーム、麻酔科、整形外科、耳鼻いんこう科、皮膚科、脳神経外科、婦人科、泌尿器科との緊密な連携をとり、高度専門医療としての集学的治療を提供します。</li> <li>「がん集学的治療センター」の診療機能の充実・強化に努めます。</li> </ul>	<p>⑤ がん集学的治療領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学療法では腫瘍・血液内科の設置により、白血病や悪性リンパ腫、骨髄腫等への抗がん薬治療体制が整備され多職種によるカンファレンスを通して、集学的治療体制を充実させています。</li> <li>西市民病院では、8月から外来で認定看護師と専門医によるがん看護相談をスタートさせ、がん相談の充実を図っています。</li> <li>新たに、がん放射線療法看護認定看護師を配置し、放射線治療の円滑な管理と患者ケアを向上させています。</li> <li>西市民病院は兵庫県指定のがん診療連携拠点病院の認定要件変更に対応するため、患者支援体制や広報業務の整備を行っています。</li> </ul> <table border="1"> <tr><td>相談件数</td><td>41</td></tr> <tr><td>がん登録件数</td><td>992</td></tr> <tr><td>セカンドオピニオン医師紹介件数</td><td>14</td></tr> <tr><td>がん研修実施状況</td><td>3</td></tr> <tr><td>放射線治療件数</td><td>2,048</td></tr> <tr><td>手術件数</td><td>190</td></tr> <tr><td>  食道</td><td>5</td></tr> <tr><td>  胃</td><td>49</td></tr> <tr><td>  肝</td><td>12</td></tr> <tr><td>  肺</td><td>1</td></tr> <tr><td>  腹膜</td><td>6</td></tr> <tr><td>  甲状腺</td><td>1</td></tr> <tr><td>  婦人科</td><td>7</td></tr> <tr><td>  皮膚</td><td>8</td></tr> <tr><td>  腸</td><td>44</td></tr> <tr><td>  泌尿器</td><td>57</td></tr> <tr><td>外来化学療法件数</td><td>588</td></tr> <tr><td>緩和ケア外来件数</td><td>20</td></tr> <tr><td>がんサポート実施状況</td><td>163</td></tr> </table>	相談件数	41	がん登録件数	992	セカンドオピニオン医師紹介件数	14	がん研修実施状況	3	放射線治療件数	2,048	手術件数	190	食道	5	胃	49	肝	12	肺	1	腹膜	6	甲状腺	1	婦人科	7	皮膚	8	腸	44	泌尿器	57	外来化学療法件数	588	緩和ケア外来件数	20	がんサポート実施状況	163		<p>⑤ がん集学的治療領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学療法では、腫瘍・血液内科の設置により、白血病や悪性リンパ腫、骨髄腫等への抗がん薬治療体制が整備され、多職種によるカンファレンスを通して集学的治療体制を<b>充実させました。</b></li> <li>西市民病院では、8月から外来で認定看護師と専門医によるがん看護相談をスタートさせ、がん相談などの<b>患者支援体制の充実を図りました。</b></li> <li>新たに、がん放射線療法看護認定看護師を配置し、放射線治療の円滑な管理と患者ケアを<b>向上させました。</b></li> <li>西市民病院は、兵庫県指定のがん診療連携拠点病院の認定要件変更に対応するため、患者支援体制や広報業務を<b>整備しました。</b></li> </ul> <table border="1"> <tr><td>相談件数</td><td>221</td></tr> <tr><td>がん登録件数</td><td>1,694</td></tr> <tr><td>セカンドオピニオン医師紹介件数</td><td>25</td></tr> <tr><td>がん研修実施状況</td><td>3</td></tr> <tr><td>放射線治療件数</td><td>4,164</td></tr> <tr><td>手術件数</td><td>330</td></tr> <tr><td>  食道</td><td>11</td></tr> <tr><td>  胃</td><td>100</td></tr> <tr><td>  肝</td><td>19</td></tr> <tr><td>  肺</td><td>2</td></tr> <tr><td>  腹膜</td><td>8</td></tr> <tr><td>  甲状腺</td><td>2</td></tr> <tr><td>  婦人科</td><td>11</td></tr> <tr><td>  皮膚</td><td>9</td></tr> <tr><td>  腸</td><td>71</td></tr> <tr><td>  泌尿器</td><td>97</td></tr> <tr><td>外来化学療法件数</td><td>1,183</td></tr> <tr><td>緩和ケア外来件数</td><td>47</td></tr> <tr><td>がんサポート実施状況</td><td>455</td></tr> </table>	相談件数	221	がん登録件数	1,694	セカンドオピニオン医師紹介件数	25	がん研修実施状況	3	放射線治療件数	4,164	手術件数	330	食道	11	胃	100	肝	19	肺	2	腹膜	8	甲状腺	2	婦人科	11	皮膚	9	腸	71	泌尿器	97	外来化学療法件数	1,183	緩和ケア外来件数	47	がんサポート実施状況	455	
相談件数	41																																																																															
がん登録件数	992																																																																															
セカンドオピニオン医師紹介件数	14																																																																															
がん研修実施状況	3																																																																															
放射線治療件数	2,048																																																																															
手術件数	190																																																																															
食道	5																																																																															
胃	49																																																																															
肝	12																																																																															
肺	1																																																																															
腹膜	6																																																																															
甲状腺	1																																																																															
婦人科	7																																																																															
皮膚	8																																																																															
腸	44																																																																															
泌尿器	57																																																																															
外来化学療法件数	588																																																																															
緩和ケア外来件数	20																																																																															
がんサポート実施状況	163																																																																															
相談件数	221																																																																															
がん登録件数	1,694																																																																															
セカンドオピニオン医師紹介件数	25																																																																															
がん研修実施状況	3																																																																															
放射線治療件数	4,164																																																																															
手術件数	330																																																																															
食道	11																																																																															
胃	100																																																																															
肝	19																																																																															
肺	2																																																																															
腹膜	8																																																																															
甲状腺	2																																																																															
婦人科	11																																																																															
皮膚	9																																																																															
腸	71																																																																															
泌尿器	97																																																																															
外来化学療法件数	1,183																																																																															
緩和ケア外来件数	47																																																																															
がんサポート実施状況	455																																																																															



項目別の状況	<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療</p> <p>(小項目) (3) 救急医療への対応</p>	<p>(中期目標の内容) (3) 救急医療への対応 医師会や消防本部と定期的に意見交換や情報提供を行うとともに、地域の医療機関と連携しながら、積極的に2次救急患者を受け入れる体制を整備すること。</p>
--------	---	---

年度計画	暫定評価		本評価																																																				
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																			
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																			
	ウェイト: ① 評価: 3	ウェイト: ① 評価: 4	ウェイト: ① 評価: 4	ウェイト: 評価:																																																			
<p>(3) 救急医療への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師会との連携を強化します。</li> <li>・ 地域の医療機関や消防本部との定期的な意見交換と相互連携を深めます。</li> <li>・ 消防本部に対しては、両病院の連携の下、受け入れ可能情報の提供を積極的に行うなど、2次救急患者が安全に受け入れられる医療体制を整備します。</li> <li>・ 救急救命士に対する救命トレーニング、医師によるサポート体制の充実や症例検討会等の研修会を通じて、救急救命チームとしての信頼関係の醸成を図り、地域における救急医療の質の向上と救命救急体制の強化に貢献します。</li> </ul> <p>【加古川西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師の増員確保に努め、救急科の診療体制を充実させます。</li> <li>・ 救急救命士に対するトレーニングを強化します。</li> </ul> <p>【加古川東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に2次救急患者の受け入れを行います。</li> <li>・ CPA患者(心肺停止患者)の受け入れを強化します。</li> <li>・ 救急救命士に対するトレーニングを引き続き実施します。</li> </ul>	<p>(3) 救急医療への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次救急医療機関として救急隊及び他の医療機関からの受入れを徹底するとともに、循環器疾患、小児・周産期医療では3次救急としての役割も果たしています。</li> <li>・ 両病院は圏域のメディカルコントロールに参画し、救急救命体制について消防行政と緊密に交流を行っています。</li> <li>・ ICUの体制整備により、重症患者の受入を強化しています。</li> </ul> <p>【西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急科の医師を1名増員し、2名体制により受入れ件数を向上させています。</li> <li>・ 加古川市消防本部と連携し、救急救命士への初療研修や気管挿管などの蘇生実習を行っています。</li> </ul> <p>(救急救命士の実習受入実績)</p> <table border="1"> <tr><td>就業前研修</td><td>2人</td></tr> <tr><td>気管挿管実習</td><td>12人</td></tr> </table> <p>(救急処置講習)</p> <table border="1"> <tr><td>BLS(1次救命処置)</td><td>5回</td><td>93人</td></tr> <tr><td>ICLS講習</td><td>2回</td><td>20人</td></tr> </table> <p>【東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管内救急隊とのホットラインによりCPA患者の救命処置を医師がサポートしています。</li> </ul> <p>(救急救命士の実習受入計画)</p> <table border="1"> <tr><td>就業前研修</td><td>2人</td></tr> <tr><td>気管挿管実習</td><td>50人</td></tr> </table> <p>(救急処置講習)</p> <table border="1"> <tr><td>BLS(1次救命処置)</td><td>1回</td><td>17人</td></tr> </table>	就業前研修	2人	気管挿管実習	12人	BLS(1次救命処置)	5回	93人	ICLS講習	2回	20人	就業前研修	2人	気管挿管実習	50人	BLS(1次救命処置)	1回	17人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICUの体制整備による重症患者の受入強化や、西市民病院の救急科医師の1名増員による受入件数向上などは、2次救急患者が安全に受け入れられる医療体制の整備につながると評価できる。</li> </ul>	<p>(3) 救急医療への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次救急医療機関として、救急隊及び他の医療機関からの受入れを徹底するとともに、循環器疾患、小児・周産期医療では3次救急として<b>より高度な救急医療を提供しました。</b></li> <li>・ 両病院は圏域のメディカルコントロールに参画し、<b>消防行政と緊密な協調体制のもと、救急救命施策の推進に寄与しました。</b></li> <li>・ ICUの体制整備により、重症患者の受入を<b>強化しました。</b></li> </ul> <p>【西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>救急部門</b>の医師を1名増員<b>したことにより、受入れ件数を増加させました。</b></li> <li>・ 加古川市消防本部と連携し、救急救命士への初療研修や気管挿管などの蘇生実習を<b>行いました。</b></li> </ul> <p>(救急救命士の実習受入実績)</p> <table border="1"> <tr><td>就業前研修</td><td>2人</td></tr> <tr><td>気管挿管実習</td><td>19人</td></tr> </table> <p>(救急処置講習)</p> <table border="1"> <tr><td>BLS(1次救命処置)</td><td>9回</td><td>180人</td></tr> <tr><td>ICLS講習</td><td>3回</td><td>32人</td></tr> </table> <p>【東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管内救急隊とのホットラインにより、CPA患者の救命処置を医師が<b>サポートしました。</b></li> </ul> <p>(救急救命士の<b>実習受入実績</b>)</p> <table border="1"> <tr><td>就業前研修</td><td>2人</td></tr> <tr><td>気管挿管実習</td><td>51人</td></tr> </table> <p>(救急処置講習)</p> <table border="1"> <tr><td>BLS(1次救命処置)</td><td>2回</td><td>28人</td></tr> </table>	就業前研修	2人	気管挿管実習	19人	BLS(1次救命処置)	9回	180人	ICLS講習	3回	32人	就業前研修	2人	気管挿管実習	51人	BLS(1次救命処置)	2回	28人																		
就業前研修	2人																																																						
気管挿管実習	12人																																																						
BLS(1次救命処置)	5回	93人																																																					
ICLS講習	2回	20人																																																					
就業前研修	2人																																																						
気管挿管実習	50人																																																						
BLS(1次救命処置)	1回	17人																																																					
就業前研修	2人																																																						
気管挿管実習	19人																																																						
BLS(1次救命処置)	9回	180人																																																					
ICLS講習	3回	32人																																																					
就業前研修	2人																																																						
気管挿管実習	51人																																																						
BLS(1次救命処置)	2回	28人																																																					
	<table border="1"> <tr><th colspan="2">加古川西市民病院</th><th colspan="2">加古川東市民病院</th></tr> <tr><th>平成24年度</th><th>平成26年度</th><th>平成24年度</th><th>平成26年度</th></tr> <tr><td>実績値</td><td>目標値</td><td>実績値</td><td>目標値</td></tr> <tr><td>救急患者受入数(人)</td><td>2,402</td><td>2,701</td><td>2,345</td><td>2,400</td></tr> </table>	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成24年度	平成26年度	平成24年度	平成26年度	実績値	目標値	実績値	目標値	救急患者受入数(人)	2,402	2,701	2,345	2,400	<table border="1"> <tr><th colspan="2">加古川西市民病院</th><th colspan="2">加古川東市民病院</th></tr> <tr><th colspan="4">実績値</th></tr> <tr><th>平成25年度</th><th>平成26年度</th><th>平成25年度</th><th>平成26年度</th></tr> <tr><td>救急患者受入数(人)</td><td>2,710</td><td>1,787</td><td>2,415</td><td>1,405</td></tr> </table>	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値				平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	救急患者受入数(人)	2,710	1,787	2,415	1,405	<table border="1"> <tr><th colspan="2">加古川西市民病院</th><th colspan="2">加古川東市民病院</th></tr> <tr><th colspan="4">実績値</th></tr> <tr><th>平成25年度</th><th>平成26年度</th><th>平成25年度</th><th>平成26年度</th></tr> <tr><td>救急患者受入数(人)</td><td>2,710</td><td>3,106</td><td>2,415</td><td>2,520</td></tr> </table>	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値				平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	救急患者受入数(人)	2,710	3,106	2,415	2,520	
加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																					
平成24年度	平成26年度	平成24年度	平成26年度																																																				
実績値	目標値	実績値	目標値																																																				
救急患者受入数(人)	2,402	2,701	2,345	2,400																																																			
加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																					
実績値																																																							
平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																				
救急患者受入数(人)	2,710	1,787	2,415	1,405																																																			
加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																					
実績値																																																							
平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																				
救急患者受入数(人)	2,710	3,106	2,415	2,520																																																			

項目別の状況	<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療</p> <p>(小項目) (4) 予防医療の提供</p>	<p>(中期目標の内容) (4) 予防医療の提供 医療検査機器を活用し、人間ドックや健診をはじめとした予防医療の提供に努めること。</p>
--------	--	---

年度計画	暫定評価		本評価																																																							
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																						
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																						
	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価:																																																						
<p>(4) 予防医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両病院連携の下、高度医療検査機器の積極的な活用や、受診しやすいメニューの整備により、人間ドックや健診をはじめとした予防医療を提供します。</li> <li>職域の健康診断受診後の2次検診受入れを積極的に行います。</li> <li>【加古川西市民病院】</li> <li>平成25年度に再開した人間ドックの運用を本格化させるとともに、地域や事業所等への広報活動を行い受診者数を向上させます。</li> <li>脳ドック、PET検診や大腸CTC検診等の特殊健診をPRし、受け入れを強化します。</li> <li>婦人科検診の実施に向けて体制を整備します。</li> </ul> <p>【加古川東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間ドック受診者数の一層の向上を図ります。</li> <li>心臓大血管ドック等の特殊健診の受け入れを強化します。</li> </ul>	<p>(4) 予防医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両病院で2次検診の専用外来を設置し、精密検査を受診しやすい体制を整備しています。</li> <li>【西市民病院】</li> <li>人間ドックについては、婦人科系の検診を追加し、受診内容を改善しました。</li> <li>基本健診 159件</li> <li>脳ドック 36件</li> <li>PET-CT検診 12件</li> <li>【東市民病院】</li> <li>基本健診 820件</li> <li>脳ドック 59件</li> <li>肺癌ドック 1件</li> <li>心臓大血管ドック 5件</li> </ul>	<p>(4) 予防医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両病院で2次検診の専用外来を設置し、精密検査を受診しやすい体制を<b>整備しました。</b></li> <li>【西市民病院】</li> <li>人間ドックに婦人科系の検診を追加し、受診内容を充実させ、目標件数を達成しました。</li> <li>基本健診 <b>246件</b></li> <li>脳ドック <b>59件</b></li> <li>PET-CT検診 <b>25件</b></li> <li>【東市民病院】</li> <li>基本健診 <b>1,353件</b></li> <li>脳ドック <b>88件</b></li> <li>肺癌ドック <b>4件</b></li> <li>心臓大血管ドック <b>8件</b></li> </ul>																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック受診者数(人)</td> <td>0</td> <td>300</td> <td>1,391</td> <td>1,400</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成24年度	平成26年度	平成24年度	平成26年度	実績値	目標値	実績値	目標値	人間ドック受診者数(人)	0	300	1,391	1,400	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック受診者数(人)</td> <td>145</td> <td>195</td> <td>1,431</td> <td>885</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	人間ドック受診者数(人)	145	195	1,431	885	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック受診者数(人)</td> <td>145</td> <td><b>305</b></td> <td>1,431</td> <td><b>1,453</b></td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	人間ドック受診者数(人)	145	<b>305</b>	1,431	<b>1,453</b>	
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																							
	平成24年度		平成26年度	平成24年度	平成26年度																																																					
	実績値	目標値	実績値	目標値																																																						
人間ドック受診者数(人)	0	300	1,391	1,400																																																						
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																							
	実績値		実績値																																																							
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																						
人間ドック受診者数(人)	145	195	1,431	885																																																						
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																							
	実績値		実績値																																																							
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																						
人間ドック受診者数(人)	145	<b>305</b>	1,431	<b>1,453</b>																																																						

項目別の状況	<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 地域医療の中核病院として提供すべき総合医療</p> <p>(小項目) (5) 災害医療への協力</p>	<p>(中期目標の内容) (5) 災害医療への協力 災害発生時や重大な感染症の流行時などには、加古川市からの要請に基づき必要な医療を提供するとともに、災害対策などに協力すること。</p>
--------	---	---

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
<p>(5) 災害医療への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生時や重大な感染症の発生時及び流行時には、国、県及び加古川市等の要請並びに災害拠点病院との連携の下、適切な医療が提供できるよう、患者の受け入れや医師をはじめとする医療従事者の派遣などを行います。</li> <li>公的医療機関としての役割を果たすため、周産期医療や小児医療など、災害拠点病院における対応が困難な分野について、積極的に医療を提供します。</li> <li>救急隊員、救急救命士の教育及び平常時の訓練や、両病院合同による災害訓練活動について、実施に向けた調整活動を行います。</li> </ul>	<p>ウェイト： 評価：3</p> <p>(5) 災害医療への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模災害発生時における医療協力や受入れに備えて、両病院スタッフによるDMATを設置し、自治体等の災害医療訓練等に積極的に参加しました。</li> <li>兵庫県合同防災訓練 6人</li> <li>加古川市総合防災訓練 6人</li> <li>兵庫医科大学災害訓練 5人</li> <li>両病院で兵庫県広域災害救急医療情報システムによる災害時情報収集訓練を実施し、発災時における初動体制の強化に努めています。</li> </ul>	<p>ウェイト： 評価：3</p> <p>・災害はいつ起こるかわからないものであるため、以前から課題認識している業務継続計画(BCP)の早期策定を望む。</p>	<p>ウェイト： 評価：3</p> <p>(5) 災害医療への協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模災害発生時における医療協力や受入れに備えて、<b>両病院スタッフによる災害派遣医療チームを設置し</b>、自治体等の災害医療訓練等にも積極的に参加しました。</li> <li>兵庫県合同防災訓練 6人</li> <li>加古川市総合防災訓練 6人</li> <li>兵庫医科大学災害訓練 5人</li> <li>両病院で兵庫県広域災害救急医療情報システムによる災害時情報収集訓練を実施し、発災時における初動体制の強化に<b>努めました</b>。</li> </ul>	<p>ウェイト： 評価：</p>
				

項目別の状況	(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	(中期目標の内容) 3 地域医療機関との連携 地域の医療機関との役割分担を明確にするとともに、患者を中心とした保健、医療及び福祉機関との医療連携に努め、地域完結型医療を目指すこと。
	(中項目) 3 地域医療機関との連携	
	(小項目)	

年度計画	暫定評価		本評価																																																																																					
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																																																				
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																																																				
	ウェイト:① 評価:3	ウェイト:① 評価:3	ウェイト:① 評価:3	ウェイト: 評価:																																																																																				
<p>3 地域医療機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き地域医療支援病院の認定基準や機能を堅持するため、両病院において紹介患者に対する医療や救急医療への取り組みを重点化します。</li> <li>紹介患者受け入れ体制の拡充やweb予約システムの導入により、地域の医療機関にとって連携しやすい環境整備を進めます。</li> <li>地域の診療所に対してPET-CT、MRI及び最新の大腸CT検査の共同利用を推進します。</li> <li>医療機関訪問など地域連携室の前方支援機能を強化し、積極的に患者受入を行います。</li> <li>地域連携機能を拡大し、回復期リハビリ病院、地域包括ケア病棟、療養病床やかかりつけ医をはじめとした、地域のあらゆる医療機関や介護老人福祉施設などとの連携を強化します。</li> <li>認知症パスをはじめ地域連携クリニックパスを積極的に活用し、より円滑な地域連携を推進します。</li> <li>医師会と共同で開催する市民健康講座を通して診療科ごとの病診連携を進めます。</li> <li>歯科医師との連携を強化するため医科歯科連携会議を開催します。</li> <li>緩和ケアをはじめ各診療科の症例検討会や研修会などを開催し、訪問看護師、ケアマネージャーなど地域の医療従事者との交流を促進します。</li> </ul>	<p>3 地域医療機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の訪問看護ステーションとの連携に重点を置き、退院後の在宅医療を支援する活動に取り組んでいます。</li> <li>両病院の看護部を中心に退院支援・退院調整研修を開催し、急性期病院と在宅医療の橋渡しのあり方、仕組みづくりに取り組んでいます。</li> <li>両病院でインターネットを利用したWEB予約システムの供用を開始し、医療機関からの患者予約の利便性と紹介率を向上させました。現在の月間利用件数は約80件となっています。</li> <li>皮膚排泄ケアや感染対策について認定看護師が地域の施設に出向いて研修やコンサルテーションを行っています。</li> <li>地域連携パス(認知症、脳、大腿骨、がん)の運用や緩和ケア、リハビリの分野で病院スタッフが研修会等に積極的に参画し、医療と介護の連携に取り組んでいます。</li> <li>市民健康講座を医師会と共催しています。</li> <li>認知症疾患センターでは、2市2町の連携会議を主催するとともに、認知症教室を各地域で開催しています。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率(%)</td> <td>76</td> <td>70</td> <td>64</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率(%)</td> <td>61</td> <td>66</td> <td>69</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>開放病床登録医数(人)</td> <td>31</td> <td>38</td> <td>124</td> <td>127</td> </tr> </tbody> </table> <p>※紹介率は平成26年度より新基準を適用 地域医療支援病院認定要件(①～③)のいずれかに該当) ①紹介率80%以上 ②紹介率65%以上、逆紹介率40%以上 ③紹介率50%以上、逆紹介率70%以上</p>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	紹介率(%)	76	70	64	70	逆紹介率(%)	61	66	69	81	開放病床登録医数(人)	31	38	124	127	<ul style="list-style-type: none"> <li>新基準適用後の紹介率が両病院共に70%を維持しており、また逆紹介率も前年度より大きく伸びていることは評価できる。</li> </ul>	<p>3 地域医療機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の訪問看護ステーションとの連携に重点を置き、両病院の看護部を中心に退院支援・退院調整研修を開催し、急性期病院と在宅医療の橋渡しのあり方、仕組みづくりに<b>取り組みました。</b></li> <li>両病院でインターネットを利用したweb予約システムの供用を開始し、<b>年間785件</b>の医療機関からの予約を受け付け、患者紹介の利便性を向上させました。</li> <li>皮膚排泄ケアや感染対策について認定看護師が地域の施設に出向いて研修やコンサルテーションを<b>行いました。</b></li> <li>地域連携パス(認知症、脳、大腿骨、がん)の運用や緩和ケア、リハビリの分野で病院スタッフが研修会等に積極的に参画し、医療と介護の連携に<b>努めました。</b></li> <li><b>医師会との共催で、市民健康講座をしました。</b></li> <li>認知症疾患センターでは、2市2町の連携会議を主催するとともに、認知症教室を各地域で<b>開催しました。</b></li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率(%)</td> <td>76</td> <td>70</td> <td>64</td> <td><b>69</b></td> </tr> <tr> <td>逆紹介率(%)</td> <td>61</td> <td><b>68</b></td> <td>69</td> <td><b>83</b></td> </tr> <tr> <td>開放病床登録医数(人)</td> <td>31</td> <td><b>40</b></td> <td>124</td> <td>127</td> </tr> </tbody> </table> <p>※紹介率は平成26年度より新基準を適用 地域医療支援病院認定要件(①～③)のいずれかに該当) ①紹介率80%以上 ②紹介率65%以上、逆紹介率40%以上 ③紹介率50%以上、逆紹介率70%以上</p>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	紹介率(%)	76	70	64	<b>69</b>	逆紹介率(%)	61	<b>68</b>	69	<b>83</b>	開放病床登録医数(人)	31	<b>40</b>	124	127	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率(%)</td> <td>75</td> <td>65</td> <td>60</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率(%)</td> <td>62</td> <td>60</td> <td>62</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>開放病床登録医数(人)</td> <td>25</td> <td>35</td> <td>130</td> <td>130</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成24年度	平成26年度	平成24年度	平成26年度	実績値	目標値	実績値	目標値	紹介率(%)	75	65	60	63	逆紹介率(%)	62	60	62	73	開放病床登録医数(人)	25	35	130	130
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																																																					
	実績値		実績値																																																																																					
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																																																				
紹介率(%)	76	70	64	70																																																																																				
逆紹介率(%)	61	66	69	81																																																																																				
開放病床登録医数(人)	31	38	124	127																																																																																				
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																																																					
	実績値		実績値																																																																																					
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																																																				
紹介率(%)	76	70	64	<b>69</b>																																																																																				
逆紹介率(%)	61	<b>68</b>	69	<b>83</b>																																																																																				
開放病床登録医数(人)	31	<b>40</b>	124	127																																																																																				
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																																																					
	平成24年度	平成26年度	平成24年度	平成26年度																																																																																				
	実績値	目標値	実績値	目標値																																																																																				
紹介率(%)	75	65	60	63																																																																																				
逆紹介率(%)	62	60	62	73																																																																																				
開放病床登録医数(人)	25	35	130	130																																																																																				

項目別の状況	(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 4 適正な医療機関の利用促進  (小項目)	(中期目標の内容) 4 適正な医療機関の利用促進 地域医療の状況を住民に周知するとともに、医療機関の適正な利用の促進を図ること。
--------	--	--

年度計画	暫定評価				本評価																																																							
	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価		市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価																																																					
	評価の判断理由(実施状況等)		評価の判断理由・委員会の意見など		評価の判断理由(実施状況等)		評価の判断理由・委員会の意見など																																																					
	ウェイト: 評価: 3		ウェイト: 評価: 4		ウェイト: 評価: 3		ウェイト: 評価:																																																					
4 適正な医療機関の利用促進 ・プライマリ・ケア患者の受診に際しては、かかりつけ医の制度を積極的に説明し、診療所と病院の役割分担について理解を求める取り組みを行います。 ・紹介状を持参しない初診患者に対する選定療養費を見直し、患者へ負担を求めることで適正な医療機関の利用を誘導します。 ・広報誌「つつじ」や講演会・シンポジウムの機会を通して、住民にわかりやすく診療所と両病院の役割や機能を広報します。	4 適正な医療機関の利用促進 ・初診時の選定療養費を改定するとともに、かかりつけ医からの紹介の普及啓発に取り組んでいます。 選定療養費(5月1日改定) 1,080円 ⇒ 2,700円 ・機構広報誌「つつじ」では、地域完結型医療体制の推進に向けた病院の機能分化の必要性について、医師会と協力して啓発を行っています。		・平成24年5月の改定に続き、短期間で2度、初診時選定療養費を引き上げし、今回金額的にも大きく改定したことは、住民の理解を得るのに苦労もあつたかと思うが、医療機関の適正な利用を促進しようとする機構の意思が表れた取組と評価できる。		4 適正な医療機関の利用促進 ・初診時の選定療養費を改定するとともに、かかりつけ医からの紹介の普及啓発に <b>取り組みました。</b> 選定療養費(5月1日改定) 1,080円 ⇒ 2,700円 ・ <b>医師会と協力し、機構広報誌「つつじ」において、地域完結型医療体制の推進に向けた病院の機能分化の必要性について啓発を行いました。</b>																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成24年度実績値</th> <th>平成26年度目標値</th> <th>平成24年度実績値</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初診患者に占める紹介状持参割合(%)</td> <td>62</td> <td>65</td> <td>53</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table>		項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成24年度実績値	平成26年度目標値	平成24年度実績値	平成26年度目標値	初診患者に占める紹介状持参割合(%)	62	65	53	63	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <td></td> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初診患者に占める紹介状持参割合(%)</td> <td>64</td> <td>70</td> <td>56</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>		項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値			平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	初診患者に占める紹介状持参割合(%)	64	70	56	70	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <td></td> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初診患者に占める紹介状持参割合(%)</td> <td>64</td> <td>70</td> <td>56</td> <td>69</td> </tr> </tbody> </table>		項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値			平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	初診患者に占める紹介状持参割合(%)	64	70	56	69		
項目	加古川西市民病院			加古川東市民病院																																																								
	平成24年度実績値	平成26年度目標値	平成24年度実績値	平成26年度目標値																																																								
初診患者に占める紹介状持参割合(%)	62	65	53	63																																																								
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																									
	実績値		実績値																																																									
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																								
初診患者に占める紹介状持参割合(%)	64	70	56	70																																																								
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																									
	実績値		実績値																																																									
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																								
初診患者に占める紹介状持参割合(%)	64	70	56	69																																																								



項目別の状況	(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 5 医療安全対策の徹底  (小項目)	(中期目標の内容) 5 医療安全対策の徹底 患者及び地域住民に信頼される良質な医療を提供するため、院内感染防止対策を確実に実施するとともに、医療事故などに関する情報の収集及び分析に努め、医療安全対策を徹底すること。
--------	---	---

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
	ウェイト: ① 評価: 3	ウェイト: ① 評価: 4	ウェイト: ① 評価: 3	ウェイト: 評価:
5 医療安全対策の徹底 ・両病院に設置する医療安全管理委員会を中心に院内の安全体制を確保します。 ・医療事故が発生した場合の迅速な報告体制を徹底し、検証作業や事後対応の検討から予防や改善策までを一環とした活動を実施します。 ・医療安全、医療事故及び院内感染対策などに関する情報を収集し、分析、研究します。 ・組織を挙げての医療安全対策の徹底を図るため、医療安全管理者を中心とした推進体制によって、感染対策、医療事故防止、褥(じょく)瘡(そう)予防、転倒転落防止など、安全対策を実践します。 ・院内感染対策チーム、医療安全管理委員会の活動や両病院合同で開催する職員研修を通して、院内感染や医療安全についての高い意識を醸成します。	5 医療安全対策の徹底 ・両病院で毎月、医療安全管理委員会を開催するとともに、定期的なリスクマネジメント部会やカンファレンス等の活動を通して、院内の医療事故防止と医療安全意識の向上を図っています。 <b>【ヒヤリハットレポート報告件数】</b> 西市民病院 583件 東市民病院 532件 ・医療安全の推進のための研修を定期的で開催しています。 7月8日「転倒・転落事象を考える」 9月12日「患者・家族の観点からの医療安全」 ・医薬品や医療機器に関する安全情報について院内WEBを活用し、適時周知するなど安全確保の取組を行っています。 医療安全管理マニュアルの改訂 調剤過誤対策マニュアルの改訂 医薬品管理基準の改訂 等 ・両病院における医療事故の検証体制や外部への公表基準づくりを進めており、年度内に整備する予定で取り組んでいます。 ・院内感染対策会議の毎月開催、ICT部会や院内ラウンド等の活動を定期的に行い、感染防止に努めています。 ・感染管理認定看護師を両病院に配置し、医療スタッフへの勉強会、研修会等を通して感染制御の知識や予防策の周知を行っています。	・随時マニュアルの改訂及びその周知により院内の医療安全対策の見直しを行っていることに加え、医療事故の外部への公表基準づくりを進めていることは、医療安全対策への説明責任を果たすうえで評価できる。	5 医療安全対策の徹底 ・両病院で毎月、医療安全管理委員会を開催するとともに、定期的なリスクマネジメント部会やカンファレンス等の活動を通して、院内の医療事故防止と <b>職員の医療安全意識の向上に取り組みました。</b> <b>【ヒヤリハットレポート報告件数】</b> 西市民病院 <b>1,071件</b> 東市民病院 <b>889件</b> <b>【医療事故報告件数】</b> 西市民病院 <b>17件</b> 東市民病院 <b>10件</b> ・医療安全を推進するための研修を <b>開催しました。</b> 7月8日「転倒・転落事象を考える」 9月12日「患者・家族の観点からの医療安全」 <b>3月3日「ホジティブインシデントレポートからチームステップスへ」</b> <b>3月13日「医療安全取組発表会」</b> ・医薬品や医療機器に関する安全情報について院内webを活用し、適時周知するなど安全確保の取組を <b>行いました。</b> 医療安全管理マニュアルの改訂 調剤過誤対策マニュアルの改訂 医薬品管理基準の改訂 等 <b>・医療法の改正を踏まえて、重大な医療事故に対する検証体制として、外部委員が参画する事故調査委員会を設置することで、原因究明や再発防止策の透明性と客観性の確保に努めました。併せて、外部への公表基準も整備し、信頼される医療の基盤となる院内の安全文化の醸成を進めました。</b> ・院内感染対策会議の毎月開催、ICT部会や院内ラウンド等の活動を定期的に行い、感染防止に <b>努めました。</b> ・感染管理認定看護師を両病院に配置し、医療スタッフへの勉強会、研修会等を通して感染制御の知識や予防策の周知を <b>行いました。</b>	

項目別の状況	<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 6 患者サービスの向上</p> <p>(小項目) (1) 患者中心の医療の提供</p>	<p>(中期目標の内容) (1) 患者中心の医療の提供 「患者の権利とそれに伴う義務」をあわせ持った基本理念を掲げ、患者中心の医療を提供すること。また、ステークホルダーである患者及び家族からの意見及び提言を尊重し、双方向的にコミュニケーションを図っていくこと。</p>
--------	---	--

年度計画	暫定評価		本評価																																																					
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																				
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																				
	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価:																																																				
<p>(1) 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機構が定める「患者の権利と義務」について、機構職員へ配布するとともに、院内適所に掲示することにより患者とその家族への理解を促します。</li> <li>・ 患者支援センターを中心に診療に係る手順や治療計画等の説明や相談、調整機能を充実させます。</li> <li>・ プライバシー保護対策や情報公開制度の適切な運用に努めます。</li> <li>・ セカンドオピニオンを求める患者を受け体制と他院のセカンドオピニオンを希望する場合の取扱いを明確にし、その運用を充実させます。</li> <li>・ 医療事故などにおける患者との利害調整機能(医療メディエーター)を整備します。</li> <li>・ 患者満足度アンケートを定期的実施し、患者やその家族の意向を集約、分析することで、運営上の課題や問題点を抽出し改善につなげます。</li> </ul>	<p>(1) 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者の権利と義務について、院内の掲示板やホームページ、入院案内等への掲載により周知を図っています。</li> <li>・ クリティカルパス委員会でパスの見直しや適用拡大を検討し、質の高い医療の計画的な提供に取り組んでいます。</li> <li>・ 地域連携室が中心となり、患者、家族からの医療福祉相談に注力し、患者の視点に立った分かりやすい医療を推進しています。</li> <li>・ 西市民病院では入院支援センターを設置して2年目を迎え、サポート対象の診療科を拡大し、2,457件の入院時の支援を行っています。東市民病院では2,016件となっています。</li> <li>・ MSWを増員し患者との相談、対話機能の向上を図っています。</li> <li>・ がん相談では、セカンドオピニオンへの対応をはじめ社会的・心理的な支援を行っています。</li> <li>セカンドオピニオン相談 14件</li> <li>・ 患者満足度アンケートを12月に計画し実施する予定です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MSWを増員して患者の相談、対話機能の向上を図ったことは評価できる。</li> </ul>	<p>(1) 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者の権利と義務について、院内の掲示板やホームページ、入院案内等への掲載により周知を図りました。</li> <li>・ クリニカルパス委員会でパスの見直しや適用拡大を検討し、質の高い医療の計画的な提供に取り組みました。</li> <li>・ 地域連携室が中心となり、患者、家族からの医療福祉相談に注力し、患者の視点に立った分かりやすい医療提供に努めました。</li> <li>・ 西市民病院では入院支援センターを設置して2年目となり、サポート対象の診療科を拡大し、4,347件の入院時の支援を行いました。東市民病院では3,591件となっています。</li> <li>・ MSWを増員し、患者との相談、対話機能の向上を図りました。</li> <li>・ がん相談では、セカンドオピニオンへの対応をはじめ社会的・心理的な支援を行いました。</li> <li>セカンドオピニオン相談 25件</li> <li>・ 患者満足度アンケートを10~12月に実施しました。</li> </ul>																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成24年度実績値</th> <th>平成26年度目標値</th> <th>平成24年度実績値</th> <th>平成26年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度アンケート(%)</td> <td>85</td> <td>85</td> <td>77</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成24年度実績値	平成26年度目標値	平成24年度実績値	平成26年度目標値	患者満足度アンケート(%)	85	85	77	80	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <td></td> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度アンケート(%)</td> <td>87</td> <td>-</td> <td>82</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値			平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	患者満足度アンケート(%)	87	-	82	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <td></td> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度アンケート(%)</td> <td>87</td> <td>84</td> <td>82</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値			平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	患者満足度アンケート(%)	87	84	82	76	
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																					
	平成24年度実績値	平成26年度目標値	平成24年度実績値	平成26年度目標値																																																				
患者満足度アンケート(%)	85	85	77	80																																																				
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																					
	実績値		実績値																																																					
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																				
患者満足度アンケート(%)	87	-	82	-																																																				
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																					
	実績値		実績値																																																					
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																				
患者満足度アンケート(%)	87	84	82	76																																																				

項目別の状況	<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 6 患者サービスの向上</p> <p>(小項目) (2) 患者満足度の向上</p>	<p>(中期目標の内容) (2) 患者満足度の向上 外来診療や検査などの待ち時間の改善に取り組むとともに、職員の接遇の向上を通じて、思いやりと気配りあふれる院内環境の実現に努めること。</p>
--------	---	--

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
	ウェイト:① 評価:3	ウェイト:① 評価:3	ウェイト:① 評価:3	ウェイト: 評価:
<p>(2) 患者満足度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院内の各所に設置される「ふれあいポスト」や「ご意見箱」によって汲み上げられる患者をはじめ病院利用者の意見、提言をもとに業務改善を進めます。</li> <li>・ 予約制外来の運用の充実により、外来待ち時間の短縮に取り組みます。</li> <li>・ 順番表示モニターなど間接的な待ち時間対策を効果的に活用します。</li> <li>・ 接遇や院内案内体制による患者への配慮等でストレス低減に努めます。</li> </ul> <p>【加古川西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内にTQM委員会を設置し、組織全体で継続的な改善活動を実施し、患者サービスの向上に努めます。</li> </ul> <p>【加古川東市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院機能評価受審を契機に院内横断的な改善を通して、患者満足度を向上させます。</li> </ul>	<p>(2) 患者満足度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふれあいポスト件数 103件</li> <li>・ ご意見箱件数 43件</li> <li>・ 院内環境の整備や業務改善として以下の取り組みを実施しました。</li> <li>①外来待合エリアに温度計を設置し、空調による冷え過ぎを監視し、適温へ調整</li> <li>②医療器材の滅菌判定に使用するインジケータにPCD(プロセスチャレンジデバイス)を導入し、判定時間の短縮と費用を削減</li> <li>③入院に必要な生活雑貨のレンタルを導入し、患者利便を向上</li> <li>④駐車場の案内表示改善</li> <li>⑤休日のリハビリ運用を試行し、患者のQOLを向上</li> <li>⑥個人情報保護管理委員会の設置</li> <li>⑦院内医療コードとして「コードホワイト」を新設し、暴言暴力事象の緊急連絡手順を整備</li> <li>⑧新生児救急搬送に対応するためのドクターカーを導入</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予約制外来の普及により、予約のない患者割合は減少傾向にあり、平均待ち時間を短縮させています。</li> <li>・ 西市民病院では、TQM委員会を設置し、日本病院会のQIプロジェクトに参画するとともに、各部門で独自の指標を設定した質改善に取り組んでいます。</li> <li>・ 東市民病院は、8月に日本医療機能評価機構による病院機能の評価(機能種別版評価項目3rdG:Ver.1.0)を受審し、病院の組織的活動について一定の水準を満たしていると認められ、認証を獲得しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院利用者等の意見を汲み上げて患者満足度の向上につながる業務改善を数多く実施したこと、また、西市民病院にTQM委員会を設置して各部門が独自の指標を設定した質改善に取り組んでいることは大変評価できる。</li> <li>・ 患者にサービスを提供するスタッフの満足度が高くないと良いサービスを提供できないと考えるため、ぜひスタッフの満足度調査を実施していただきたい。</li> <li>・ 接遇は身近なコミュニケーションとして最も重要であると考えてるので、接遇の研修等により満足度の向上を図ってほしい。</li> </ul>	<p>(2) 患者満足度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふれあいポスト件数 <b>137件</b></li> <li>・ ご意見箱件数 <b>75件</b></li> <li>・ 院内環境の整備や業務改善として以下の取り組みを実施しました。</li> <li>①外来待合エリアに温度計を設置し、空調による冷え過ぎを監視し、適温へ調整</li> <li>②医療器材の滅菌判定に使用するインジケータにPCD(プロセスチャレンジデバイス)を導入し、判定時間の短縮と費用を削減</li> <li>③入院に必要な生活雑貨のレンタルを導入し、患者利便を向上</li> <li>④駐車場の案内表示改善</li> <li>⑤休日のリハビリ運用を試行し、患者のQOLを向上</li> <li>⑥個人情報保護管理委員会の設置</li> <li>⑦院内医療コードとして「コードホワイト」を新設し、暴言暴力事象の緊急連絡手順を整備</li> <li>⑧新生児救急搬送に対応するためのドクターカーを導入</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西市民病院では、TQM委員会を設置し、日本病院会のQIプロジェクトに参画するとともに、各部門で独自の指標を設定した質改善に<b>取り組みました。</b></li> <li>・ 東市民病院は、8月に日本医療機能評価機構による病院機能の評価(機能種別版評価項目3rdG:Ver.1.0)を受審し、病院の組織的活動について一定の水準を満たしていると認められ、認証を獲得しました。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>診療科の充実などにより外来患者数が増加していることから、外来の予約制の徹底や診療時間帯や診療日の分散など混雑状況を詳細に分析し、実効性のある待ち時間短縮に向けた対策を検討する必要があります。</p>	

項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院	
	平成24年度	平成26年度	平成24年度	平成26年度
	実績値	目標値	実績値	目標値
外来平均待ち時間(分)	33	35	43	37

項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院	
	実績値		実績値	
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度
外来平均待ち時間(分)	38	38	37	35

項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院	
	実績値		実績値	
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度
外来平均待ち時間(分)	38	<b>47</b>	37	<b>37</b>

項目別の状況	(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 6 患者サービスの向上  (小項目) (3) 快適性の向上	(中期目標の内容) (3) 快適性の向上 患者や来院者に、より快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設改良に努めること。
--------	---	---

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価:
(3) 快適性の向上 ・病棟における整理整頓や清掃業務の徹底など清潔な施設環境に配慮します。 ・外来における表示物や案内表示等の効果的な配置に努めます。 ・院内ラウンドなど定期的なチェックによって療養環境の向上に努めます。 ・観葉植物の配置や絵画の掲示、ロビーコンサートなど、患者や来院者がくつろげるスペースを確保します。 ・両病院とも敷地内禁煙とし、受動喫煙対策を徹底します。	(3) 快適性の向上 ・病室やトイレ等の清掃については、ワックスがけや床の剥離清掃を委託業者に対して履行を重点化させ、院内の美化に努めています。 ・病院給食について、栄養サポートチームによる栄養管理指導を充実させ治療効果の向上を図っています。 ・ボランティアの参画を得て、ロビーコンサートや病棟ダイルームでの音楽療法を定期的に開催し、患者に癒しのひと時を提供するとともに、小児病棟では、入院中の子どもを元気づけるため、毎月、クリニックラウンを実施し、療養環境の向上に努めています。 ・両病院で病院敷地内の全面禁煙が定着しており、ポスター掲示などにより患者や来院者への周知を行うことで、医療機関としてふさわしい療養環境を確保しています。	・常時勤務していると気づかないこともあるので、患者や家族から寄せられる意見・要望、またアンケート調査を踏まえながら、引き続き施設や運用面において改善に努められたい。	(3) 快適性の向上 ・病室やトイレ等の清掃については、ワックスがけや床の剥離清掃を委託業者に対して履行を重点化させ、院内の美化に <b>努めました。</b> ・ <b>病棟のトイレについて、一部、和式から洋式へ改修するとともに、手摺の設置を進めました。</b> ・病院給食について、栄養サポートチームによる栄養管理指導を充実させ、治療効果の向上を <b>図りました。</b> ・ボランティアの参画を得て、ロビーコンサートや病棟ダイルームでの音楽療法を定期的に開催し、患者に癒しのひと時を提供するとともに、小児病棟で入院中の子どもを元気づけるため、毎月、クリニックラウンを実施するなど、療養環境の向上に <b>努めました。</b> ・両病院で病院敷地内の全面禁煙が定着しており、ポスター掲示などにより患者や来院者への周知を行うことで、医療機関としてふさわしい療養環境を <b>確保しました。</b>	

項目別の状況	<p>(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 6 患者サービスの向上</p> <p>(小項目) (4) 患者の利便性の向上</p>	<p>(中期目標の内容) (4) 患者の利便性の向上 医療費のクレジットカードによる支払いなど、患者の利便性の向上に取り組むこと。</p>
--------	--	---

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価:
<p>(4) 患者の利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者の意見、苦情を把握する仕組みを設け、患者サービスの改善を図ります。</li> <li>午前退院、午後入院の実施、休日入院、休日退院の導入及び整備に取り組めます。</li> </ul> <p>【加古川西市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療費の支払について多様な方法が提供できるようデビットカードに加え、クレジットカード導入に向けた準備を進めます。</li> </ul>	<p>(4) 患者の利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外来、病棟に設置したふれあいポスト及びご意見箱に寄せられた要望や意見を毎日回収し、担当部署へフィードバックしています。</li> <li>西市民病院の入院支援室では、対象診療科を大幅に拡大し、前年度の4倍以上の入院支援活動を行っています。</li> <li>介護介入が必要な退院患者に対して、訪問看護師やケアマネジャーとの退院時共同指導や介護支援指導を実施し、円滑な退院調整による患者負担の軽減を図っています。</li> <li>西市民病院におけるクレジットカードの運用については、現病院での導入は行わず、新病院移行時に合わせた導入を検討することとしています。</li> </ul>	<p>・新病院における支払方法の検討を行う際は、クレジットカードだけでなく、様々な決済方法と患者のニーズ、その将来性も踏まえたうえで、費用対効果も考慮した検討をお願いしたい。</p>	<p>(4) 患者の利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外来、病棟に設置したふれあいポスト及びご意見箱に寄せられた要望や意見を毎日回収し、担当部署へフィードバックしています。</li> <li>西市民病院の入院支援室では、対象診療科を大幅に拡大した<b>結果、入院時の支援活動は前年度と比較して22% (797件) 増加しました。</b></li> <li>介護介入が必要な退院患者に対して、訪問看護師やケアマネジャーとの退院時共同指導や介護支援指導を実施し、円滑な退院調整による患者負担の軽減を<b>図りました。</b></li> <li>西市民病院におけるクレジットカードの運用については、現病院での導入は行わず、新病院移行時に合わせた導入を検討することとしています。</li> </ul>	

項目別の状況	(大項目) 第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 6 患者サービスの向上  (小項目) (5) 法令及び行動規範の遵守	(中期目標の内容) (5) 法令及び行動規範の遵守 公的病院としての使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守することはもとより、個人情報の保護や情報公開、内部通報に関しても適切な対応を行うこと。また、公的機関としての行動規範及び倫理を確立させ、適正な病院運営に努めること。
--------	--	---

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価:
(5) 法令及び行動規範の遵守 ・ 公的病院の職員に相応しい職員倫理の醸成に努めます。 ・ 個人情報保護、情報公開、内部通報に関する規程を遵守し、職員及び患者への周知を図ります。 ・ 内部監査等により業務の推進体制を定期的にチェックする内部統制機能を確立します。 ・ 倫理規程の適切な運用を行うとともに、コンプライアンス及び職員倫理に関する研修を実施します。	(5) 法令及び行動規範の遵守 ・ 適宜、綱紀粛正や注意喚起を行い、職員倫理の確保に努めています。 ・ 個人情報保護管理委員会を設置し、院内ルール徹底と職員の意識啓発を行っています。 ・ 職員の兼業に関する取扱いを明確化し、周知徹底することにより就業秩序の維持確保に努めました。 ・ 内部監査員による定期監査を計画しています。 ・ 職員倫理に関する研修が未実施のため、年度内に実施します。	・ 個人情報の流出や法令違反は、違反者だけでなくこれまでの法人の信用を失うことにつながるため、ルールの認識不足が原因とならないよう、職員研修等を継続していただきたい。また、法人職員だけでなく委託職員へも同様に徹底していただきたい。	(5) 法令及び行動規範の遵守 ・ 適宜、綱紀粛正や注意喚起を行い、職員倫理の確保に <b>努めました。</b> ・ <b>情報システム課を設置し、データ管理やセキュリティ対策の向上を図るとともに、院内にルールの周知徹底と職員の意識啓発を行いました。</b> ・ 職員の兼業に関する取扱いを明確化し周知徹底することにより、就業秩序の維持確保に努めました。 ・ <b>3月3日に</b> 内部監査員による定期監査を <b>実施しました。</b> ・ <b>職員倫理に関する研修については未実施となったため、次年度において早期に実施する必要があります。</b>	

項目別の状況	<p>(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 1 職員の業務遂行能力の向上</p> <p>(小項目) (1) 医療従事者の役割分担及び連携</p>	<p>(中期目標の内容) (1) 医療従事者の役割分担及び連携 病院で働く職員にとって、やりがいがある職場づくりに努めること。また、本来業務に専念できるよう、適切な役割分担及び連携を図るとともに、医療従事者の負担軽減に努めること。</p>
--------	---	---

年度計画	暫定評価		本評価																																																																					
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																																				
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																																				
	ウェイト:① 評価:3	ウェイト:① 評価:3	ウェイト:① 評価:3	ウェイト: 評価:																																																																				
<p>(1) 医療従事者の役割分担及び連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師事務作業補助者の役割や業務を標準化し、医師の事務負担を軽減します。</li> <li>看護補助者を急性期の入院医療における看護チームの一員として看護師との連携を強化し、より高度で専門的な看護の実践に努めます。</li> <li>診療情報管理士を中心に診療報酬改定などへの対応を戦略的に推進し、病院経営の効率化を図ります。</li> <li>ムリ、ムラ、ムダを取り除き、安全で効果的な医療を提供できるようにするため、小グループ単位でのTotal Quality Management活動を継続的に実施します。</li> <li>優れた成果を挙げた取り組みや病院に対する貢献に対して表彰制度を運用し、職員の意欲や創意工夫を引き出す取り組みを推進します。</li> </ul>	<p>(1) 医療従事者の役割分担及び連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メディカルアシスタントや病棟クラークの業務を両病院で統一するとともに、スタッフの能力向上のための勉強会を行っています。</li> <li>看護補助者を確保することで、病棟の医療・看護必要度、重要度の向上を図っています。</li> <li>診療情報管理士によるデータ分析をもとに、医療法の改正に伴う病床機能報告制度に対応するとともに、地域医療計画の改定を見据えて、病院の機能のあり方について検討を進めています。</li> <li>両病院で日本病院会のQ Iプロジェクト事業に参画し、医療の質評価による改善活動に取り組むとともに、各部門で独自に指標を設定しTQM活動を行っています。</li> <li>各部門に対し、今年度の機構表彰者の推薦を求め選定作業を進めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>両病院のメディカルアシスタントや病棟クラークの業務を統一したことは、新病院に向けた取組として評価できる。</li> <li>両病院が日本病院会の実施するQIプロジェクトに参画し、診療の質を評価する指標を測定することは、自分たちの取組が数値で可視化され、職員のやりがいにつながるものと考えている。</li> </ul>	<p>(1) 医療従事者の役割分担及び連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メディカルアシスタントや病棟クラークの業務を両病院で統一するとともに、スタッフの能力向上のための勉強会を行いました。</li> <li>看護補助者を確保することで、病棟の医療・看護必要度、重要度の向上を図りました。</li> <li>診療情報管理士によるデータ分析をもとに、医療法の改正に伴う病床機能報告制度に対応するとともに、地域医療計画の改定を見据えて、病院の機能のあり方について検討しました。</li> <li>両病院で日本病院会のQ Iプロジェクト事業に参画し、医療の質評価による改善活動に取り組むとともに、各部門で独自に指標を設定しTQM活動を推進しました。</li> <li>院内の業務改善や地域社会への貢献が認められた職員及びチーム等に対し、機構総会において表彰を行いました。</li> </ul>																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療クラーク数(人)</td> <td>29</td> <td>35</td> <td>36</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>看護補助者数(人)</td> <td>30</td> <td>40</td> <td>31</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成24年度	平成26年度	平成24年度	平成26年度	実績値	目標値	実績値	目標値	医療クラーク数(人)	29	35	36	48	看護補助者数(人)	30	40	31	30	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療クラーク数(人)</td> <td>34</td> <td>37</td> <td>34</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>看護補助者数(人)</td> <td>39</td> <td>41</td> <td>33</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	医療クラーク数(人)	34	37	34	30	看護補助者数(人)	39	41	33	35	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療クラーク数(人)</td> <td>34</td> <td>39</td> <td>34</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>看護補助者数(人)</td> <td>39</td> <td>44</td> <td>33</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	医療クラーク数(人)	34	39	34	30	看護補助者数(人)	39	44	33	37	
項目		加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																																				
		平成24年度	平成26年度	平成24年度	平成26年度																																																																			
	実績値	目標値	実績値	目標値																																																																				
医療クラーク数(人)	29	35	36	48																																																																				
看護補助者数(人)	30	40	31	30																																																																				
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																																					
	実績値		実績値																																																																					
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																																				
医療クラーク数(人)	34	37	34	30																																																																				
看護補助者数(人)	39	41	33	35																																																																				
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																																					
	実績値		実績値																																																																					
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																																				
医療クラーク数(人)	34	39	34	30																																																																				
看護補助者数(人)	39	44	33	37																																																																				

項目別の状況	(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 1 職員の業務遂行能力の向上  (小項目) (2) 職員教育体制の充実	(中期目標の内容) (2) 職員教育体制の充実 地域の中核病院として高度専門医療を提供するため、あらゆる職員への教育、キャリアアップを支援するとともに、その効果が職員自身にも組織内にも定着し、生かされるような仕組みを整備すること。 また、専門的に支える医師、看護師及び医療技術者などの教育・育成に努めること。
--------	--	---

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
	ウェイト：① 評価：3	ウェイト：① 評価：3	ウェイト：① 評価：3	ウェイト： 評価：
(2) 職員教育体制の充実 ・ 専門医資格、認定看護師資格の取得など病院の医療機能向上に対する職員への教育的支援を実施し、優秀なスタッフを育成します。 ・ 教育支援センターの実動組織である企画運営委員会を中心に研修計画を策定し、職員教育を推進します。 ・ 昨年度策定した教育体系プログラムにより、キャリアステージに応じた職員の総合的能力の開発を図ります。 ・ 高度専門医療の実施研修のため、スキルラボの器材を充実します。 ・ 神戸大学医学部と連携し、実習生の受け入れを通して、臨床研修体制を強化します。 ・ 倫理委員会等の承認手続きを経たうえで、薬剤の臨床治験や新しい治療方法の研究が積極的に推進される体制を整備します。	(2) 職員教育体制の充実 ・ 教育支援センターでは以下の取組みを通して職員教育を実施しました。 ①教育企画運営委員会を毎月1回開催し、人権研修、接遇研修(平成27年2月予定)などを企画運営しました。 ②外部講師を招き、メンタルヘルス研修、人権研修、接遇研修(平成27年2月予定)などを企画運営しています。 ③文献検索のためのソフトの維持や電子ジャーナルの購入など図書室の整備を行っています。 ④スキルラボの整備を拡充しており、各種シミュレータを配備し、研修医、看護師が24時間利用可能な研修スペースとして運用しています。 ⑤各種医療職教育機関からの実習生、研修生1,050人に対して延べ6,433回の受け入れを行い、重要な教育施設として位置づけられています。 ⑥国内研修への派遣84件、海外研修への派遣4件の支援を実施しました。 ⑦臨床治験センターでは、第2相試験を継続しています。(1件) ⑧倫理委員会では、新たな診療、治療方法の導入に向けた臨床研究について、倫理的な視点で検討を加えながら倫理委員会で審査しました。 (審査・承認件数 21件) ⑨専門医取得手当等により、医師がやりがいを実感できる制度を充実させています。(支給対象者 91人) ⑩管理職員を対象としたマネジメント研修を年度内に実施する予定です。 ⑪神戸大学医学部の実習施設として学生を受け入れており、引き続き、大学等の要請に応えられるよう研修体制の強化を図っていきます。 医師研修・実習受入実績 21人	・シミュレーター等の備品や教材を充実させ、研修医、看護師が24時間利用可能なスキルラボ室を拡充するなど、教育体制の整備に対する取組は評価できる。 ・認定看護師をはじめ、各医療技術者が高度な研修を受講し、その後、チーム医療等でその知識・技術を活かして活躍されていることは評価できる。	(2) 職員教育体制の充実 ・ 教育支援センターでは以下の取組みを通して職員教育を実施しました。 ①教育企画運営委員会を毎月1回開催し、人権研修、 <b>接遇研修</b> などを企画運営しました。 ②外部講師を招き、メンタルヘルス研修、人権研修、 <b>接遇研修</b> などを企画運営 <b>しました</b> 。 ③文献検索のためのソフトの維持や電子ジャーナルの購入など、図書室の整備を <b>行いました</b> 。 ④スキルラボに各種シミュレータを配備するなど整備を拡充し、研修医・看護師が24時間利用可能な研修スペースとして <b>運用しました</b> 。 ⑤各種医療職教育機関からの <b>実習生、研修生883人に対して延べ5,894回の受け入れ</b> を行い、 <b>大学をはじめ関連機関から</b> 重要な教育施設として位置づけられています。 ⑥ <b>国内研修への派遣94件、海外研修への派遣5件</b> の支援を実施しました。 ⑦臨床治験センターでは、第2相試験を継続しています。(1件) ⑧倫理委員会では、新たな診療、治療方法の導入に向けた臨床研究について、倫理的な視点で検討を加えながら審査しました。 (審査・承認件数 43件) ⑨専門医取得手当等により、医師がやりがいを実感できる制度を <b>充実させました</b> 。(支給対象者 91人) <del>⑩管理職員を対象としたマネジメント研修を年度内に実施する予定です。</del> ⑩神戸大学医学部の実習施設として学生を受け入れており、引き続き、大学等の要請に応えられるよう研修体制の強化を図っていきます。 医師研修・実習受入実績 23人	



項目別の状況	(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 1 職員の業務遂行能力の向上  (小項目) (2) 職員の教育体制の充実 (続)	(中期目標の内容) (2) 職員教育体制の充実 (再掲) 地域の中核病院として高度専門医療を提供するため、あらゆる職員への教育、キャリアアップを支援するとともに、その効果が職員自身にも組織内にも定着し、生かされるような仕組みを整備すること。 また、専門的に支える医師、看護師及び医療技術者などの教育・育成に努めること。
--------	---	--

年度計画	暫定評価			本評価																																																																																																	
	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価		評価委員会の評価																																																																																															
	評価の判断理由 (実施状況等)		評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由 (実施状況等)		評価の判断理由・委員会の意見など																																																																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実習受入状況 (延回数)</th> <th>西市民病院</th> <th>東市民病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>医学部生</td><td>75</td><td>0</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>2,794</td><td>1,061</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>220</td><td>0</td></tr> <tr><td>臨床検査技師</td><td>77</td><td>50</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>72</td><td>26</td></tr> <tr><td>管理栄養士</td><td>60</td><td>138</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>289</td><td>237</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>89</td><td>0</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>20</td><td>0</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>0</td><td>366</td></tr> <tr><td>口腔外科</td><td>0</td><td>440</td></tr> <tr><td>地域連携室 (MSW)</td><td>12</td><td>25</td></tr> <tr><td>事務</td><td>19</td><td>0</td></tr> <tr><td>救急救命士</td><td>98</td><td>265</td></tr> <tr><td>合計</td><td>3,825</td><td>2,608</td></tr> </tbody> </table>		実習受入状況 (延回数)	西市民病院	東市民病院	医学部生	75	0	看護師	2,794	1,061	薬剤師	220	0	臨床検査技師	77	50	放射線技師	72	26	管理栄養士	60	138	理学療法士	289	237	作業療法士	89	0	言語聴覚士	20	0	臨床工学技士	0	366	口腔外科	0	440	地域連携室 (MSW)	12	25	事務	19	0	救急救命士	98	265	合計	3,825	2,608		<table border="1"> <thead> <tr> <th>実習受入状況 (延回数)</th> <th>西市民病院</th> <th>東市民病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>医学部生</td><td>81</td><td>39</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>2,422</td><td>827</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>275</td><td>0</td></tr> <tr><td>臨床検査技師</td><td>77</td><td>50</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>72</td><td>76</td></tr> <tr><td>管理栄養士</td><td>60</td><td>135</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>320</td><td>255</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>89</td><td>0</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>20</td><td>0</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>0</td><td>357</td></tr> <tr><td>口腔外科</td><td>0</td><td>248</td></tr> <tr><td>地域連携室 (MSW)</td><td>12</td><td>30</td></tr> <tr><td>事務</td><td>19</td><td>0</td></tr> <tr><td>救急救命士</td><td>163</td><td>273</td></tr> <tr><td>合計</td><td>3,610</td><td>2,284</td></tr> </tbody> </table>		実習受入状況 (延回数)	西市民病院	東市民病院	医学部生	81	39	看護師	2,422	827	薬剤師	275	0	臨床検査技師	77	50	放射線技師	72	76	管理栄養士	60	135	理学療法士	320	255	作業療法士	89	0	言語聴覚士	20	0	臨床工学技士	0	357	口腔外科	0	248	地域連携室 (MSW)	12	30	事務	19	0	救急救命士	163	273	合計	3,610	2,284
実習受入状況 (延回数)	西市民病院	東市民病院																																																																																																			
医学部生	75	0																																																																																																			
看護師	2,794	1,061																																																																																																			
薬剤師	220	0																																																																																																			
臨床検査技師	77	50																																																																																																			
放射線技師	72	26																																																																																																			
管理栄養士	60	138																																																																																																			
理学療法士	289	237																																																																																																			
作業療法士	89	0																																																																																																			
言語聴覚士	20	0																																																																																																			
臨床工学技士	0	366																																																																																																			
口腔外科	0	440																																																																																																			
地域連携室 (MSW)	12	25																																																																																																			
事務	19	0																																																																																																			
救急救命士	98	265																																																																																																			
合計	3,825	2,608																																																																																																			
実習受入状況 (延回数)	西市民病院	東市民病院																																																																																																			
医学部生	81	39																																																																																																			
看護師	2,422	827																																																																																																			
薬剤師	275	0																																																																																																			
臨床検査技師	77	50																																																																																																			
放射線技師	72	76																																																																																																			
管理栄養士	60	135																																																																																																			
理学療法士	320	255																																																																																																			
作業療法士	89	0																																																																																																			
言語聴覚士	20	0																																																																																																			
臨床工学技士	0	357																																																																																																			
口腔外科	0	248																																																																																																			
地域連携室 (MSW)	12	30																																																																																																			
事務	19	0																																																																																																			
救急救命士	163	273																																																																																																			
合計	3,610	2,284																																																																																																			

項目別の状況	<p>(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 1 職員の業務遂行能力の向上</p> <p>(小項目) (2) 職員の教育体制の充実 (続)</p>	<p>(中期目標の内容) ア 臨床研修体制の充実 初期・後期臨床研修機能はもとより、特に中堅医師の高度専門臨床や研究のできる体制を構築すること。</p>
--------	---	--

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
<p>ア 臨床研修体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初期臨床研修医の確保を重点化し、魅力ある「臨床研修プログラム」を作成し、病院が一体となって育成する体制を強化します。</li> <li>・ 初期臨床研修医募集の専用ホームページを作成するほか、合同説明会へ積極的に参加し、説明資料等を充実させます。</li> <li>・ 処遇面をはじめとする研修環境の改善及び研修教材の充実を図ります。</li> <li>・ 初期研修の2年次で必修となる地域医療では、離島における診療を経験できるプログラムなど研修医のニーズに合わせたユニークな研修指導体制を提供します。</li> <li>・ 後期臨床研修医の専門的な研修、臨床研究を支援する体制を強化します。</li> <li>・ 専門医、認定医等の各種資格の取得を支援するため、教育研修予算を充実させます。</li> <li>・ 中堅医師による指導医の資格取得を支援するなど、専門性に応じた研修、臨床研究が実施できる支援制度を検討します。</li> <li>・ 臨床研究の成果について、学会への著書、論文執筆や発表などができる体制を整備します。</li> </ul>	<p>ア 臨床研修体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東市民病院を協力施設とし、西市民病院に研修機能を統一、集約させ、プログラムや研修指導体制の刷新により研修医に魅力的な研修施設づくりを行っています。</li> <li>・ 初期臨床研修医の専用ホームページを開設し、積極的な情報発信を行った結果、次年度は定員7人の採用を確保することができました。</li> <li>・ 本年度から実施している離島診療所への研修医派遣は好評を得ており、地域医療の実状を経験する上で貴重なプログラムとなっております。引き続き充実させていきます。</li> <li>・ 先進的な研究活動に専念できるよう他の研究施設等へ一定期間派遣できる研修制度の検討を進めており、次年度からの運用を予定しています。</li> <li>・ 臨床研修体制を強化するため、新たに6人が指導医講習を受講し、指導医は57人となりました。</li> <li>・ 新たに日本臨床腫瘍学会、日本リウマチ学会、日本病院総合診療医学会の研修施設の認定を受け、専門医、認定医の資格取得体制を強化しました。</li> </ul>		<p>ア 臨床研修体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東市民病院を協力施設とし、西市民病院に研修機能を統一、集約させ、プログラムや研修指導体制の刷新により研修医に魅力的な研修施設づくりを<b>行いました</b>。</li> <li>・ 初期臨床研修医の専用ホームページを開設し、積極的な情報発信を行った結果、<b>募集定員枠の7人を採用することができました</b>。</li> <li>・ 本年度から実施している離島診療所への研修医派遣は好評で、地域医療の実状を経験する上で貴重なプログラムとなっております。引き続き充実させていきます。</li> <li>・ 先進的な研究活動に専念できるよう他の研究施設等へ一定期間派遣できる研修制度の検討を進めており、次年度からの運用を予定しています。</li> <li>・ 臨床研修体制を強化するため、<b>新たに9人が指導医講習を受講し、指導医は61人</b>となりました。</li> <li>・ 新たに日本臨床腫瘍学会、日本リウマチ学会、日本病院総合診療医学会の研修施設の認定を受け、専門医、認定医の資格取得体制を強化しました。</li> </ul>	

項目別の状況	(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 1 職員の業務遂行能力の向上  (小項目) (2) 職員の教育体制の充実 (続)	(中期目標の内容) イ 高度な看護師の育成 認定看護師、専門看護師などの資格取得を支援するとともに、新たに検討されている特定看護師などに対する支援方策についてもあわせて検討すること。
--------	---	---

年度計画	暫定評価		本評価																																																			
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																		
	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																		
<p>イ 高度な看護師の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>看護職員の業務遂行力の向上を図るため、看護実践と看護サービス機能充実ができる高度な看護人材の育成を図ります。</li> <li>看護師研修を充実させるため、「看護師研修プログラム」を策定するとともに、以下の取り組みを推進します。</li> <li>① 「教育支援センター」の機能を活かし、看護師研修の強化を図ります。</li> <li>② 院内外の教材や講師を活用した、看護研修を実施します。</li> <li>③ 看護の質評価を定期的実施しつつ看護の質向上に向けた環境を整えます。</li> <li>④ 各認定看護師の取得を支援します(救急看護/皮膚・排泄ケア/集中ケア/緩和ケア/がん化学療法看護/がん性疼痛看護/訪問看護/感染管理/糖尿病看護/新生児集中ケア/摂食・嚥下障害/小児救急/慢性心不全など)。また、専門資格を持つ看護師が活躍できる環境を整備します。</li> <li>⑤ 特定看護師に対する支援方策について検討します。</li> <li>⑥ 専門看護師の育成を支援します。</li> <li>⑦ チーム医療の調整役としての看護師を育成します。</li> <li>⑧ 地域連携の担当看護師を育成するとともに、メディカルソーシャルワーカーとの連携を図ります。</li> <li>⑨ 前方支援、後方支援の円滑な調整ができる看護師の育成に努めます。</li> </ul>	<p>イ 高度な看護師の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両病院の看護部教育計画及びラダー制度の統一作業を進めるとともに、教育専従担当看護師を配置しました。</li> <li>今年度は院外講師による固定チームナーシングや地域連携についての研修、事例検討会を実施しています。</li> <li>TQM委員会の活動をとおして、病棟や部門単位で設定した目標達成に取り組んでいます。</li> <li>新たに2人が認定看護師資格を取得しました。また、看護師2人を研修助成制度により派遣しており、資格取得を支援しています。</li> </ul> <p>(認定看護師の状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染管理(2人)</li> <li>がん化学療法看護(2人)</li> <li>がん放射線療法看護(1人)</li> <li>皮膚・排泄ケア(3人)</li> <li>新生児集中ケア(2人)</li> <li>手術看護(1人)</li> <li>緩和ケア(1人)</li> <li>慢性心不全看護(1人)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定看護師については、引き続き、国の施策や動向を注視しています。</li> <li>専門看護師では、1人が母性看護専門看護師資格を取得しました。また、がん看護専門看護師の採用が内定したほか、リエゾン精神看護で資格取得に向けた研修を行っており、専門看護師の育成に注力しています。</li> <li>NST専門療法士研修やがんリハビリ研修などを受講し、チーム医療活動に必要なスキルの習得を行っています。</li> <li>地域の訪問看護師やケアマネジャー等との交流事業「看護の集い」への参加や退院調整研修による相互実習をとおして、人的交流を深めています。</li> </ul>	<p>イ 高度な看護師の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両病院の看護部教育計画及びラダー制度の統一作業を進めるとともに、教育専従担当看護師を配置しました。</li> <li>今年度は院外講師による固定チームナーシングや地域連携についての研修、事例検討会を<b>実施しました。</b></li> <li>TQM委員会の活動を通して、病棟や部門単位で設定した目標達成に<b>取り組みました。</b></li> <li>新たに2人が認定看護師資格を取得しました。また、看護師2人を研修助成制度により<b>派遣し、資格取得を支援しました。</b></li> </ul> <p>(認定看護師の状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染管理(2人)</li> <li><b>がん化学療法看護(1人)</b></li> <li>がん放射線療法看護(1人)</li> <li>皮膚・排泄ケア(3人)</li> <li>新生児集中ケア(2人)</li> <li>手術看護(1人)</li> <li>緩和ケア(1人)</li> <li>慢性心不全看護(1人)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定看護師については、引き続き、国の施策や動向を注視しています。</li> <li>専門看護師では、1人が母性看護専門看護師資格を取得しました。また、<b>大学院におけるがん看護専門看護師及び小児看護専門看護師教育課程の修了者を採用したほか、リエゾン精神看護で資格取得に向けた研修を行うなど、専門看護師の育成に注力しています。</b></li> <li>NST専門療法士研修やがんリハビリ研修などを受講し、チーム医療活動に必要なスキルの習得を<b>行いました。</b></li> <li>地域の訪問看護師やケアマネジャー等との交流事業「看護の集い」への参加や退院調整研修による相互実習を通して、人的交流を<b>深めました。</b></li> </ul>	<p>イ 高度な看護師の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両病院の看護部教育計画及びラダー制度の統一作業を進めるとともに、教育専従担当看護師を配置しました。</li> <li>今年度は院外講師による固定チームナーシングや地域連携についての研修、事例検討会を<b>実施しました。</b></li> <li>TQM委員会の活動を通して、病棟や部門単位で設定した目標達成に<b>取り組みました。</b></li> <li>新たに2人が認定看護師資格を取得しました。また、看護師2人を研修助成制度により<b>派遣し、資格取得を支援しました。</b></li> </ul> <p>(認定看護師の状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染管理(2人)</li> <li><b>がん化学療法看護(1人)</b></li> <li>がん放射線療法看護(1人)</li> <li>皮膚・排泄ケア(3人)</li> <li>新生児集中ケア(2人)</li> <li>手術看護(1人)</li> <li>緩和ケア(1人)</li> <li>慢性心不全看護(1人)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定看護師については、引き続き、国の施策や動向を注視しています。</li> <li>専門看護師では、1人が母性看護専門看護師資格を取得しました。また、<b>大学院におけるがん看護専門看護師及び小児看護専門看護師教育課程の修了者を採用したほか、リエゾン精神看護で資格取得に向けた研修を行うなど、専門看護師の育成に注力しています。</b></li> <li>NST専門療法士研修やがんリハビリ研修などを受講し、チーム医療活動に必要なスキルの習得を<b>行いました。</b></li> <li>地域の訪問看護師やケアマネジャー等との交流事業「看護の集い」への参加や退院調整研修による相互実習を通して、人的交流を<b>深めました。</b></li> </ul>																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成24年度 実績値</th> <th>平成26年度 目標値</th> <th>平成24年度 実績値</th> <th>平成26年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師数(人)</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	認定看護師数(人)	8	9	2	2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <td></td> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師数(人)</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値			平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	認定看護師数(人)	8	10	2	3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <td></td> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師数(人)</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値			平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	認定看護師数(人)	8	9	2	3
項目		加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																		
	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値																																																		
認定看護師数(人)	8	9	2	2																																																		
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																			
	実績値		実績値																																																			
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																		
認定看護師数(人)	8	10	2	3																																																		
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																			
	実績値		実績値																																																			
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																		
認定看護師数(人)	8	9	2	3																																																		

項目別の状況	(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 1 職員の業務遂行能力の向上  (小項目) (2) 職員の教育体制の充実 (続)	(中期目標の内容) ウ 高度専門医療を担う医療技術者の育成 薬剤師、検査技師など医療技術者部門において、それぞれの分野における認定資格などの取得を支援し、専門性の確保に努めること。
--------	---	--

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
ウ 高度専門医療を担う医療技術者の育成 ・ 認定資格などの取得や研修受講を支援し、より高度で専門性の高い医療技術者を育成します。 ・ 医療技術者に対する研修を充実させるため、「コメディカル研修プログラム」を策定するとともに、以下の取り組みを推進します。 ① 「教育支援センター」の機能を活かし、医療技術者の研修を強化します。 ② 重点分野である「がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療及び周産期・小児医療」に対応するため、職員の高度な専門性を育成します。 ③ 教育研修予算を活用し、各医療技術者の資格取得者を公募するとともに、研修参加負担費を支援します。 ④ 医療技術者が各専門学会における発表や参加を通じて、自らのスキルを切磋琢磨することを奨励します。 ⑤ 医療技術部門のそれぞれの職種において両病院共通の研修教育の場を通じて、お互いのより工夫されたところやよいところを吸収し合い、より働きがいのある職場づくりを行います。	ウ 高度専門医療を担う医療技術者の育成 ・ 西市民病院では多職種による栄養サポートチームの活動を推進するため、管理栄養士、薬剤師を外部実地研修に派遣しました。また、NST専門療法士研修を両病院の看護師5人が受講しています。 ・ がん患者リハビリテーション料の体制を整備するため理学療法士6人を講習に派遣しました。 ・ 機構の医療技術の向上に資する観点から、講習会や研修への参加や資格取得を積極的に支援しています。 臨床研修医指導者養成関連 11人 看護・地域連携関連 24人 放射線治療関連 6人 栄養・糖尿病関連 9人 臨床検査関連 3人 リハビリ関連 14人 診療情報管理関連 2人 ・ 機構学術研究会における発表を通じて、両病院の医療従事者が共に学び、交流を深めました。 演題 18件 参加人数 115人		ウ 高度専門医療を担う医療技術者の育成 ・ 西市民病院では多職種による栄養サポートチームの活動を推進するため、管理栄養士、薬剤師を外部実地研修に派遣しました。また、NST専門療法士研修を両病院の看護師5人が <b>受講しました。</b> ・ がん患者リハビリテーション料の体制を整備するため、理学療法士6人を講習に派遣しました。 ・ <b>法人</b> の医療技術の向上に資する観点から、講習会や研修への参加や資格取得を積極的に <b>支援しました。</b> 臨床研修医指導者養成関連 <b>12人</b> 看護・地域連携関連 <b>28人</b> 放射線治療関連 6人 栄養・糖尿病関連 <b>12人</b> 臨床検査関連 3人 リハビリ関連 14人 診療情報管理関連 2人 <b>薬剤関連 1人</b> <b>臨床工学関連 1人</b> <b>口腔ケア関連 1人</b> ・ 機構学術研究会における発表を通じて、両病院の医療従事者が共に学び、交流を深めました。 演題 18件 参加人数 115人	

項目別の状況	(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 1 職員の業務遂行能力の向上  (小項目) (2) 職員の教育体制の充実 (続)	(中期目標の内容) エ 事務職員の育成 医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成すること。あわせて、法人の経営企画、経営戦略を担う人材の育成も図ること。
--------	---	---

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
エ 事務職員の育成 ・法人プロパーの事務職員を計画的に採用するとともに、病院事務職員として専門性の向上を図ります。 ・事務幹部職員に外部研修に参加させ経営管理能力の習得を図ります。 ・DPC、医療情報、病院マネジメントなどの研修会への派遣などを通じ、医療保険制度や診療報酬制度など経営分析能力に精通し、コミュニケーション能力の高い職員を育成します。 ・事務職員に対しても、医療に携わる職員と同様に研修を充実させるため、「事務職員研修プログラム」を策定するとともに、以下の取り組みを推進します。 ① 各種診療データを管理し、活用できる専門技術を持つ診療情報管理士を計画的に育成します。 ② 地域医療機関・介護施設との連携や情報交換を推進できる職員を計画的に育成します。 ③ 経営企画、経営戦略的な観点から医事企画を推進できる職員を計画的に育成します。 ④ 両病院に導入する電子カルテシステムの効率的な活用を図るため、医療情報システムの企画、開発、運用を円滑に推進できる医療情報技師を育成します。	エ 事務職員の育成 ・市派遣職員から法人採用職員への大幅な転換を行い、専門知識や経営感覚を活かした組織力の強化に着手しました。 ・日本医療経営機構主催の医療経営人材育成研修に派遣し、幹部職員を育成しています。 ・新卒採用職員には、社会人としてのビジネスシミュレーションを外部研修により実施しました。 ・大学の就職担当者を訪問し、次年度以降の企画総合職の採用活動を行いました。 ・公募による経験者採用試験を行い、即戦力となる社会人経験者の採用を行いました。 ・日本医療情報学会や日本医療マネジメント学会に積極的に参加し、経営管理能力の向上に努めています。 ・DPCセミナーや財務研修等に職員を派遣し、戦略的な経営企画能力の向上を図っています。		エ 事務職員の育成 ・市派遣職員から法人採用職員への大幅な転換を行い、専門知識や経営感覚を活かした組織力の強化に着手しました。 ・日本医療経営機構主催の医療経営人材育成研修に派遣し、幹部職員の <b>育成に努めました。</b> ・新卒採用職員には、社会人としてのビジネスシミュレーションを外部研修により実施しました。 ・大学の就職担当者を訪問し、次年度以降の企画総合職の採用活動を行いました。 <del>・公募による経験者採用試験を行い、即戦力となる社会人経験者の採用を行いました。</del> ・日本医療情報学会や日本医療マネジメント学会に積極的に参加し、経営管理能力の向上に <b>努めました。</b> ・DPCセミナーや財務研修等に職員を派遣し、戦略的な経営企画能力の向上を <b>図りました。</b>	

項目別の状況	(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 1 職員の業務遂行能力の向上  (小項目) (2) 職員の教育体制の充実 (続)	(中期目標の内容) オ 派遣職員などの能力向上 派遣・臨時雇用職員や委託事業者の従業員も病院を運営するパートナーと考え、ともに能力向上に努めること。
--------	---	--

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由 (実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
オ 派遣職員などの能力向上 ・ 派遣・臨時雇用職員に対して、法人の業務を担う職員として、適正な業務の遂行と能力の向上を図るため、「教育支援センター」を通しての教育研修により能力向上を図ります。 ・ 委託業者については、業務への習熟を踏まえて効率的かつ期待された業務水準を提供し、法人の業績に貢献するよう求めます。	オ 派遣職員などの能力向上 ・ 医師事務作業補助員には、より高度な能力を習得するため、外部研修等に派遣しています。 ・ 看護補助者に対する研修計画に基づき、医療安全、感染対策、接遇、介助技術等に関する知識・技能の育成を行っています。		オ 派遣職員などの能力向上 ・ 医師事務作業補助員に、より高度な能力を習得させるため、外部研修等に <b>派遣しました。</b> ・ 看護補助者に対しては、研修計画に基づき、医療安全、感染対策、接遇、介助技術等に関する知識・技能の <b>習得を進めました。</b>	

項目別の状況	<p>(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 業務運営基盤の整備</p> <p>(小項目) (1) ガバナンスの確立</p>	<p>(中期目標の内容) (1) ガバナンスの確立 「目指すべき新病院の姿」の実現に向けて、的確に法人を経営できるよう、理事会及び事務局などの機能を整備するとともに、法人内で適切な権限委譲を行い、効果的かつ効率的な管理運営体制を構築すること。 質の高い医療を安定的に提供するため、医師、看護師及び医療技術者においても、必要な経営管理能力の向上に努めること。 また、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる組織目標を着実に達成するために、法人内でのコミュニケーションの円滑化を図り、すべての職員が経営状況や課題を共有し、自立的に運営を行う仕組みを整備すること。</p>
--------	--	--

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価: 4	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価:
<p>(1) ガバナンスの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理事会及び理事長の方針の円滑な推進を図るための調整機関として、機構運営会議や経営企画会議の機能を更に充実させます。</li> <li>理事長の経営戦略を具現化するため、重要施策についてはプロジェクト体制により各理事が適切な権限委譲による分担制を推進します。</li> <li>事務体制を機構本部に一元化し、責任や意思決定プロセスが明確な組織づくりを行います。</li> <li>院内の全部門がそれぞれの経営目標について共通の認識を図り、着実に目標が達成できる経営管理体制を構築します。</li> <li>会議や委員会の運営を見直し、組織内の方針伝達やコミュニケーションの円滑化を図ります。</li> </ul>	<p>(1) ガバナンスの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機構運営会議を毎週開催し、機構の運営方針の意思決定を行うとともに、両病院の患者動向や経理状況を踏まえた経営分析を行い、経営基盤の強化に取り組んでいます。</li> <li>統括院長が主宰する経営戦略・人材確保企画会議では、中期的な視点から人員配置、採用計画、病棟稼働率対策、施設基準や診療報酬への対応などの方向性を企画立案するなど、機構運営会議のワーキング機能を強化しています。</li> <li>機構及び病院運営に係る重要プロジェクトについて、理事長から各理事及び副院長へ分任し、毎月経営企画会議で進捗状況が報告され、対策を協議しています。</li> <li>【今年度の重要プロジェクト】 人事交流/教育支援/機器・医療材料統一/医療連携/薬剤統一/小児患者確保/人間ドック/新病院運用/移行期医療</li> <li>統括院長とのヒアリングにより年度当初に各部門で設定した目標については、中間時点での進捗状況の共有と今後も課題や改善策を明確にしながら、全部門が目標達成に向けた取り組みを進めています。</li> <li>事務管理組織を機構本部に集約統合し、事務部の一元化を図ることで、両病院の業務の共通化を進めています。</li> <li>西市民病院では、運営協議会の構成を拡充し、全部門の経営参画と院内の情報共有を推進しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機構が掲げる重要施策に係る各プロジェクトにおいて、各理事が責任者となり、毎月進捗状況に基づく対策が取られていることは、評価できる。</li> <li>目標管理制度において、中間時点での分析結果に基づき課題を明らかにすることで、後期の各部門の取組が病院運営に確実に反映されることを期待する。</li> <li>理事会など意思決定を行う場面では、病院全体や将来への影響を十分に検討できるよう、適正かつ十分な資料の提供に努めていただきたい。</li> </ul>	<p>(1) ガバナンスの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機構運営会議を毎週開催し、<b>法人</b>の運営方針の意思決定を行うとともに、両病院の患者動向や経理状況を踏まえた経営分析を行い、経営基盤の強化に<b>取り組みました</b>。</li> <li>統括院長が主宰する経営戦略・人材確保企画会議では、中期的な視点から人員配置、採用計画、病棟稼働率対策、施設基準や診療報酬への対応等についての方向性を企画立案するなど、機構運営会議のワーキング機能を<b>強化しました</b>。</li> <li><b>法人</b>及び病院運営に係る重要プロジェクトについて、理事長から各理事及び副院長へ分任し、毎月経営企画会議で進捗状況が報告され、対策を協議しています。</li> <li>【今年度の重要プロジェクト】 人事交流/教育支援/機器・医療材料統一/医療連携/薬剤統一/小児患者確保/人間ドック/新病院運用/移行期医療</li> <li><b>目標管理制度については、進捗状況の把握や課題、改善策の共有を図るため各部門と統括院長との定期的なヒアリングを実施することで、着実に目標達成に反映する部門が増加しており、経営改善に効果が見られました</b>。</li> <li>事務管理組織を機構本部に集約統合し、事務部の一元化を図ることで、両病院の業務の共通化を<b>図りました</b>。</li> <li>西市民病院では、運営協議会の構成を拡充し、全部門の経営参画と院内の情報共有を推進しました。</li> </ul>	

項目別の状況	(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 2 業務運営基盤の整備  (小項目) (2) 両病院のノウハウの共有	(中期目標の内容) (2) 両病院のノウハウの共有 両病院がこれまで蓄積してきたノウハウを最大限に病院運営に生かすこと。
--------	---	--

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
	ウェイト:② 評価:3	ウェイト:② 評価:4	ウェイト:② 評価:3	ウェイト: 評価:
(2) 両病院のノウハウの共有 ・ 公立病院としての高度専門医療の均てん化、地域医療の要として地域の医療機関との連携や周産期・小児医療などのこれまで培ってきた実績とノウハウ及び民間病院としての柔軟かつ迅速な事業展開、柔軟な人員配置、委託・購買業務の効率化、県内におけるトップクラスの循環器医療など、これまで蓄積してきた実績とノウハウを継承し、病院運営に活かします。 ・ 両病院間で、職種、職域、業務関連ごとの連携を深め、コミュニケーションの活性化を図るとともに、診療ノウハウや運営上の課題を共有できる連絡調整会議の活用を図ります。 ・ 積極的な人事交流を行うことにより、両病院のノウハウの共有、発展的な融合に取り組みます。	(2) 両病院のノウハウの共有 ・ 医療安全管理や感染対策では両病院の担当部署間で調整会議を実施しており、新病院に向けた体制整備を進めています。 ・ 薬剤部や放射線室、リハビリテーション室では人事交流や統括体制によって、病院間のハイブリッドな運用体制が可能となっています。 ・ 新病院の主要な業務について、部門別の検討チームを設置し、両病院が合同で運用体制の検討をスタートさせました。 ・ 看護部では、中堅看護師77人が短期間(3日程度)の職場交流を試行し、職員レベルでの相互理解を段階的に進めています。 ・ 両病院共通の電子カルテの運用普及により、人事交流による職場移動が円滑に進められています。 ・ Web会議システムを活用し、診療科カンファレンス、薬剤統一や医療機器・診療材料統一に係る会議をはじめ、感染対策、医療安全、クリニカルパスなどのセミナー、講演会を両病院で情報共有する運用が定着しています。 ・ 両病院間のコミュニケーションツールとして導入された機構統合グループウェアの利用率向上により、組織と職員間及び職員相互の情報伝達が円滑化されました。 グループウェア利用率 医師 82% 医師以外 90%	(2) 両病院のノウハウの共有 ・ 人的交流だけでなく、医療安全管理や感染症対策などの分野で両病院間の調整が進んでいることは、リスクマネジメントの視点から評価できる。 ・ 看護部における短期間の職場交流の実施は、統合に向けた職員の意識改革に向けた取組として評価できる。 ・ 今後もICTの活用が効果的に実施され、より一層両病院間のコミュニケーションが円滑に図られることを期待したい。	(2) 両病院のノウハウの共有 ・ 医療安全管理や感染対策では両病院の担当部署間で調整会議を実施しており、新病院に向けた体制整備を進め <b>ました</b> 。 ・ 薬剤部や放射線室、リハビリテーション室では人事交流や統括体制によって、病院間のハイブリッドな運用体制が可能とな <b>りました</b> 。 ・ 新病院の主要な業務について、部門別の検討チームを設置し、両病院合同での運用の検討をスタートさせました。 ・ 看護部では、中堅看護師77人が短期間(3日程度)の職場交流を試行し、職員レベルでの相互理解を <b>深めました</b> 。 ・ 両病院共通の電子カルテの運用普及により、人事交流による職場移動が円滑に進められ <b>ました</b> 。 ・ Web会議システムを活用し、診療科カンファレンス、薬剤統一や医療機器・診療材料統一に係る会議をはじめ、感染対策、医療安全、クリニカルパスなどのセミナー、講演会を両病院で情報共有する運用が定着し <b>ました</b> 。 ・ 両病院間のコミュニケーションツールとして導入された <b>法人</b> 統合グループウェアの利用率向上により、組織と職員間及び職員相互の情報伝達が円滑化されました。 グループウェア利用率 医師 約82% 医師以外 約90%	



項目別の状況	(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 2 業務運営基盤の整備  (小項目) (3) 組織・機構の整備	(中期目標の内容) (3) 組織・機構の整備 安定的かつ戦略的な病院経営となるよう、診療科別または部門別の損益分析や医療統計などを用いて経営企画機能の強化を図ること。 標準化または平準化された業務に関しては、外部化を徹底するとともに、IT化などの手法を効果的に活用し、スリムで経営効率の高い業務執行体制を構築すること。
--------	--	--

年度計画	暫定評価		本評価																											
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																										
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																										
	<b>ウェイト： 評価：3</b> (3) 組織・機構の整備 ・2病院体制をより効率的に運営するため、診療部門において導入した統括院長体制を看護部門、事務部門に拡大し、組織や人員の統合を推進しやすい体制を整備します。 ・窓口業務や医事業務に加え、人事・給与事務など内部管理業務の標準化及び平準化と適切な品質管理の下に委託や派遣雇用による外部化を進めます。 ・両病院に導入した共通の電子カルテシステムをリアルタイムの空床照会など相互の診療支援に活用し、情報のスピーディーな把握を行うとともに、原価管理体制の構築を推進し、経営の効率的な執行を図ります。	<b>ウェイト： 評価：3</b> ・複数の部署で所属長が両病院を統括する体制を導入したこと、事務部を機構本部に集約したことは新病院の統合に向けた取組として評価できる一方で、病院間での情報共有が疎かにならないよう常に注力していただきたい。 ・ICTの活用による経営分析は、病院経営の安定化に非常に有効であると考え評価したい。	<b>ウェイト： 評価：3</b> (3) 組織・機構の整備 ・看護部、事務部、放射線室、リハビリテーション室について、所属長が両病院を統括する体制を導入し、両病院のノウハウの移転や運用の統一化を進めました。 ・事務組織を機構本部に集約することで、総務部門を庶務課、人事課、財務課、施設課、情報システム課に再編し、機能分化と所管業務を明確化させるとともに、連携体制を強化しました。 ・給与業務のアウトソーシングを行い業務の標準化を図りながら、帳票の廃止や電子化による事務の簡素化に取り組んでいます。 ・委託費比率は、給与業務を新たに外部化したことに加えて、医事業務委託や入院・外来患者数の増による各委託料の影響から増加しています。 ・電子カルテや医事システム等のICTを活用し、新たな病床機能報告や病棟単位の医療看護指標に関する分析データをタイムリーに提供し経営戦略に役立てています。           【院内開発システム】 (経営分析ツール) 稼働状況・空床状況モニタリング 重症度・看護必要度モニタリング 医師受持ち患者状況 (業務改善支援ツール) 母乳率管理/褥瘡管理/NST管理/栄養指導/医事相談記録/未収金管理/小児科業務/採血待ち番号表示	<b>ウェイト： 評価：</b> (3) 組織・機構の整備 ・看護部、事務部、放射線室、リハビリテーション室について、所属長が両病院を統括する体制を導入し、両病院のノウハウの移転や運用の統一化を進めました。 ・事務組織を機構本部に集約することで、総務部門を庶務課、人事課、財務課、施設課、情報システム課に再編し、機能分化と所管業務を明確化させるとともに、連携体制を強化しました。 ・給与業務のアウトソーシングを行い業務の標準化を図りながら、帳票の廃止や電子化による事務を簡素化させました。 ・委託費比率は、給与業務を新たに外部化したことに加えて、医事業務委託や入院・外来患者数の増による各委託料の影響から増加しました。 ・電子カルテや医事システム等のICTを活用し、新たな病床機能報告や病棟単位の医療看護指標に関する分析データをタイムリーに提供し経営戦略に役立てています。           【院内開発システム】 (経営分析ツール) 稼働状況・空床状況モニタリング 重症度・看護必要度モニタリング 医師受持ち患者状況 (業務改善支援ツール) 母乳率管理/褥瘡管理/NST管理/栄養指導/医事相談記録/未収金管理/小児科業務/採血待ち番号表示																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川市民病院機構</th> </tr> <tr> <th>平成24年度 実績値</th> <th>平成26年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託費比率(委託費/営業費用)(%)</td> <td>7.6</td> <td>9.8</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川市民病院機構		平成24年度 実績値	平成26年度 目標値	委託費比率(委託費/営業費用)(%)	7.6	9.8	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川市民病院機構</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <td></td> <th>平成25年度(上半期)</th> <th>平成26年度(上半期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託費比率(委託費/営業費用)(%)</td> <td>7.3</td> <td>8.9</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川市民病院機構		実績値			平成25年度(上半期)	平成26年度(上半期)	委託費比率(委託費/営業費用)(%)	7.3	8.9	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">加古川市民病院機構</th> </tr> <tr> <th>平成25年度 実績値</th> <th>平成26年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託費比率(委託費/営業費用)(%)</td> <td>8.7</td> <td>8.9</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川市民病院機構		平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	委託費比率(委託費/営業費用)(%)	8.7	8.9
項目	加古川市民病院機構																													
	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値																												
委託費比率(委託費/営業費用)(%)	7.6	9.8																												
項目	加古川市民病院機構																													
	実績値																													
	平成25年度(上半期)	平成26年度(上半期)																												
委託費比率(委託費/営業費用)(%)	7.3	8.9																												
項目	加古川市民病院機構																													
	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値																												
委託費比率(委託費/営業費用)(%)	8.7	8.9																												

項目別の状況	<p>(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 業務運営基盤の整備</p> <p>(小項目) (4) 医療機器などの計画的な更新</p>	<p>(中期目標の内容) (4) 医療機器などの計画的な更新 医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮の上、総合的な判断によって実施すること。</p>
--------	---	--

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由（実施状況等）	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由（実施状況等）	評価の判断理由・委員会の意見など
	ウェイト： 評価：3	ウェイト： 評価：3	ウェイト： 評価：3	ウェイト： 評価：
<p>(4) 医療機器などの計画的な更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器などについては、平成28年秋の新統合病院の開院に向け、医療需要や費用対効果を明確に見極めた整備計画を策定し、計画的な更新を図ります。</li> </ul>	<p>(4) 医療機器などの計画的な更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機器の更新については、新病院での使用を見据えて、今年度購入すべきかどうかを各部門と個別にヒアリングして決定するなど、計画的な更新を進めています。</li> <li>医療機器については、メーカーの異なる機器の組み合わせや一括入札などで競争性を引き出し、落札価格を低減させるための工夫を行っています。固定的な発注とならないよう契約方法を変更しながら、積極的な価格交渉やベンチマークシステムの活用等による適切な予定価格設定を行い購入価格の抑制に努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器の購買方法等について、購入価格の抑制に向けた取組は評価できる。</li> </ul>	<p>(4) 医療機器などの計画的な更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機器の更新については、新病院での使用を見据えて、今年度購入すべきかどうかを各部門と個別にヒアリングして決定するなど、計画的な更新を<b>進めました</b>。</li> <li>医療機器については、メーカーの異なる機器の組み合わせや一括入札などで競争性を引き出し、落札価格を低減させるための工夫を<b>行いました</b>。固定的な発注とならないよう契約方法を変更しながら、積極的な価格交渉やベンチマークシステムの活用等による適切な予定価格設定を行い、購入価格の抑制に<b>努めました</b>。</li> </ul>	

項目別の状況	(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置  (中項目) 2 業務運営基盤の整備  (小項目) (5) 働きやすい職場環境の整備	(中期目標の内容) (5) 働きやすい職場環境の整備 職員が一体となって質の高い医療を提供できるよう魅力ある職場環境を築くこと。また、子育て支援方策を充実させ、柔軟で働きやすい職場環境づくりに努めること。
--------	--	--

年度計画	暫定評価		本評価																																																							
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価																																																						
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など																																																						
	ウェイト:① 評価:3	ウェイト:① 評価:3	ウェイト:① 評価:3	ウェイト: 評価:																																																						
(5) 働きやすい職場環境の整備 ・ 仕事と生活の調和が図られた職場環境を築くための施策を企画し実施します。 ・ 時間外勤務の適正な管理と削減及び有給休暇の計画的な取得に向けた努力目標を策定、実施します。 ・ 子育て支援体制の充実に努めます。また、育児をしながら働く環境を整えるため、保育所の受け入れ可能定数を段階的に増やします。 ・ 介護支援体制の充実に図ります。 ・ 事務職や法律家が医療従事者を支援する体制を整えます。 ・ 職員の意見を取り上げるなど、職員一人ひとりが自発的に業務に取り組むための仕組みを強化します。 ・ キャリアアップに関する職員満足度の向上を目指します。	(5) 働きやすい職場環境の整備 ・ ワークライフバランスの一層の充実を図る観点からリフレッシュ休暇を導入し、7人が取得しています。 ・ 多様な勤務形態に対応できるよう24時間365日の保育体制を引き続き実施しています。 ・ 定年延長制や人事評価に基づく昇格制をベースとした新たな給与制度の設計に着手しました。 ・ メンタルヘルス研修を実施し、ワークライフバランスの重要性について職員の理解を深めました。	・ リフレッシュ休暇制度の導入は職員のモチベーションの維持や在職期間の長期化等の効果が期待でき、評価できる。	(5) 働きやすい職場環境の整備 ・ ワークライフバランスの一層の充実を図る観点から、リフレッシュ休暇制度を導入し、 <b>23人が取得しました。</b> ・ 多様な勤務形態に対応できるよう、24時間365日の保育体制を引き続き <b>実施しました。</b> ・ <b>65歳</b> 定年延長制度や人事評価に基づく昇格制度をベースとした <b>新たな給与制度の設計を行い、平成27年10月からの実施に向け準備を進めています。</b> ・ メンタルヘルス研修を実施し、ワークライフバランスの重要性について職員の理解を深めました。																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成24年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所延利用者数(人)</td> <td>6,347</td> <td>6,000</td> <td>3,528</td> <td>3,400</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		平成24年度	平成26年度	平成24年度	平成26年度	実績値	目標値	実績値	目標値	保育所延利用者数(人)	6,347	6,000	3,528	3,400	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所延利用者数(人)</td> <td>5,492</td> <td>2,865</td> <td>3,481</td> <td>1,278</td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	保育所延利用者数(人)	5,492	2,865	3,481	1,278	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目</th> <th colspan="2">加古川西市民病院</th> <th colspan="2">加古川東市民病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">実績値</th> <th colspan="2">実績値</th> </tr> <tr> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育所延利用者数(人)</td> <td>5,492</td> <td><b>5,194</b></td> <td>3,481</td> <td><b>2,115</b></td> </tr> </tbody> </table>	項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院		実績値		実績値		平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度	保育所延利用者数(人)	5,492	<b>5,194</b>	3,481	<b>2,115</b>	
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																							
	平成24年度		平成26年度	平成24年度	平成26年度																																																					
	実績値	目標値	実績値	目標値																																																						
保育所延利用者数(人)	6,347	6,000	3,528	3,400																																																						
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																							
	実績値		実績値																																																							
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																						
保育所延利用者数(人)	5,492	2,865	3,481	1,278																																																						
項目	加古川西市民病院		加古川東市民病院																																																							
	実績値		実績値																																																							
	平成25年度	平成26年度	平成25年度	平成26年度																																																						
保育所延利用者数(人)	5,492	<b>5,194</b>	3,481	<b>2,115</b>																																																						

項目別の状況	<p>(大項目) 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(中項目) 2 業務運営基盤の整備</p> <p>(小項目) (6) 人事評価制度の導入</p>	<p>(中期目標の内容) (6) 人事評価制度の導入 職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図るため、業績、組織への貢献度などに応じた人事評価制度を導入すること。</p>
--------	---	---

年度計画	暫定評価		本評価	
	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価	市民病院機構の自己評価	評価委員会の評価
	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など	評価の判断理由(実施状況等)	評価の判断理由・委員会の意見など
	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価: 3	ウェイト: 評価:
<p>(6) 人事評価制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図るため、両病院で統一した人事評価制度の導入に向け、試行を始めます。</li> <li>・ 職場内のコミュニケーションによって相互に信頼関係を築きあつたうえで、納得性の高い人事評価を実現するための考課研修の実施に向けた調査と企画を実施します。</li> <li>・ 職種にとらわれず、幅広い視野を持つ優秀な人材を法人幹部へ登用するため、幹部に求められる人物像を明確化して、キャリアパスのモデルを構築します。</li> </ul>	<p>(6) 人事評価制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師以外の職種について、機構や組織への貢献度を行動面及び目標達成度から総合的に評価する人事評価システムの設計に着手しました。</li> <li>・ 医師職では、本格導入した人事評価制度の検証を行いながら運用しています。</li> </ul>	<p>(6) 人事評価制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師職以外への人事評価制度の導入に向けた制度設計に着手されたことは評価できる。</li> <li>・ 職員の努力が報われるような適正な評価が求められ、逆にモチベーションを下げってしまうことのないようお願いしたい。また、評価者は目標をしっかり理解する必要があり、評価者によって評価にバラつきが出ないように注意願いたい。</li> </ul>	<p>(6) 人事評価制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師以外の職種について、<b>法人</b>や組織への貢献度を行動面及び目標達成度から総合的に評価する<b>人事評価システムの設計を行い、平成27年10月からの導入に向け準備しています。</b></li> <li>・ 医師職では、本格導入した人事評価制度の検証を行いながら<b>運用しました。</b></li> </ul>	